

2024

# 消防年報

大曲仙北広域市町村圏組合  
消 防 本 部



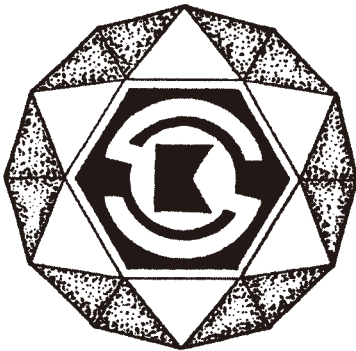


# 奉仕の実践



大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

## 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部章



大曲仙北広域の「O」「S」「K」をデザイン化したもので、広域消防のシンボルマーク「K」を中央の基点とし、消防章を一つのこまになぞらえ、外周の円は団結を表し、広域をつつみ、守ることを意味している。

(昭和 54 年 6 月 13 日制定)

# はじめに

大曲仙北広域消防は、昭和47年の発足以来52年が経過しました。この間、各構成市町をはじめ関係各位の多大なるご支援とご協力を賜り、地域社会に密着した防災機関として、着実な発展と充実を遂げてまいりました。

昨今の社会情勢を見ますと、大規模・激甚化する災害への対応に加え、南海トラフ地震・首都直下地震などの発生が予想される大地震や近年顕著になっている気候変動による災害への備え・対策が喫緊の課題となっているほか、国際的には、ロシアのウクライナ侵攻や北朝鮮による相次ぐ飛翔体の発射など緊張状態が続いており、国民保護の観点からも、消防行政の重要性は日を追うごとに増すばかりであります。

当広域消防はこのような変化に的確に対応し、「誰一人取り残さない防災」を実現するため、国・県・市町・警察・消防団等、関係機関との連携を深め、総合的な防災協力体制を確立する一方、最新装備の導入と合わせて、より専門的で高度な教育訓練を実施しております。

職員配置再編計画に基づく増員や消防本部新庁舎の建設の事業が完了し、将来を見据えた消防力の充実強化を図るとともに、各署所の消防ポンプ自動車や高規格救急車を更新配備し、現場での安全性と活動能率を高めるための新防火服の導入、さらに高機能消防指令センターの更新や署活動用無線機の導入など消防資機材の整備を進め、ICTの効率的な利活用についても尽力しているところであります。

今後も職員一丸となり、圏民の信頼と期待に応えるべく、消防防災という崇高な使命の達成に向けて勇往邁進する所存であります。

この年報は、令和5年中の統計及び令和6年4月1日をもって集計した当広域消防の消防実態を収録したものであり、災害や消防活動の現状を広く一般に紹介することで、より一層のご理解とご協力を賜りたく作成したものであります。幅広くご活用いただければ幸いに存じます。

令和6年4月1日

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部  
消防長 佐々木 伸 吾

# 目 次

## 管内概況

1. 一目統計	1
2. 広域圏の概要	2
3. 大曲仙北広域市町村圏組合構成市町	3
4. 管内状況	4
5. 管内図	4
6. 広域消防の沿革	5
7. 広域消防のあゆみ	6

## 総務関係

1. 消防組織図	15
2. 消防本部事務分掌	16
3. 消防署事務分掌	19
4. 消防庁舎の現況	21
5. 令和6年度消防費（当初予算）	22
6. 最近5年間の構成市町消防費負担金（当初予算）	23
7. 令和6年度構成市町総予算額に対する消防予算額（当初予算）	23
8. 職員配置状況	24
9. 職員階級別年齢表	25
10. 職員勤続年数表	25
11. 消防職員意見発表会出場者	26

## 警防関係

1. 消防車両及び無線局配置状況	27
2. 現有車両明細	28
3. 火災出動区分	30
4. 消防・救助用特殊資機材一覧表	32
5. 職員の免許等取得状況	33
6. 職員教養訓練実施状況	34
7. 消防水利の状況	35
8. 緊急消防援助隊	36
9. 緊急消防援助隊合同訓練への参加状況	38
10. 消防相互応援協定等の締結状況	39
11. 事故種別救助出動件数・救助人員数	40
12. 全国救助大会出場者一覧	41

## 予防関係

1. 市町別中高層建築物	43
2. 防火対象物一覧表並びに立入検査状況	44
3. 防火対象物階数別一覧表	45
4. 用途別建築同意件数	46

5. 火災予防条例に基づく各種届出	47
6. 市町別危険物施設一覧	48
7. 数量別危険物施設	49
8. 容量別屋外タンク貯蔵所	50
9. 類別危険物施設	50
10. 危険物許認可等調べ	51
11. 火災予防組合結成調べ	51

## ☆ 火災統計

1. 令和5年の火災概要	52
2. 損害及びり災状況	52
3. 地域別火災発生状況	53
4. 月別・曜日別・時間別火災発生状況	54
5. 死傷者の状況	56
6. 原因別火災発生状況	56
7. 住宅火災の出火箇所と主な原因	57
8. 地域別火災発生状況	58
9. 月別火災発生状況	60
10. 最近5カ年間の火災発生状況	62

## 救急関係

1. 救急出動件数とその内容	64
2. 救急搬送人員とその内容	66
3. 搬送先病院と現場到着・病院到着所要時間	68
4. 高度救命処置	69
5. 救命講習	69
6. CPA蘇生状況	70
7. 地域別救急出動状況	71
8. 月別救急出動状況	72
9. 曜日別救急出動状況	73
10. 救急隊の行った応急処置	74

## 通信指令関係

1. 消防無線局設置状況	75
2. 119番受信件数	80
3. 高機能消防指令センター（II型）機器構成	82
4. 通信網図	84

## 消防団関係

1. 消防団員数・機械等配置状況	85
2. 正副団長・支団長名簿	86
3. 消防団員等報酬調べ	87
4. 過去消防訓練大会成績一覧表	88

☆ 災害記録	91
--------	----

# 一 目 統 計

## 管内状況

構成市町	2市1町
管轄面積	2,128.67km <sup>2</sup>
管轄人口	115,506人
管轄世帯数	48,498世帯

## 消防機関

1本部 2署 8分署	
消防職員	
職員数	294名
※短時間勤務職員7名含む	
平均年齢(再任用19名除く)	36.7歳

## 消防車両

車両台数	50台
消防ポンプ車	16台
はしご車	2台
化学車	1台
救助工作車	2台
救急車	12台
指揮車	3台
資機材搬送車	2台
広報連絡車等	12台

## 無 線

デジタル無線局数	135局
基地局	7局
車載陸上移動局	50局
携帯陸上移動局	67局
可搬型移動局	1局
卓上型移動局	10局
アナログ無線局数	93局
携帯陸上移動局	93局

## 火 災

火災件数	42件
損害額	101,54万4千円
焼損面積	1,862m <sup>2</sup>

## 救 急

救急件数	6,782件
搬送人員	6,398人
普通救命講習修了者	52,915名
(令和5年末時点)	

## 救 助

救助件数	88件
救助人員	50人

## 予 防

防火対象物数	6,097施設
危険物施設数	859施設

## 消 防 団

団員数(実員)計	1,738名
大仙市消防団	1,009名
仙北市消防団	438名
美郷町消防団	291名



# 広域圏の概要

本広域圏は秋田県のほぼ中央部、奥羽山脈と出羽丘陵に囲まれたところに位置しており、雄物川・玉川の二大河川から恵みを受けた仙北平野は県下有数の穀倉地帯となっている。

広域圏の中心である大仙市大曲は、藩政時代から雄物川水運による交易の地として栄え、近代以降もその地の利を生かし、商業によって発展してきた。平成9年3月22日秋田新幹線開通、同年7月23日秋田自動車道全線開通によって、今も交通の結節点としての役割を受け継ぎ、秋田県の高速度交通化時代の表玄関として重要な位置を占めている。毎年8月最終土曜日に開催される「全国花火競技大会」は大曲の代名詞として知られ、全国から集う一流花火師たちの競演が60万人の大観衆を魅了する。

広域圏の北東部に位置する仙北市は、多くの観光資源に恵まれた東北屈指の観光地である。中世末期に芦名氏によって町の原型が造られ、その後佐竹北家の城下町として発展した角館は「みちのくの小京都」として名高く、枝垂れ桜に彩られた武家屋敷群と桧木内川堤の桜並木の美しさに、毎年たくさんの観光客が訪れる。日本最深423.4メートルを誇る田沢湖の周囲には、すぐれた効能と豊富な湯量で全国に知れ渡る名湯、玉川温泉・乳頭温泉郷があり、駒ヶ岳山麓のスキー場は良質な雪質と多様なコース、田沢湖を眼下に滑り降りる眺望の良さで人気を博している。

広域圏南東部にある美郷町は、雪深い奥羽山脈を水源とする発達した扇状地にあり、小河川や湧水群などの農業用水と豊富な土壌に恵まれていたことから、県内有数の穀倉地帯として発展してきた。全国名水百選に選定された六郷湧水群、ラベンダー園の花々、六郷・千畑・仙南の各地区にある温泉施設などが訪れる人を癒やし、和ませる。

昭和46年、大曲仙北広域市町村圏組合は1市8町5村の構成により発足、当時の人口は約17万人であった。

いわゆる「平成の大合併」にともない、平成16年11月1日に千畑町・六郷町・仙南村が合併して美郷町、翌平成17年3月22日に大曲市・神岡町・西仙北町・中仙町・協和町・南外村・仙北町・太田町の8市町村が合併して大仙市、同年9月20日に角館町・田沢湖町・西木村が合併して仙北市となり、新たなスタートを切った。これにより構成市町は大仙市・仙北市・美郷町の2市1町となった。

令和6年4月1日現在の人口は115,506人である。

# 大曲仙北広域市町村圏組合 構成市町

## 大 仙 市



大仙市は平成17年3月22日、大曲市・神岡町・西仙北町・中仙町・協和町・南外村・仙北町・太田町の8市町村が合併して誕生しました。

古くから県南の交通の要衝であったことから、現在でも秋田新幹線や秋田自動車道等、陸路・鉄道の結節点として拠点機能の強化が図られ、県の8地方の一つである仙北地方の中心として国や県の様々な機関が設置されています。

市章は未来（あす）に向って力強く羽ばたく鵬（おおとり）のイメージを大仙市のイニシャル「D」の文字にアレンジしたもので、背中の円は夢と希望に満ちた同市の活力と発展を象徴しています。

## 仙 北 市



仙北市は平成17年9月20日、角館町・田沢湖町・西木村の3町村が合併して誕生しました。

奥羽山脈の山々に抱かれた仙北市は、秋田県全体の9.4%を占める広大な面積を有しており、その約8割が森林地帯となっている自然豊かな地域です。角館の武家屋敷と桜並木、水深日本一の田沢湖、西木の小正月行事「紙風船上げ」には毎年多くの観光客が訪れています。

市章は「仙北市」の頭文字「S」を抽象化したもので、3町村の集結と新市の発展・広がり象徴するとともに、光の3原色がはためく表現から「観光」と「躍動」を表しています。

## 美 郷 町



美郷町は平成16年11月1日、千畑町・六郷町・仙南村の3町村が合併して誕生しました。

奥羽山脈を源流部とする発達した扇状地は、豊かな土壌に恵まれた県内有数の穀倉地帯を形成しています。貴重な高山植物群落が見られる真昼岳の県立自然公園、2万株が咲き誇る千畑ラベンダー園、全国名水百選の一つである六郷湧水群、後三年の役に関する史跡など、いたるところに自然と文化の魅力が満ちあふれています。

町章はひらがなの「み」を抽象化し、「希望」「飛躍」「親睦」を表現しています。

# 管内状況

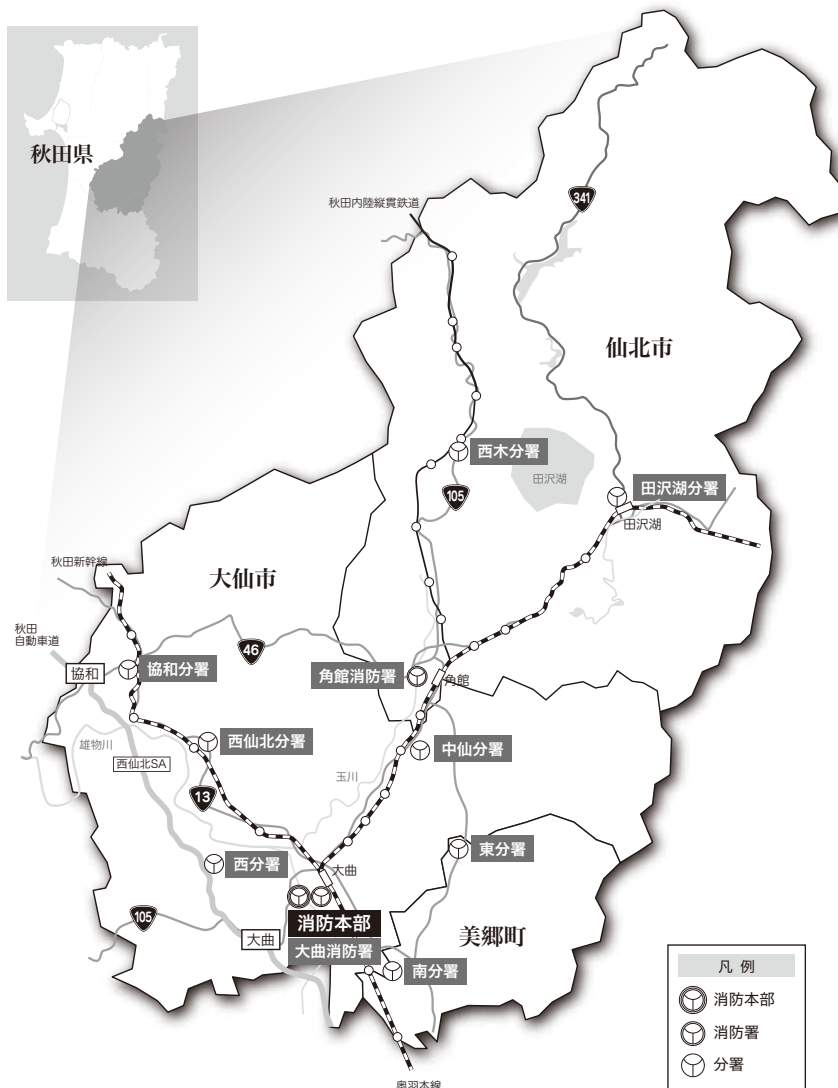
令和6年3月31日現在

	面積 (km <sup>2</sup> )	人口			世帯数	人口密度 (1km <sup>2</sup> あたり)
		総数 人	男 人	女 人		
合計	2,128.67	115,506	54,297	61,209	48,498	54.26
大仙市	866.79	74,630	35,148	39,482	31,563	86.10
仙北市	1,093.56	23,227	10,783	12,444	10,320	21.24
美郷町	168.32	17,649	8,366	9,283	6,615	104.85

## 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部の管轄区域

- 大曲消防署管内
- 大曲消防署**  
〒014-0061  
大仙市大曲栄町13-47  
TEL.0187-63-0151
- 南分署**  
〒019-1237  
仙北郡美郷町佐野字倉合172  
TEL.0187-87-8119
- 東分署**  
〒019-1602  
大仙市太田町三本扇字野沢268-9  
TEL.0187-88-2119
- 西分署**  
〒019-1853  
大仙市南外字坊田黒沢152  
TEL.0187-73-1197
- 西仙北分署**  
〒019-2112  
大仙市刈和野字上ノ台荒屋敷134-42  
TEL.0187-75-1119
- 協和分署**  
〒019-2413  
大仙市協和上淀川字中嶋17-1  
TEL.018-892-3119

- 角館消防署管内
- 角館消防署**  
〒014-0378  
仙北市角館町西野川原25-10  
TEL.0187-54-2302
- 田沢湖分署**  
〒014-1201  
仙北市田沢湖生保内字上清水674  
TEL.0187-43-1139
- 中仙分署**  
〒014-0203  
大仙市北長野字茶畑96  
TEL.0187-56-4119
- 西木分署**  
〒014-0602  
仙北市西木町松木内字高屋132-1  
TEL.0187-48-2324



# 広域消防の沿革

昭和22年12月の消防組織法公布にともない、昭和23年3月に大曲町消防本部・消防署、翌昭和24年4月には、角館町消防本部・消防署が設置され、それぞれ独自に運用されていた。当時圏域内町村では他に、六郷町・神岡町・西仙北町・中仙町・田沢湖町・千畑村等で常備消防が組織されていた。

昭和29年5月、大曲町は、周辺5か村との合併により大曲市となり、あわせて大曲市消防本部が設置された。

昭和47年4月、大曲仙北広域市町村圏組合消防本部が設置され、当初定数202名、1本部・2消防署・12分署・2出張所をもって発足した。

平成8年3月、救助工作車Ⅲ型を配置、国より緊急消防援助隊救助部隊の指定を受け、東北・北海道エリアに派遣されることとなった。現在は都道府県大隊指揮隊1隊、救助小隊1隊、消火小隊5隊、救急小隊2隊、後方支援小隊3隊の計12隊を緊急消防援助隊として登録しており、大規模災害発生時には要請・指示を受け全国各地に派遣される。

平成12年1月1日、高規格救急車の運用を開始し、平成23年には広域圏民が高度な救急救命処置を等しく受けられるよう「救急業務高度化推進計画」を策定し、平成30年度までに全所属に高規格救急車を配置した。

広域再編計画に基づき、平成13年12月1日に太田・千畑・仙北の3分署を統合して東分署、次いで平成16年10月20日に六郷・仙南分署と大曲消防署南出張所を統合して南分署、さらに平成20年12月1日に神岡・南外分署と大曲消防署北出張所を統合して西分署とし、それぞれ運用を開始した。

平成17年3月1日、消防本部に高機能消防指令センター（Ⅱ型）が完成、「発信地表示システム」をはじめとする最先端技術の導入により、迅速かつ確実な消防防災体制が実現した。同年4月1日には通信指令課を新設して高機能消防指令センターの運用を開始し、より効率的な消防防災・救急救助活動を確立した。

平成26年4月1日、消防救急無線をデジタル化整備、従来の無線不感エリアについても各基地局を介し消防指令センターから一元的にコントロールすることが可能となり、より迅速かつ高度な消防通信運用を確立している。

平成30年3月23日、消防本部・大曲消防署新庁舎建設に併せ、当本部にとって2代目となる高機能消防指令センターが運用を開始している。また、同年5月25日には消防本部・大曲消防署新庁舎庁舎棟が完成、同年6月11日から地域防災の新たな拠点として運用を開始し、翌年4月25日には消防本部・大曲消防署新庁舎訓練棟の完成引渡を受け、同日をもって消防本部・大曲消防署新庁舎が竣工となった。

現在は職員294人、1本部・2消防署・8分署、指揮車3台、消防ポンプ車16台・はしご車2台・化学車1台・救助工作車2台・資機材搬送車2台・高規格救急車11台・救急車1台・広報連絡車等11台をもって、広域圏民12万人の安全確保のため日夜精励している。

# 広域消防のあゆみ

47. 4. 1	1市8町5村で大曲仙北広域市町村圏組合消防本部発足
〃	(1本部・2署・12分署・2出張所) 条例定数 202 名 初代消防長に佐々木佳夫氏就任
7. 19	消防本部に広報車 (ニッサングロリア・バン) 購入配置
8. 31	大曲消防署・角館消防署に連絡車 (トヨタランドクルーザー) 購入配置
11. 30	角館消防署に水槽付消防ポンプ自動車 (いすゞ A-2 級 1,800 ℓ) 購入配置
12. 2	神岡分署庁舎新築落成
12. 8	大曲消防署に普通消防ポンプ自動車 (いすゞ A-2 級) 購入配置
〃	南外分署に普通消防ポンプ自動車 (いすゞ A-2 級) 購入配置
48. 1. 4	千畑分署庁舎新築落成
1. 5	南外分署庁舎新築落成
1. 8	大曲消防署に救急自動車 (ニッサンシビリアン 3 級・B 型) 購入配置 (S 56. 4 隊員搬送車に改装)
3. 20	協和分署庁舎新築落成
4. 10	太田分署庁舎新築落成
5. 1	角館消防署に救急自動車 (トヨタ 2 B 型) 購入配置
5. 25	西木分署庁舎新築落成
7. 20	消防本部に小型動力ポンプ積載車 (トヨタダイナ) 購入配置
10. 1	大曲消防署に救助隊発足、隊員 11 名
10. 20	六郷分署庁舎新築落成
10. 22	西仙北分署に普通消防ポンプ自動車 (ニッサン A-2 級) 購入配置
11. 28	大曲消防署に水槽付消防ポンプ自動車 (いすゞ A-2 級 2,000 ℓ) 購入配置
12. 27	仙南分署庁舎新築落成
49. 1. 19	中仙分署庁舎新築落成
3. 30	消防本部に一斉指令装置完成 (東消式 B 型)
〃	角館消防署に一斉指令装置完成 (東消式 B 型)
〃	消防本部消防課を廃止し、総務課、警防課、予防課の三課を新設
4. 19	仙北分署庁舎新築落成
5. 1	西仙北分署庁舎新築落成
5. 23	北出張所庁舎新築落成
6. 21	田沢湖分署庁舎新築落成
9. 26	六郷分署に水槽付消防ポンプ自動車 (いすゞ A-2 級 1,500 ℓ) 購入配置
11. 29	協和分署に救急自動車 (トヨタ 2 B 型) 購入配置
12. 27	田沢湖分署に救急自動車 (トヨタ 2 B 型) 購入配置 (S 61.12 角館救助隊資機材搬送車に改装)
50. 7. 18	六郷分署に救急自動車 (トヨタ 2 B 型) 購入配置
7. 31	田沢湖分署に普通消防ポンプ自動車 (トヨタ A-2 級) 購入配置
〃	南出張所に普通消防ポンプ自動車 (トヨタ A-2 級) 購入配置

50. 7. 31	西木分署に普通消防ポンプ自動車（トヨタA-2級）購入配置
51. 4. 1	角館消防署に救助隊発足・隊員5名
7. 29	中仙分署に普通消防ポンプ自動車（ニッサンA-2級）購入配置
〃	北出張所に普通消防ポンプ自動車（ニッサンA-2級）購入配置
7. 31	仙北分署に普通消防ポンプ自動車（トヨタA-2級）購入配置
52. 2. 22	大曲消防署に救急自動車（トヨタ2B型）配置 社団法人日本自動車工業会寄贈
2. 25	消防本部に指令車（トヨタクラウン）購入配置
4. 1	条例改正により定数204名
〃	西仙北分署に大曲消防署の救急自動車（トヨタIB型）配置
7. 1	消防本部に広報車（トヨタクラウンバン）購入配置
8. 4	神岡分署に普通消防ポンプ自動車（トヨタA-2級）購入配置
〃	千畑分署に普通消防ポンプ自動車（トヨタA-2級）購入配置
〃	太田分署に普通消防ポンプ自動車（トヨタA-2級）購入配置
53. 4. 1	条例改正により定数206名
〃	大曲消防署・角館消防署に連絡車（ニッサンブルーバードバン）購入配置
8. 3	角館消防署に普通消防ポンプ自動車（ニッサンA-2級）購入配置
〃	協和分署に普通消防ポンプ自動車（ニッサンA-2級）購入配置
〃	仙南分署に普通消防ポンプ自動車（ニッサンA-2級）購入配置
12. 14	西仙北分署に救急自動車（トヨタ2B型）配置 秋田県共済農業協同組合連合会寄贈
54. 4. 1	条例改正により定数207名
6. 1	2代目消防長に米谷辰之助氏就任
10. 2	大曲消防署に普通消防ポンプ自動車（トヨタA-1級）配置 社団法人日本損害保険協会寄贈
55. 2. 15	大曲消防署に救急自動車（ニッサン2B型）配置 社団法人日本損害保険協会寄贈
4. 11	救急自動車を角館消防署に配置
9. 2	六郷分署に普通消防ポンプ自動車（ニッサンA-2級）購入配置
56. 1. 27	大曲消防署に救急自動車（ニッサン2B型）配置 秋田県共済農業協同組合連合会寄贈
4. 1	3代目消防長に渡部長一氏就任
〃	大曲消防署に隊員搬送車配置
57. 3. 13	消防本部庁舎、大曲消防署庁舎、第二車庫及び訓練塔新築落成
〃	緊急情報現示装置完成（富士写真フィルム）
4. 1	4代目消防長に千羽孝氏就任
〃	条例改正により定数221名
6. 29	消防本部に広報車（ニッサンブルーバードバン）購入配置
12. 22	大曲消防署に救助工作車（シャシーいすゞ、ぎ装森田ポンプ）購入配置
59. 3. 3	田沢湖分署に救急自動車（トヨタ2B型）配置 社団法人日本損害保険協会寄贈
5. 16	角館消防署に連絡車（ニッサンブルーバードバン）購入配置 更新
9. 25	角館消防署に水槽付消防ポンプ自動車（日野A-2級2,000ℓ）購入配置 更新
9. 26	協和分署に救急自動車（ニッサン2B型）配置 財団法人日本消防協会寄贈
9. 28	南外分署に消防ポンプ自動車CD-I（ミツビシA-2級）購入配置 更新
11. 28	消防本部に防火広報車（トヨタ）配置 財団法人日本消防協会寄贈

60. 4. 1	5代目消防長に熊澤龍雄氏就任
12. 20	大曲消防署に消防ポンプ自動車CD-II (いすゞA-2級) 購入配置 更新
〃	西仙北分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞA-2級) 購入配置 更新
61. 3. 31	消防本部に指令車 (トヨタクラウン) 購入配置 更新
6. 2	大曲消防署に連絡車 (トヨタマークIIバン) 購入配置 更新
6. 6	大曲市を会場に東北地方建設局雄物川水防演習が開催される
8. 22	南出張所庁舎移転新築落成
9. 22	六郷分署に水槽付消防ポンプ自動車 (いすゞA-2級2,000ℓ) 購入配置 更新
12. 24	六郷分署に救急自動車 (トヨタ2B型) 購入配置 更新
〃	角館消防署に救助資機材搬送車配置
62. 9. 7	大曲消防署に消防資機材搬送車 (いすゞエルフダンプ) 購入配置
11. 12	田沢湖分署に消防ポンプ自動車CD-I (ミツビシ4WD・A-2級) 購入配置 更新
〃	西木分署に消防ポンプ自動車CD-I (ミツビシ4WD・A-2級) 購入配置 更新
12. 4	大曲消防署に水槽付消防ポンプ自動車 (いすゞA-2級3,000ℓ) 購入配置 更新
63. 3. 31	角館消防署に救急自動車 (ニッサン2B型) 配置 社団法人日本自動車工業会寄贈
9. 3	大曲消防署に救急自動車 (ニッサン2B型) 配置 財団法人日本消防協会寄贈
9. 30	消防本部に広報車 (トヨタマークIIバン) 購入配置 更新
12. 28	仙北分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
〃	中仙分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
〃	南出張所に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
H1. 4. 1	消防本部に救急救助課を新設
6. 17	西仙北分署に救急自動車 (トヨタ2B型) 購入配置 更新
10. 9	中仙分署救急業務開始、救急自動車配置
10. 11	神岡分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
〃	太田分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
〃	千畑分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
2. 4. 1	6代目消防長事務取扱に千田宏二氏就任
4. 5	中仙分署に救急自動車 (ニッサン2B型) 配置 社団法人日本自動車工業会寄贈
5. 8	7代目消防長事務取扱に高橋司氏就任
7. 27	8代目消防長事務取扱に西村茂氏就任
10. 8	西木分署救急業務取扱開始、救急自動車配置
10. 23	大曲消防署にはしご付消防ポンプ自動車 (25m級) 購入配置
11. 9	協和分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
〃	仙南分署に消防ポンプ自動車CD-I (いすゞ4WD・A-2級) 購入配置 更新
12. 20	仙南分署庁舎移転新築落成
3. 2. 6	消防本部に消防緊急情報システム装置完成 (II型)
4. 1	条例改正により定数241名
7. 17	協和分署に救急自動車 (トヨタ2B型) 購入配置
8. 10	協和分署庁舎移転新築落成

3.10.16	南外分署救急業務開始、救急自動車配置
12.1	消防本部通信指令室に気象情報収集装置配置
12.3	角館消防署庁舎新築落成
4.1.16	角館消防署に消防緊急情報指令施設完成（I型）
2.4	消防本部通信指令室に消防無線固定局（第4装置）増設
2.13	角館消防署に救助補助訓練塔完成
3.4	南外分署に救急自動車（トヨタ2B型）配置 社団法人日本損害保険協会寄贈
4.1	9代目消防長に富樫俊悦氏就任
〃	田沢湖、中仙町、西木村の119番を角館消防署に集約
5.26	角館消防署に連絡車（トヨタマークII）購入配置
7.10	西木分署に救急自動車（トヨタ2B型）購入配置
8.21	六郷町、西仙北町の119番を消防本部通信指令室に集約
9.1	大曲市を会場に秋田県総合防災訓練が開催される
10.1	田沢湖分署に救急自動車（トヨタ2B型）配置更新 財団法人日本消防協会寄贈
11.30	北出張所に消防ポンプ自動車CD-I（トヨタ4WD・A-2級）購入配置 更新
12.14	消防本部通信指令室、角館消防署に固定無線局配置 更新
5.5.18	消防本部警防課に広報車（トヨタカルディナ）購入配置 更新
9.6	大曲消防署に救急自動車（いすゞ2B型）配置更新 財団法人日本消防協会寄贈
10.6	角館消防署に救助工作車（いすゞフォワード・ぎ装森田）配置 社団法人日本損害保険協会寄贈
12.3	田沢湖分署庁舎移転新築落成
6.1.31	角館消防署に消防ポンプ自動車CD-I（いすゞ4WD・A-2級）購入配置 更新
3.31	中仙分署庁舎新築落成
4.1	10代目消防長に山崎敏彦氏就任
11.4	田沢湖分署にはしご付消防ポンプ自動車（30m級）購入配置
〃	大曲消防署に消防ポンプ自動車CD-I（いすゞ4WD・A-2級）購入配置 更新
11.11	田沢湖分署救急無線基地局設置
7.2.5	角館消防署通信指令室に設置されている救急無線基地局 更新
〃	田沢湖分署消防無線基地局設置
11.22	西木分署庁舎移転新築落成
8.3.26	大曲消防署に救助工作車III型（日野レンジャー4WD・ぎ装森田）購入配置 更新
4.1	11代目消防長に山崎堅治氏就任
11.26	六郷分署に救急自動車（トヨタ2B型）購入配置 更新
12.19 ～20	緊急消防援助隊北海道、東北ブロック第1回合同訓練に救助部隊で参加（仙台市）
9.1.30	南外分署に消防ポンプ自動車CD-I（いすゞエルフ4WD・A-2級）購入配置 更新
7.12	大曲消防署に防火広報車（トヨタハイエース）配置 京呉服川崎屋寄贈
8.5	大曲消防署に救急自動車（トヨタ2B型）購入配置 更新
8.28	消防本部に公用車（トヨタクラウン）購入配置 更新
10.15	西木分署に無線基地局（消防波・救急波）設置
10.22	西仙北分署に消防ポンプ自動車CD-I（いすゞエルフ4WD・A-2級）購入配置



10. 4. 1	県南3消防本部（大曲仙北広域・横手平鹿広域・湯沢雄勝広域）自動車電話・携帯電話 119番 受信開始（集約大曲消防本部）
6. 23	消防本部予防課に広報車（トヨタ・マークIIクオリス）購入配置 更新
7. 1	六郷分署に消防ポンプ自動車CD-I（いすゞエルフ4WD・A-2級） 購入配置 更新
10. 17	西仙北分署庁舎移転新築落成
〃	西仙北分署に消防無線基地局（消防波・救急波）設置
12. 2	角館消防署に救急自動車（トヨタ2B型）購入配置 更新
11. 3. 30	大曲消防署に広報・連絡車（トヨタクラウン・バン）配置 株式会社川端寄贈
11. 7	中仙分署に防火広報車（ホンダアクティ・バン）配置 中仙ライオンズクラブ寄贈
11. 29	大曲消防署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）購入配置
12. 8	大曲消防署に消防ポンプ自動車CD-II（日野4WD・A-2級）購入配置 更新
12. 3. 17	消防本部予防課に広報車（トヨタランドクルーザープラド）配置 財団法人日本消防協会寄贈
〃	消防本部予防課の広報車（トヨタ・マークIIクオリス）を角館消防署連絡車として異動配置
4. 1	大曲仙北広域消防体制の再編計画を策定（第一次）
9. 9	第6回秋田県救急隊員セミナーが大曲市で開催される
9. 25	角館消防署に水槽付消防ポンプ自動車（日野4WD・A-2級2,000ℓ） 購入配置 更新
10. 16	西仙北分署に救急自動車（トヨタ2B型）購入配置 更新
13. 9. 5	大曲市を会場に秋田県総合防災訓練が開催される
10. 23	大曲仙北広域市町村圏組合消防30周年記念式典開催
〃	大曲消防署に化学消防ポンプ自動車（日野レンジャー4WD・化学I型）配置 社団法人日本損害保険協会寄贈
11. 22	中仙分署に救急自動車（トヨタ2B型）購入配置 更新
11. 30	太田、千畑、仙北分署を統合し、東分署庁舎、訓練塔及び常設ヘリポート新築落成
12. 1	東分署運用開始、勤務体制に3部制を試行導入
〃	大曲消防署の勤務体制に3部制を試行導入
〃	東分署に救急自動車（トヨタ2B型）購入配置
〃	東分署に広報・連絡車（トヨタカルディナバン4WD）設置 太田町寄贈
〃	東分署に消防無線基地局（消防波）設置
14. 2. 1	消防本部消防無線基地局に全国共通波（3波）設置
2. 4	角館消防署消防無線基地局に第2装置（県内共通波）設置
4. 1	条例改正により定数245名
〃	12代目消防長に里見喜代治氏就任
5. 1	大曲仙北広域消防体制の再編計画を策定（第二次）
7. 19	消防本部警防課に連絡車（トヨタハリヤー4WD）購入配置 更新
10. 29	協和分署に救急自動車（トヨタ2B型4WD）購入配置 更新
15. 2. 5	田沢湖分署、西木分署に消防ポンプ自動車CD-I（三菱4WD・A-2級） 購入配置 更新

15. 12. 18	角館消防署に高規格救急車（トヨタハイメディック4WD）購入配置
16. 2. 19	中仙分署に消防ポンプ自動車CD-I（いすゞ4WD・A-2級）購入配置 更新
2. 23	大曲消防署に水槽付消防ポンプ自動車水-II（いすゞ4WD・A-2級 3,000ℓ水槽） 購入配置 更新
10. 20	六郷分署・仙南分署・大曲消防署南出張所を統合し、南分署庁舎を新築落成
11. 1	南分署運用開始、勤務体制に3部制を試行導入
17. 2. 18	南分署に消防無線基地局（消防波）設置
3. 1	消防本部に高機能消防指令センター（II型）完成
4. 1	消防本部に通信指令課を新設。高機能消防指令センターの運用開始
〃	大曲消防署、東分署及び南分署の勤務体制に3部制を導入
7. 8	第58回秋田県消防大会が大仙市で開催される
8. 1	大曲仙北広域消防体制の再編計画を策定（第三次）
12. 28	南外分署に救急自動車（トヨタ2B型4WD）購入配置 更新
18. 2. 9	神岡分署に消防ポンプ自動車CD-I（日野4WD・A-2級）購入配置 更新
12. 13	大曲消防署はしご付消防ポンプ自動車 オーバーホール実施
19. 1. 1	広域消防情報管理システムの運用開始
2. 8	田沢湖分署に救急自動車（トヨタ2B型4WD）購入配置 更新
4. 1	13代目消防長に佐藤富男氏就任
7. 31	田沢湖分署に災害対策支援車（三菱デリカ4WD）購入配置
10. 3	協和分署に広報・連絡車（トヨタカラーフィールダー4WD）配置 更新
12. 14	西木分署に救急自動車（トヨタ2B型4WD）購入配置 更新
20. 2. 7	東分署に消防ポンプ自動車CD-I（日野4WD・A-2級）購入配置 更新
2. 29	田沢湖分署はしご付消防ポンプ自動車 オーバーホール実施
4. 1	条例改正により定数255名
10. 15	平成20年度緊急消防援助隊 北海道・東北ブロック合同訓練が大仙市大曲地区を
～ 16	会場として開催される
11. 26	神岡分署、南外分署、大曲消防署北出張所を統合し、西分署を新築落成
〃	西分署に広報・連絡車（トヨタカラーフィールダー4WD）配置
12. 1	西分署運用開始、勤務体制に3部制を試行導入
〃	通信指令課及び角館消防署の勤務体制に3部制を試行導入
21. 4. 1	14代目消防長に高橋庄孝氏就任
〃	西分署の勤務体制に3部制を導入
〃	通信指令課及び角館消防署の勤務体制を3部制に移行
7. 30	東分署、南分署、西木分署に広報・連絡車（トヨタカラーフィールダー4WD） 配置 更新
9. 29	大曲消防署に資機材搬送車（いすゞエルフ4WD・2tロングボディ）購入配置 更新
22. 1. 15	東分署、協和分署に消防ポンプ自動車CD-I（日野デュトロ4WD・A-2級・CAFS） 購入配置 更新
2. 19	大曲消防署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）、南分署に救急自動車 （トヨタ・2B型4WD）購入配置 更新
6. 8	高機能消防指令センターに統合型位置情報通知システムを導入

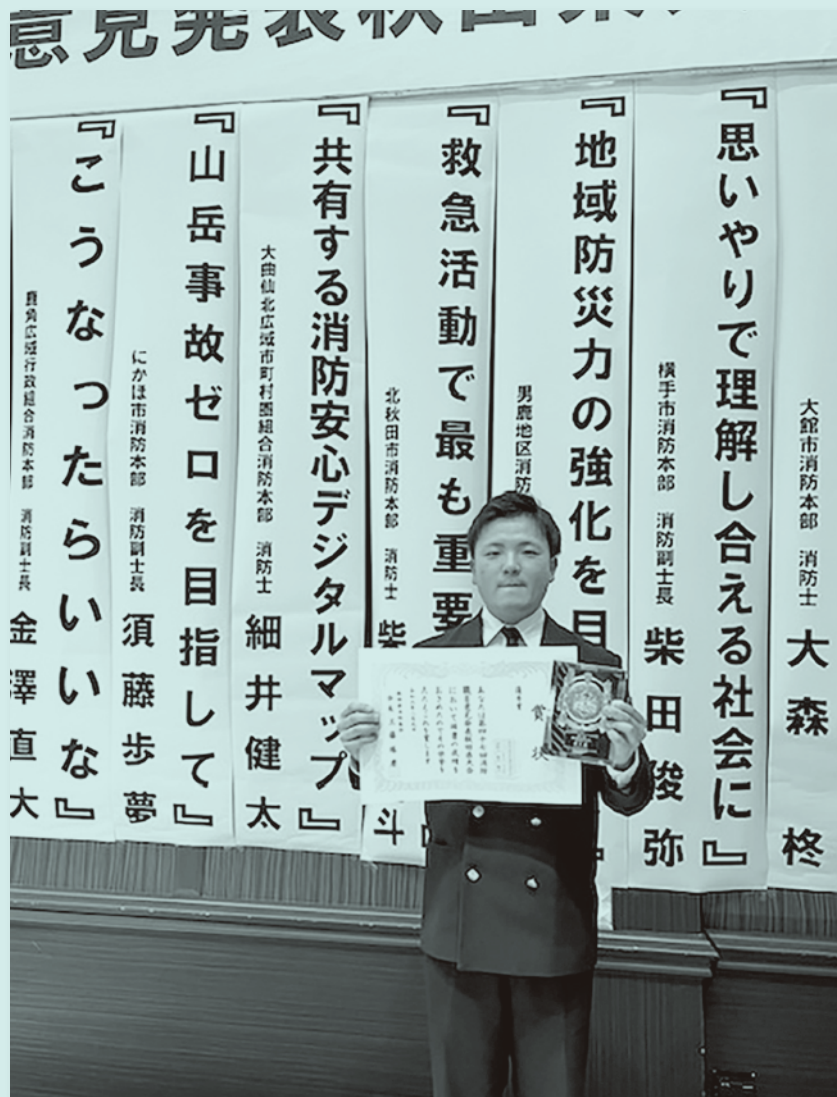
22. 7. 23	大曲消防署に指揮車（三菱デリカ4WD）購入配置 更新
7. 28	西仙北分署、中仙分署に広報・連絡車（トヨタカローラフィールダー4WD）配置 更新
10. 18	大曲市大曲地区を会場として秋田県総合防災訓練が開催される
23. 1. 7	角館消防署、西分署に消防ポンプ自動車CD-I（日野4WD・A-2級・CAFS）、大曲消防署に消防ポンプ自動車CD-I（日野4WD・A-2級）購入配置 更新
3. 11	田沢湖分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）配置 全国共済農業協同組合連合会寄贈
4. 1	条例改正により定数 267 名
〃	15 代目消防長に伊藤和美氏就任
〃	田沢湖分署の勤務体制を 3 部制に移行
8. 25	角館消防署に指揮車（ニッサン・エクストレイル4WD）配置 更新
8. 30	救急業務高度化推進計画を策定
9. 1	消防本部に広報連絡車（トヨタ・ノア4WD）配置 更新
11. 23	西仙北分署に救急自動車（トヨタ2B型4WD）購入配置 更新
24. 2. 6	南分署に消防ポンプ自動車CD-I（日野・デュトロ4WD・A-2級・CAFS） 購入配置 更新
8. 10	田沢湖分署庁舎 3 部制移行に伴い 28.65㎡増築
9. 20	大曲消防署に燃料補給車（三菱・キャンター4WD・軽油 990 リットル）配置 総務省消防庁無償使用
9. 24	協和分署の勤務体制を 3 部制に移行
11. 1	協和分署に高規格救急自動車（トヨタ・ハイメディック4WD）購入配置 更新
12. 17	西仙北分署に消防ポンプ自動車CD-I（日野・デュトロ4WD・A-2級・CAFS）購入配置 更新
25. 2. 28	協和分署庁舎 3 部制移行に伴い 23.08㎡増築
3. 22	大曲消防署に資機材搬送車（三菱キャンター4WD・3 t ロングボディ）配置 総務省消防庁無償使用
〃	角館消防署に資機材搬送車（いすゞエルフ4WD・2 t ロングボディ）を大曲消防署から移動配置
3. 27	角館消防署に救助工作車II型（いすゞフォワード4WD・消防ポンプ付・ぎ装平和機械） 購入配置 更新
4. 1	16 代目消防長に菅原達美氏就任
9. 19	角館消防署庁舎女性職員配置に伴い 79.36㎡増築
9. 20	角館消防署、南分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）購入配置 更新
12. 9	南分署に消防ポンプ自動車CD-I（いすゞ・エルフ4WD・A-2級） 購入配置 更新
26. 2. 13	消防本部予防課に広報車（トヨタ・ランドクルーザー4WD）配置 更新 総務省消防庁無償使用（機動連絡車）
3. 15	消防救急無線をデジタル化整備し運用開始
3. 27	大曲消防署に高規格救急車（ニッサン・パラメディック4WD）配置 座間市寄贈
4. 1	17 代目消防長に三浦肇氏就任
5. 7	大曲厚生医療センター内に大曲仙北救急ワークステーションを設置し運用開始 （試行期間 6 ヶ月、大曲消防署、南分署、協和分署、角館消防署、田沢湖分署対象）

26. 6. 28	第 67 回秋田県消防大会が大仙市で開催される
11. 1	大曲仙北救急ワークステーション本運用開始（全署対象）
11. 10	中仙分署に高規格準拠救急車（トヨタ・ハイメディック 4WD）購入配置 更新
27. 3. 27	大曲消防署に救助工作車 II 型（日野・レンジャー 4WD）購入配置
6. 29	大曲仙北広域消防職員配置再編計画を策定
8. 9	仙北市全域を会場として秋田県総合防災訓練が開催される
9. 26	第 21 回秋田県救急隊員セミナーが大仙市で開催される
10. 13	西分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック 4WD）購入配置 更新
28. 1. 21	大曲消防署に消防ポンプ自動車 C D-I（日野・デュトロ 4WD・A-2 級・C A F S） 購入配置 更新
4. 1	条例改正により定数 291 名
〃	18 代目消防長に森川正明氏就任
4. 23	消防本部警防課に災害対策用 U A V（Phantom3 Professional）購入配備
9. 28	東分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック 4WD）購入配置 更新
11. 10	中仙分署庁舎 48.85㎡増築
12. 9	西木分署庁舎 29.74㎡増築
29. 1. 25	角館消防署に水槽付消防ポンプ自動車水-Ⅱ（いすゞ・フォワード 4WD・A-2 級 3,000ℓ 水槽）購入配置 更新
9. 17	中仙分署の勤務体制を 3 部制に移行
〃	西木分署の勤務体制を 3 部制に移行
10. 24	中仙分署の高規格準拠救急車へ高度救命資機材を積載し、高規格運用を開始
〃	西木分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック 4WD）購入配置 更新
12. 27	田沢湖分署に消防ポンプ自動車 C D-I（日野・デュトロ 4WD・A-2 級・C A F S） 購入配置 更新
30. 2. 1	消防本部警防課に指揮車（トヨタ・レジアスエース 4WD）購入配置 更新
3. 23	消防本部新庁舎に高機能消防指令センター（Ⅱ型）完成 運用開始
4. 1	19 代目消防長に鈴木良則氏就任
5. 25	消防本部・大曲消防署新庁舎庁舎棟完成引渡
6. 11	消防本部・大曲消防署新庁舎移転運用開始
9. 19	西仙北分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック 4WD）購入配置 更新
12. 13	南分署庁舎 28.71㎡増築
31. 4. 25	消防本部・大曲消防署新庁舎訓練棟完成引渡
〃	消防本部・大曲消防署新庁舎竣工
R 1. 5. 28	消防本部警防課に災害対策用 U A V（Phantom4 Advanced+）購入配備
11. 1	第 5 回秋田県消防救助研究会が大仙市で開催される
11. 27	大曲消防署にはしご付き消防ポンプ自動車（伸縮水路管付き 35m 級）購入配置 更新
〃	田沢湖分署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック 4WD）購入配置 更新
12. 18	西仙北分署庁舎 56.64㎡増築
2. 1. 15	西木分署に消防ポンプ自動車 C D-I（日野・デュトロ 4WD・A-2 級・C A F S） 購入配置 更新
4. 1	20 代目消防長に佐藤広樹氏就任

2. 10. 19	大曲消防署に高規格救急車（トヨタ・ハイメディック4WD）購入配置 更新
12. 15	中仙分署に消防ポンプ自動車CD-I（日野・デュトロ4WD・A-2級・CAFS） 購入配置 更新
12. 23	協和分署庁舎 9.62㎡増築
3. 2. 16	大曲消防署に水槽付消防ポンプ自動車水-II（いすゞ・フォワード4WD・A-2級 3,000ℓ水槽）購入配置 更新
3. 16	田沢湖分署にはしご付き消防ポンプ自動車（伸縮水路管付き35m級） 購入配置 更新
8. 4	大曲仙北広域市町村圏組合設立50周年式典を開催する
9. 4	署活動用無線機（90台）を整備し運用開始
10. 22	令和3年度秋田県火災調査研修会（Web）が大仙市で開催される
4. 1. 14	協和分署に高規格救急車（ニッサン・パラメディック4WD）購入配置 更新
2. 13	令和3年度秋田県冬期防災訓練が仙北市田沢湖地域を会場として開催される （新型コロナウイルス感染拡大のため実働訓練は中止）
3. 24	大曲消防署に化学消防ポンプ自動車化-II（いすゞ・フォワード4WD・A-2級） 購入配置 更新
3. 28	角館消防署庁舎 大規模改修
11. 17	令和4年度秋田県国民保護共同実働・図上訓練
5. 2. 24	大曲消防署に高規格救急車（ニッサン・パラメディック4WD）購入配置 更新
1. 17	消防隊員用防火装備（防火服一式）を更新
3. 7	西分署に消防ポンプ自動車CD-I（日野・デュトロ4WD・A-2級） 購入配置 更新
5. 1	消防本部「救急救助課」から「救急課」へ課名変更
5. 22	消防本部警防課に災害対策用ハイスペックドローン（Hayate）配備 総務省消防庁無償使用
9. 3	第61回秋田県総合防災訓練が大仙市を会場として開催される
11. 20	田沢湖分署に広報連絡車（三菱・デリカ4WD）購入配備 更新
12. 25	角館消防署、南分署に高規格救急車（ニッサン・パラメディック4WD） 購入配置 更新
2. 7	高機能消防指令センター 指令台改修工事し運用開始
3. 26	業務継続計画（BCP）を策定
6. 4. 1	21代目消防長に佐々木伸吾氏就任



# 総務関係



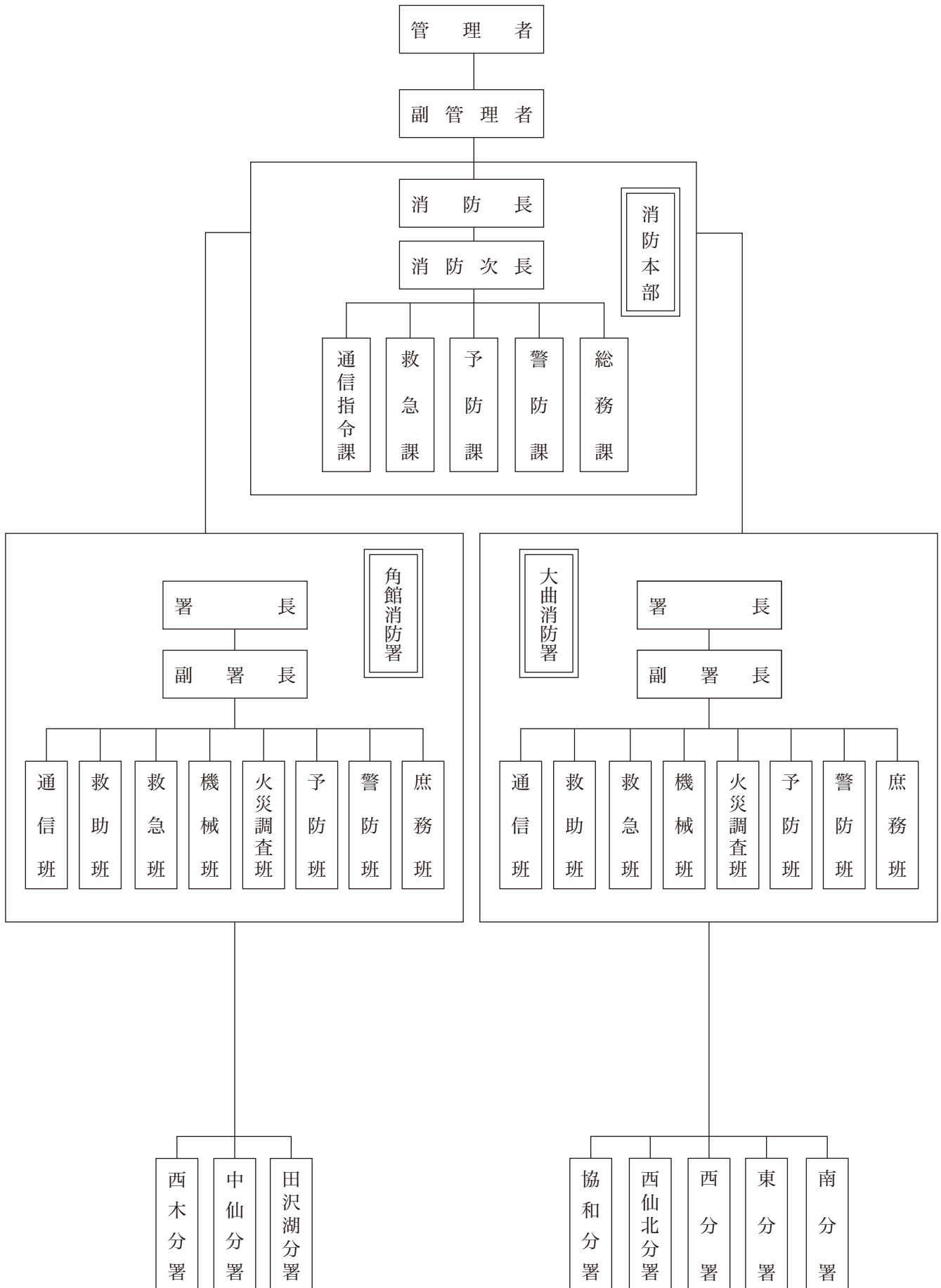
第47回消防職員意見発表秋田県大会  
(令和6年2月9日 於：ホテルメトロポリタン秋田)

発表者 細井健太 (優秀賞)





# 消防組織図



# 消防本部事務分掌

## 総務課

### •総務班

- (1) 組織及び運営に関すること。
- (2) 職員の任免、承認、賞罰、服務その他身分に関すること。
- (3) 職員の福利厚生に関すること。
- (4) 職員の公務災害補償手続に関すること。
- (5) 公印の新調、改廃及びその手続に関すること。
- (6) 条例、規則等の制定、改廃及び公布に関すること。
- (7) 文書の収受、発送及び整理保存に関すること。
- (8) 予算、決算及び経理に関すること。
- (9) 職員の給与に関すること。
- (10) 物品の調達、被服等の給貸与に関すること。
- (11) 儀式に関すること。
- (12) 消防職員委員会に関すること。
- (13) その他、他課に属さない事項に関すること。

## 警防課

### •警防班

- (1) 水火災その他の災害の警戒及び防ぎよに関すること。
- (2) 職員及び消防団員の教養並びに訓練に関すること。
- (3) 警防計画に関すること。
- (4) 消防地理水利の調査及び保全に関すること。
- (5) 火災警報発令、解除及び気象情報に関すること。
- (6) 各関係機関と結ぶ協定に関すること。
- (7) 消防相互応援協定に関すること。
- (8) 緊急消防援助隊に関すること。
- (9) 消防車両の整備に関すること。
- (10) 消防機械器具に関すること。
- (11) 消防統計に関すること。
- (12) その他、警防に関すること。

- 救 助 班

- (1) 救助業務計画に関する事。
- (2) 救助技術及び訓練に関する事。
- (3) 救助統計に関する事。
- (4) その他、救助に関する事。

## 予 防 課

- 予 防 班

- (1) 火災予防の立入検査に関する事。
- (2) 火災予防の広報及び企画に関する事。
- (3) 消防法令に適合している旨の通知書の交付に関する事。
- (4) 立入検査計画及び技術に関する事。
- (5) 建築同意事務の指導に関する事。
- (6) 防火対象物の違反指導に関する事。
- (7) 特定防火対象物等の意見書に関する事。
- (8) 防火対象物に係る特例認定に関する事。
- (9) 防火管理者の資格取得講習及び指導に関する事。

- 危 険 物 班

- (1) 危険物製造所等の許可、承認等に関する事。
- (2) 危険物製造所等の立入検査に関する事。
- (3) 危険物取扱者及び危険物保安監督者の指導に関する事。
- (4) 予防規程の認可に関する事。
- (5) 液化石油ガス販売事業等の許可に対する意見に関する事。
- (6) 火薬類の販売及び設置の許可に対する意見に関する事。
- (7) 危険物関係事故の原因調査及び報告に関する事。
- (8) その他、危険物全般に関する事。

- 火災調査班

- (1) 火災の原因及び損害調査に関する事。
- (2) 警察との連絡に関する事。
- (3) その他、調査全般に関する事。

## 救急課

- (1) 救急業務の管理及び計画に関する事。
- (2) 救急技術の指導、訓練及び教育に関する事。
- (3) 救急装備品等の配置運用及び整備並びに維持管理に関する事。
- (4) 救急統計に関する事。
- (5) 救急医療機関との連絡調整に関する事。
- (6) 応急手当の普及啓発に関する事。
- (7) メディカルコントロール体制に関する事。
- (8) 救急業務の高度化推進に関する事。
- (9) その他、救急全般に関する事。

## 通信指令課

- (1) 災害通報の受信及び指令業務に関する事。
- (2) 指令システム、通信施設、情報システムの整備及び管理に関する事。
- (3) 消防無線、通信施設及び情報システムの整備及び管理に関する事。
- (4) 通信業務における各種記録の管理に関する事。
- (5) 気象の観測及び警報、注意報の伝達に関する事。
- (6) 消防通信に関する事。
- (7) 救急医療情報の収集に関する事。
- (8) 報道対応に関する事。
- (9) その他、通信に関する事。

# 消 防 署 事 務 分 掌

## 庶 務 班

- (1) 令達及び例規に関すること。
- (2) 文書の収受、発送、処理及び保存に関すること。
- (3) 庁舎及び附属施設の保守管理に関すること。
- (4) 署員の衛生管理に関すること。
- (5) 行事及び会議に関すること。
- (6) 署員の福利厚生に関すること。
- (7) その他、他の班に属しないこと。

## 警 防 班

- (1) 火災警報発令、解除及び気象情報に関すること。
- (2) 非常警備に関すること。
- (3) 消防統計及び消防情報に関すること。
- (4) 消防地理水利の保守に関すること。
- (5) 緊急消防援助隊に関すること。
- (6) その他警防に関すること。

## 予 防 班

- (1) 火災予防の査察及び普及広報に関すること。
- (2) 火災予防条例の規定による届出に関すること。
- (3) 建築同意事務に関すること。
- (4) 工事整備対象設備等の着工届及び検査に関すること。
- (5) 危険物に関すること。
- (6) 防火対象物の管理指導及び訓練に関すること。
- (7) その他予防に関すること。

## 火災調査班

- (1) 火災の原因及び損害調査に関すること。
- (2) 警察との連絡に関すること。
- (3) 火災調査全般に関すること。

## **機 械 班**

- (1) 消防機械器具の整備計画に関すること。
- (2) 消防機械器具の改善研究に関すること。
- (3) 消防機械器具の運用技術の指導に関すること。
- (4) 消防車両の燃料に関すること。
- (5) 庁舎車両の保守管理に関すること。

## **救 急 班**

- (1) 救急装備品等の保管及び管理に関すること。
- (2) 応急手当の普及啓発に関すること。
- (3) 救急の搬送証明に関すること。
- (4) 救急出動の記録及び救急統計に関すること。
- (5) その他救急業務に必要な事項に関すること。

## **救 助 班**

- (1) 災害救助活動に関すること。
- (2) 救助資機材の点検整備及び保全に関すること。
- (3) 救助訓練に関すること。
- (4) 救助出動の記録及び救助統計に関すること。
- (5) 山岳及び水難救助に関すること。
- (6) 緊急消防援助隊装備品の管理及び保全に関すること。
- (7) その他救助業務に必要な事項に関すること。

## **通 信 班**

- (1) 消防通信の統制及び通信機器の整備保全に関すること。

# 消 防 庁 舎 の 現 況

(令和6年4月1日現在)

区 分 署 別	現 住 所	電話番号	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)	建築完成 年月日 (増改築等)
消 防 本 部	〒014-0061 大仙市大曲栄町13-47	0187 63-0150	4690.66	1484.92	4300.82	H30. 5.25
大 曲 消 防 署		0187 63-0151				
南 分 署	〒019-1237 美郷町佐野字倉合172	0187 87-8119	4109.00	494.29	598.46	H16.10.20 (H30.12.13)
東 分 署	〒019-1602 大仙市太田町三本扇 字野沢268-9	0187 88-2119	4098.23	482.04	516.22	H13.11.30
西 分 署	〒019-1853 大仙市南外字坊田黒沢152	0187 73-1197	4382.87	554.43	659.36	H20.11.26
西 仙 北 分 署	〒019-2112 大仙市刈和野 字上ノ台荒屋敷134-42	0187 75-1119	1381.20	356.35	356.35	H10.11.12 (R 1.12.18)
協 和 分 署	〒019-2413 大仙市協和上淀川 字中嶋17-1	018 892-3119	1388.99	347.80	345.32	H 3. 8.10 (R 2.12.23)
角 館 消 防 署	〒014-0378 仙北市角館町西野川原25-10	0187 54-2302	2708.21	580.05	805.11	H 3.12. 3 (R 4. 3.28)
田 沢 湖 分 署	〒014-1201 仙北市田沢湖生保内 字上清水674	0187 43-1139	1829.50	414.80	410.81	H 5.12. 3 (H24. 8.10)
中 仙 分 署	〒014-0203 大仙市北長野字茶畑96	0187 56-4119	1431.00	348.79	348.79	H 6. 3.31 (H28.11.10)
西 木 分 署	〒014-0602 仙北市西木町桧木内 字高屋132-1	0187 48-2324	2054.00	329.26	329.26	H 7.11.22 (H28.12. 9)

## 令和6年度消防費（当初予算）

(歳出)

款	項	目	区 分 ・ 金 額	千円
5. 消防費	1. 消防費			2,599,783
		1. 常備消防費		2,340,925
			2. 給 料	983,688
			3. 職 員 手 当	695,884
			4. 共 済 費	400,661
			8. 報 償 費	70
			9. 旅 費	7,855
			10. 交 際 費	50
			11. 需 用 費	105,277
			12. 役 務 費	23,595
			13. 委 託 料	82,202
			14. 使用料及び手数料	22,317
			16. 原 材 料 費	80
			18. 備 品 購 入 費	4,690
			19. 負 担 金 補 助 金 及 び 交 付 金	13,198
			27. 公 課 費	1,358
		2. 施設整備費		258,858
			9. 旅 費	94
			12. 役 務 費	131
			13. 委 託 料	82,285
			15. 工 事 請 負 費	8,942
			18. 備 品 購 入 費	167,242
			27. 公 課 費	164



## 最近5年間の構成市町消防費負担金（当初予算）

（単位：千円）

市町名 \ 年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
大 仙 市	1,502,428	1,558,306	1,356,924	1,473,934	1,393,553
仙 北 市	623,526	638,968	589,836	636,603	840,517
美 郷 町	440,357	452,523	391,967	429,388	403,686
合 計	2,566,311	2,649,797	2,338,727	2,539,925	2,637,756

## 令和6年度構成市町予算額に対する消防予算額（当初予算）

（単位：千円）

市町名 \ 区分	市町総予算額 (A)	市町消防予算額 (B)	比 率 B/A %	常備消防費 (C)	比 率 C/A %
大 仙 市	46,407,800	1,865,284	4.02	1,502,428	3.24
仙 北 市	20,624,000	937,711	4.55	623,526	3.02
美 郷 町	11,837,294	545,578	4.61	440,357	3.72
合 計	78,869,094	3,348,573	4.25	2,566,311	3.25

# 職 員 配 置 状 況

(令和6年4月1日現在)

		消防正監	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	計
現 在 数		1	3	12	50	48	58	64	58	294
消 防 本 部		1	1	5	4	10 (3)	8	4	0	33
大 曲 消 防 署 管 内	大曲消防署		1	3	7	9 (1)	7 (1)	16	18	61
	南 分 署			1	3	5 (2)	6 (1)	3	5	23
	東 分 署				4	4 (1)	5 (2)	4	4	21
	西 分 署				4	2	4 (2)	5	6	21
	西仙北分署				4	2	5 (1)	4	4	19
	協 和 分 署				4	1	4 (1)	7	3	19
角 館 消 防 署 管 内	角館消防署		1	3	7	6 (1)	7	5	7	36
	田沢湖分署				4	3 (1)	5 (1)	5	4	21
	中 仙 分 署				4	3	3	6	4	20
	西 木 分 署				4	2	4 (1)	5	3	18
他 機 関 派 遣					1	1				2

※( )は再任用

# 職員階級別年齢表

(令和6年4月1日現在)

階級 年齢	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
20才未満	10	0	0	0	0	0	0	0	10
20才以上～25才未満	38	0	0	0	0	0	0	0	38
25才以上～30才未満	46	0	0	0	0	0	0	36	10
30才以上～35才未満	53	0	0	0	0	0	25	28	
35才以上～40才未満	27	0	0	0	0	5	22		0
40才以上～45才未満	19	0	0	0	0	18	1	0	0
45才以上～50歳未満	18	0	0	0	5	13	0	0	0
50才以上～55才未満	36	0	0	3	30	3		0	0
55才以上	28	1	3	9	15			0	0
再任用	19					9	10	0	0
計	294	1	3	12	50	48	58	64	58
平均年齢(再任用除く)	36.6	59.0	58.3	56.5	52.9	43.6	34.5	28.9	22.2

# 職員勤続年数表

(令和6年4月1日現在)

階級 年数	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
1年未満	10	0	0	0	0	0	0	0	10
1年以上～5年未満	32	0	0	0	0	0	0		32
5年以上～10年未満	56	0	0	0	0	0	1	39	16
10年以上～15年未満	63	0	0	0	0	3	35	25	0
15年以上～20年未満	21	0	0	0	0	10	11	0	0
20年以上～25年未満	13	0	0	0	1	11	1	0	0
25年以上～30年未満	19	0	0	0	7	12	0	0	0
30年以上	61	1	3	12	42	3		0	0
再任用	19					9	10	0	0
計	294	1	3	12	50	48	58	64	58
平均年数(再任用除く)	16.5	37.0	38.3	36.9	33.7	22.2	13.2	9.1	3.1

# 消防職員意見発表会出場者

(県大会以上)

年次	出場者名	所属(当時)	成績		
			県大会	東北大会	全国大会
昭和53年	高川恒雄	大曲消防署	入賞		
昭和54年	大澤善樹	中仙分署	優秀賞		
昭和55年	加藤隆一	大曲消防署	努力賞		
昭和56年	佐々木邦夫	西木分署	優秀賞		
昭和57年	門脇民夫	西木分署	入賞		
昭和58年	長澤典雄	仙北分署	最優秀賞	優秀賞	
昭和59年	原茂樹	仙北分署	優秀賞		
昭和60年	佐藤良美	仙北分署	優秀賞		
昭和61年	鈴木良則	仙北分署	最優秀賞	優秀賞	
昭和62年	鈴木尚老	仙北分署	優秀賞		
昭和63年	柏谷伸幸	仙北分署	優秀賞		
平成元年	栗林一定	田沢湖分署	優秀賞		
平成2年	伊藤清隆	南外分署	最優秀賞	最優秀賞	入賞
平成3年	伊藤清隆	協和分署	最優秀賞	優秀賞	
平成4年	山崎慎	六郷分署	入賞		
平成5年	伊藤博文	田沢湖分署	優秀賞		
平成6年	戸島浩樹	神岡分署	最優秀賞	優秀賞	
平成7年	畠山満輝	角館消防署	入賞		
平成8年	武藤亮幸	大曲消防署	入賞		
平成9年	稲葉和也	大曲消防署	入賞		
平成10年	八木克司	六郷分署	優秀賞		
平成11年	後藤恵太	神岡分署	最優秀賞	入賞	
平成12年	小松知巳	角館消防署	最優秀賞	最優秀賞	入賞
平成13年	鈴木一伊	大曲消防署	優秀賞		
平成14年	伊藤岳	大曲消防署	最優秀賞	入賞	
平成15年	小友豆	大曲消防署	入賞		
平成16年	田口勝彦	大曲消防署	優秀賞		
平成17年	清水川良弘	角館消防署	入賞		
平成18年	高橋俊幸	角館消防署	優秀賞		
平成19年	佐藤玲緒奈	大曲消防署	入賞		
平成20年	進藤秀俊	西仙北分署	優秀賞		
平成21年	高野和春	角館消防署	入賞		
平成22年	河原智海	大曲消防署	入賞		
平成23年	高橋洋平	中仙分署	優秀賞		
平成24年	佐藤勝昭	田沢湖分署	最優秀賞	入賞	
平成25年	阿部和範	西木分署	最優秀賞	入賞	
平成26年	中谷壮志	大曲消防署	最優秀賞	入賞	
平成27年	新田理沙	角館消防署	最優秀賞	最優秀賞	最優秀賞
平成28年	石郷岡美幸	角館消防署	最優秀賞	優秀賞	
平成29年	茂木雄大	東分署	最優秀賞	入賞	
平成30年	吉田瑞穂	角館消防署	最優秀賞	最優秀賞	入賞
平成31年	藤井和磨	角館消防署	最優秀賞	優秀賞	
令和2年	齊藤佳祐	大曲消防署	優秀賞		
令和3年	武石駿帆	大曲消防署	入賞		
令和4年	高橋奎人	協和分署	最優秀賞	入賞	
令和5年	千葉将太	角館消防署	最優秀賞	入賞	
令和6年	細井健太	西分署	優秀賞		

警 防 関 係



令和5年度（第61回）秋田県総合防災訓練



# 消防車両及び無線局配置状況

(令和6年4月1日現在)

区分 所属		消防ポンプ自動車・その他の車両												無線局 (デジタル)				無線局 (アナログ)	
		車両 総計	ポン プ車	水槽付 ポンプ車	はし ご車	化学 車	救助 工作車	救 急車	指 揮車	広報・ 連絡車等	資機材 搬送・ 燃料補給	ボート トローラー	救 助艇	基 地局	移 動 局				携 帯
															可 搬 型	卓 上 型	車 載	携 帯	
計		50	14	2	2	1	2	12	3	11	3	1	2	7	1	10	50	67	93
消 防 本 部		4							1	3				1	1		3	3	6
大 曲 消 防 署 管 内	大曲消防署	12	2	1	1	1	1	3	1		2	1	1			1	13	13	18
	南 分 署	4	2					1		1						1	4	6	9
	東 分 署	4	2					1		1						1	4	6	7
	西 分 署	4	2					1		1				1		1	4	6	7
	西仙北分署	3	1					1		1				1		1	3	5	7
	協 和 分 署	3	1					1		1				1		1	3	5	7
角 館 消 防 署 管 内	角館消防署	6	1	1			1	1	1		1	1	1	1		1	6	7	12
	田沢湖分署	4	1		1			1		1				1		1	4	6	7
	中仙分署	3	1					1		1						1	3	5	7
	西木分署	3	1					1		1				1		1	3	5	6

# 現有車両明細

(令和6年4月1日現在)

区分 所属	種別	車両 メーカー	車両番号	年式	機装 メーカー	車齢 (年度)	摘要	
消防 本部	公用車	トヨタ	秋田 300 た 2445	H14		21		
	指揮車	トヨタ	秋田 830 す 1801	H30		6	警防課	
	機動連絡車	トヨタ	秋田 800 す 1940	H26		10	予防課 総務省消防庁無償使用車両	
	指揮・連絡車	トヨタ	秋田 830 す 1108	H23		12		
大 曲 消 防 署	水槽付きポンプ車	いすゞ	秋田 830 さ 2102	R3	長野 ポンプ	3	水-II型 (水槽3,000ℓ)	
	ポンプ1号車	日野	秋田 830 さ 1601	H28	モリタ	8	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ	
	ポンプ2号車	日野	秋田 830 す 1101	H23	モリタ	13	CD-I型 (非常用予備車)	
	救助工作1号車	日野	秋田 830 さ 1503	H27	モリタ	9	救助工作車II型	
	はしご車	日野	秋田 830 す 1911	R1	モリタ	4	35m級先端屈折伸縮水路管 付き	
	化学車	いすゞ	秋田 830 さ 2203	R4	長野 ポンプ	2	化学-II型 (水槽2000ℓ、 薬液槽250ℓ×2)	
	資機材搬送車	三菱	秋田 800 す 1371	H25		11	総務省消防庁無償使用車両	
	指揮・連絡車	三菱	秋田 830 さ 1007	H22		13		
	燃料補給車	三菱	秋田 800 す 1072	H24		11	軽油990ℓ 総務省消防庁無償使用車両	
	救急1号車	トヨタ	秋田 830 す 2010	R2		3	高規格救急車	
	救急2号車	ニッサン	秋田 830 そ 2302	R5		1	高規格救急車	
	救急3号車	トヨタ	秋田 831 は 119	H23		12	2B型救急車	
	管 内 署	ポンプ1号車	日野	秋田 830 さ 1201	H24	モリタ	12	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ
		ポンプ2号車	いすゞ	秋田 830 す 1312	H25	モリタ	10	CD-I型
救急車		ニッサン	秋田 830 さ 2312	R5		0	高規格救急車	
連絡車		トヨタ	秋田 830 す 907	H21		14		
ポンプ1号車		日野	秋田 830 そ 1001	H22	モリタ	14	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ	
ポンプ2号車		日野	秋田 830 す 802	H20	モリタ	16	CD-I型	
救急車		トヨタ	秋田 830 さ 1609	H28		7	高規格救急車	
連絡車		トヨタ	秋田 830 さ 907	H21		14		



所属	区分	種別	車 両 メーカー	車 両 番 号	年式	機 装 メーカー	車 齢 (年度)	摘 要	
大 曲 消 防 署 管 内	西 分 署	ポンプ1号車	日 野	秋田830そ 1101	H23	モリタ	13	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ	
		ポンプ2号車	日 野	秋田830す 2302	R5	モリタ	1	CD-I型	
		救 急 車	トヨタ	秋田830さ 1510	H27		8	高規格救急車	
		連 絡 車	トヨタ	秋田830す 810	H20		15		
	西 仙 北 分 署	ポンプ車	日 野	秋田830た 1212	H24	モリタ	11	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ	
		救 急 車	トヨタ	秋田830さ 1809	H30		5	高規格救急車	
		連 絡 車	トヨタ	秋田830す 1007	H22		13		
	協 和 分 署	ポンプ車	日 野	秋田830た 1001	H22	モリタ	14	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ	
		救 急 車	ニッサン	秋田830せ 2201	R4		2	高規格救急車	
		連 絡 車	トヨタ	秋田800さ 7971	H19		16		
	角 館 消 防 署 管 内	角 館 消 防 署	水槽付きポンプ車	いすゞ	秋田830さ 1701	H29	長野 ポンプ	7	水-II型 (水槽3,000ℓ)
			ポンプ車	日 野	秋田830せ 1101	H23	モリタ	13	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ
救助工作車			いすゞ	秋田830す 1303	H25	平和機械	11	救助工作車II型、 消防ポンプ積載	
資機材搬送車			いすゞ	秋田830さ 909	H21		14		
指揮・連絡車			ニッサン	秋田830さ 1108	H23		12		
救 急 車			ニッサン	秋田830す 2312	R5		0	高規格救急車	
田 沢 湖 分 署		ポンプ車	日 野	秋田830す 1712	H29	モリタ	6	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ	
		はしご車	日 野	秋田830さ 2103	R3	モリタ	3	35m級先端屈折伸縮水路管 付き	
		救 急 車	トヨタ	秋田830さ 1911	R1		4	高規格救急車	
		連 絡 車	三 菱	秋田830さ 2311	R5		0		
		中 仙 分 署	ポンプ車	日 野	秋田830た 2012	R2	モリタ	3	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ
			救 急 車	トヨタ	秋田831ら 119	H26		9	高規格救急車
			連 絡 車	トヨタ	秋田830せ 1007	H22		13	
		西 木 分 署	ポンプ車	日 野	秋田830つ 2001	R2	モリタ	4	CD-I型 (CAFS装置付き) 水槽600ℓ
			救 急 車	トヨタ	秋田830さ 1709	H29		6	高規格救急車
連 絡 車			トヨタ	秋田830せ 907	H21		14		

# 火 災 出 動 区 分

## 大曲消防署管内

発生場所		区 分	第 1 出 動	第 2 出 動	第 3 出 動	出 動 台 数			
						第1	第2	第3	
大 仙 市	大 地 曲 域	市街地No.1	大曲(2) 南(1) 西(1) 東(1)	南(1) 中仙	東(1) 角館(1)	5	7	9	
		市街地No.2	大曲(2) 南(2) 西(1)	東(1) 中仙	西(1) 角館(1)	5	7	9	
		花 館	大曲(2) 南(1) 西(2)	東(1) 中仙	角館(1)	5	7	8	
		角間川・ 藤 木	大曲(2) 南(2) 西(1)	東(1) 西(1)	東(1)	5	7	8	
		四 ツ 屋	大曲(2) 西(2) 中仙	南(1) 東(1)	角館(1)	5	7	8	
		内小友・ 大川西根	大曲(2) 南(1) 西(1)	南(1) 西(1)	中仙	4	6	7	
	神 岡 地 域		西(2) 西仙北	大曲(1) 協和	中仙	3	5	6	
	西 仙 北 地 域	土 川 以 外	西仙北 西(1) 協和	大曲(1) 西(1)	中仙	3	5	6	
		土 川	西仙北 西(1) 中仙	大曲(1) 角館(1)	東(1)	3	5	6	
	太 地 田 域	長 信 田	東(2) 中仙	大曲(1) 角館(1)	南(1)	3	5	6	
		横 沢 ・ 国 見	東(2) 中仙	角館(1) 南(1)	大曲(1)	3	5	6	
	仙 北 地 域	高 梨	東(2) 大曲(1) 南(1)	南(1) 中仙	大曲(1)	4	6	7	
		横 堀	東(2) 大曲(1) 中仙	角館(1) 南(1)	大曲(1)	4	6	7	
	協 和 地 域	荒 川	協和 西仙北 角館(1)	大曲(1) 西(1)	西(1)	3	5	6	
		荒川以外	協和 西(1) 西仙北	大曲(1) 角館(1)	西(1)	3	5	6	
	南 外 地 域	南 檜 岡	西(2) 大曲(1)	西仙北 南(1)	中仙	3	5	6	
		外 小 友	西(2) 大曲(1)	南(1) 西仙北	大曲(1)	3	5	6	
	美 郷 町	六 郷 地 域		南(2) 東(1)	大曲(1) 東(1)	大曲(1)	3	5	6
		千 畑 地 域	千 屋	東(2) 南(1)	大曲(1) 中仙	南(1)	3	5	6
			畑 屋	東(2) 南(1)	大曲(1) 南(1)	大曲(1)	3	5	6
仙 南 地 域		南(2) 大曲(1)	大曲(1) 東(1)	西(1)	3	5	6		

## 角館消防署管内

発生場所		区分	第1出動	第2出動	第3出動	出動台数		
						第1	第2	第3
大仙市	中仙地域		中仙 角館(1) 東(1)	大曲(1) 東(1)	南(1)	3	5	6
仙北市	角館地域	角館	角館(2) 中仙	西木 東(1)	大曲(1) 田沢湖	3	5	7
		白岩	角館(2) 中仙	田沢湖 東(1)	東(1)	3	5	6
		雲沢	角館(2) 中仙	西木 東(1)	西仙北	3	5	6
		中川	角館(2) 中仙	西木 東(1)	東(1)	3	5	6
	田沢湖地域		田沢湖 角館(1) 西木	中仙 東(1)	大曲(1)	3	5	6
	西木地域	上・下 桧木内	西木 角館(1) 田沢湖	中仙 東(1)	大曲(1)	3	5	6
		西明寺	西木 角館(1) 中仙	田沢湖 東(1)	大曲(1)	3	5	6

※ ( ) 内は出動台数とする。

※ 指令により火災発生場所の第1出動隊は、直ちに出動すること。  
危険区域は、第2出動を第1出動とする。

※ 火災規模・種別・その他の状況により隊編成が変更となる。

※ 救助工作車・はしご自動車・化学車の出動については、個別指令により運用する。

※ 特定地域については、次のとおりとする。  
なお、細部については隣接する所属において決定運用する。  
市街地No.1・・・丸子川以北地域の出動編成  
市街地No.2・・・丸子川以南地域の出動編成

※ 圏外応援出動 南分署(1) ……横手市金沢本町、金沢中野、安本、黒川、寺村  
南分署(1) ……横手市大雄地区(福島、野崎地内)  
大曲消防署(1) ……横手市大森地区(板井田地内)

※ 上記出動区分はあくまでも基準であり、災害発生時には災害状況に応じ、管轄車両及び現場直近車両等を指令システムにより選定し、運用されるものである。

# 消防・救助用特殊資機材一覧表

(令和6年4月1日現在)

種 別	消防本部	大曲管内	角館管内	合計	種 別	消防本部	大曲管内	角館管内	合計
画像探索機Ⅰ型		1		1	ハンマードリル		2	1	3
画像探索機Ⅱ型		1		1	携帯用コンクリート破壊器具		2	2	4
地中音響探知機		1		1	削岩機		2		2
熱画像直視装置		10	6	16	ペダルカッター			1	1
夜間暗視装置		1		1	マット型空気ジャッキ		1	2	3
放射線測定器 (サーベイメーター)		2	1	3	可搬式ウインチ		4	4	8
放射線個人線量計		14	12	26	車両移動器具 (ゴージャック)		2	1	3
可燃性・有毒ガス・酸素測定器		5	7	12	空気式救助マット		1	2	3
送排風機		1	2	3	マンホール救助器具 (救助用支点器具)		1	1	2
耐熱服		1		1	緩降機		1	1	2
放射線防護服					三連はしご		14	8	22
化学防護服 (レベル A 対応)		9		9	ワイヤーはしご		1	1	2
化学防護服 (レベル B 対応)		12	9	21	バスケット担架		8	4	12
化学防護服 (レベル C 対応)		13		13	携帯 GPS			5	5
防毒衣			3	3	平担架		1	1	2
防毒マスク		26	29	55	サーバイバースリング		2	3	5
除染シャワー		1		1	救命索発射銃		1		1
耐電用具		8	9	17	インパルス消火装置			3	3
大型油圧救助器具		3	1	4	背負式消火水のう (ジェットシューター)		69	30	99
電動救助工具 (マルチカッター)		2	2	4	空気呼吸器		93	42	135
ポートパワー			2	2	酸素呼吸器				
プランジャーラム		1		1	簡易呼吸器		2		2
エンジンカッター		7	4	11	電動ソー		4	4	8
チェーンソー		12	7	19	救助艇		3	1	4
エアーツール		1	1	2	救命胴衣		112	31	143
充電式鉄線カッター		1		1	災害対策用 UAV (ドローン)		1	1	2
ガス溶断機		1	1	2					

# 職員の免許等取得状況

(令和6年4月1日現在)

階級別 免許・資格別	計	消防 正監	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士
大型自動車	231	1	3	11	46	43	54	59	14
中型自動車(8t限定)	139	1	3	12	49	47	27		
準中型自動車	5								5
準中型自動車(5t限定)	104				1	1	31	62	9
大型特殊自動車	71		2	3	15	13	23	11	4
自動二輪	54		1	2	17	11	15	7	1
けん引車	13		1	1	3	3	4		1
小型車両系建設機械	113		1	7	32	20	30	22	1
車両系建設機械	21		2	1	9	2	4	3	
小型移動式クレーン	52		2	1	13	11	14	9	2
玉掛け技能	51		2	1	11	13	13	9	2
小型船舶操縦士	68	1	2	2	14	19	15	12	3
特殊無線技士	268	1	2	10	49	45	51	63	47
酸素欠乏・硫化水素 危険作業主任者	33		2	1	5	10	11	3	1
特定化学物質作業主任者(EOG)	23				10	4	7	2	
アマチュア無線技士	37	1	1	4	20	7	4		
衛生管理者	11	1		1	6	2	1		
電気工事士	14				4	1	2	4	3
アセチレンガス溶接士	25		2		8	11	2	1	1
ボイラー技士	7				2	2	2	1	
消防設備士	43		2	2	9	11	6	8	5
危険物取扱者 甲	12			1		4	3	4	
危険物取扱者 乙	266	1	2	9	50	41	56	64	43
危険物取扱者 丙	17		2	3	6	2		2	2
商業簿記三級以上	23			2	3	3	4	7	4
救急救命士	76				15	16	19	18	8
救急課程	246	1	3	12	44	44	51	56	35
応急手当指導員	267	1	3	12	50	47	57	58	39
石油機器技術者	8			1	3	3	1		
潜水士	45		1	1	9	12	10	10	2
予防技術検定(消防用設備等)	25		1	3	6	8	4	3	
予防技術検定(査察)	80		1	3	11	18	29	16	2
予防技術検定(危険物)	29			3	5	7	6	8	

# 職員教養訓練実施状況

(令和5年度)

区分		階級別	延べ人員	回数	以消防司令上長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
学 校 教 育 等	消防 大学 校	上級幹部科									
		幹部科	1			1					
		警防科									
		予防科									
		救急科									
		救助科									
		国民保護コース	1			1					
	指導救命士養成研修	1					1				
	救急救命研修所	2						1	1		
	県 消 防 学 校	初任教育	9								9
		警防科	3						1	1	1
		予防査察科	3						1	1	1
		火災調査科	4						1	3	
		救急科	9								9
		救助科	4							4	
		特殊災害科	2						2		
		救急救命処置再教育	4							4	
		幹部教育	2				2				
		消防操法指導員講習	5					2	3		
		女性消防操法指導員講習	2						2		
緊急自動車運転技能者講習		1						1			
本 部 ・ 署 教 育 訓 練		実 務	機関講習	1,916	627	41	355	293	271	404	552
	救助艇操縦講習		87	7	1	7	9	10	27	33	
	交通法規講習		289	21	8	42	38	46	70	85	
	火災防ぎょ訓練		2,449	411	43	302	405	372	576	751	
	救助訓練		2,854	640		220	495	447	721	971	
	訓練礼式		2,257	364	9	204	330	384	587	743	
	図上訓練		1,107	158	20	146	175	178	251	337	
	消防操法		2,002	331	39	273	332	347	472	539	
	救急隊員講習		1,595	392		151	250	299	392	503	

# 消 防 水 利 の 状 況

(令和6年4月1日現在)

地 域 別	水 利 合 計	消 火 栓		防 火 水 槽				プ ー ル	指 定 消 防 水 利
		公 設	私 設	有 蓋		無 蓋			河 川 池・沼 井戸等
				4 0 t 以 上	4 0 t 未 満	4 0 t 以 上	4 0 t 未 満		
大仙市	2,489	1,242	12	1,025	174			33	3
仙北市	1,056	658	7	339	37	2	1	12	
美郷町	987	704		231	47			5	
合 計	4,532	2,604	19	1,595	258	2	1	50	3

# 緊急消防援助隊

緊急消防援助隊は、平成7年（1995年）1月17日の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害時における人命救助活動をより効果的かつ迅速に実施し得るよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築するため、全国の消防本部の協力を得て、平成7年6月に創設されました。

この緊急消防援助隊は、平常時においては、それぞれの地域（市町村）における消防責任の遂行に全力を挙げる一方、いったん、国内のどこかにおいて大規模災害が発生した場合には、消防庁長官の求め・指示により全国から当該災害に対応するための消防部隊が被災地に集中的に出動し、人命救助等の消防活動を実施するというシステムです。

## 緊急消防援助隊の登録状況（令和5年4月1日現在）

部隊種別	県指揮隊	消火部隊	救助部隊	救急部隊	後方支援部隊	合計
登録隊数	1隊	5隊	1隊	2隊	3隊	12隊

## 緊急消防援助隊の派遣状況（令和5年4月1日現在）

### ●平成20年岩手・宮城内陸地震

派遣期間	平成20年6月14日～17日（4日間）					
出動先	岩手県奥州市、宮城県栗原市					
活動概要	岩手県奥州市に出動するが、活動拠点（奥州市水沢公園）にて宮城県栗原市への転戦指示を受け駒ノ湯温泉における行方不明者の検索救助活動および栗駒スポーツセンターでの救急搬送支援活動にあたる。					
派遣規模	県指揮隊	消火隊	救助隊	救急隊	後方支援隊	合計
	1隊4名	1隊5名	1隊5名	1隊3名	1隊4名	5隊21名 (のべ20隊84名)

### ●岩手県沿岸北部を震源とする地震

派遣期間	平成20年7月24日（1日間）					
出動先	岩手県久慈市					
活動概要	進出拠点（盛岡市アイスアリーナ）にて待機する。					
派遣規模	県指揮隊	消火隊	救助隊	救急隊	後方支援隊	合計
	1隊3名	1隊5名	1隊5名	-	1隊2名	4隊15名 (のべ4隊15名)



●東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）

派遣期間	平成23年3月11日～4月28日（うち30日間）					
出動先	岩手県宮古市（3月11日～）、宮城県南三陸町（4月13日～）					
活動概要	岩手県宮古市	指揮隊・救助隊・消火隊は行方不明者の検索救助活動及び消火活動にあたる。救急隊は救急対応にあたる。				
	宮城県南三陸町	救急隊による救急活動にあたる。				
派遣規模 (1次隊～8次隊まで)	県指揮隊	消火隊	救助隊	救急隊	後方支援隊	合計
	1隊9名	2隊20名	1隊15名	1隊21名	3隊20名 (隊員搬送隊含む)	8隊85名※ (のべ104隊325名)

※その他引揚支援等に20名派遣

●北海道胆振東部地震

派遣期間	平成30年9月6日～9月11日（6日間）					
出動先	北海道厚真町（9月6日～）					
活動概要	北海道厚真町	救助隊による行方不明者の検索救助活動にあたる。				
派遣規模 (1次隊及び2次隊)	県指揮隊	消火隊	救助隊	救急隊	後方支援隊	合計
	—	—	1隊10名※	—	—	1隊10名

※統合機動部隊救助隊として9月6日～9月10日まで1次隊が派遣となり、9月9日～9月11日まで2次隊が派遣となる。

●令和元年東日本台風（台風19号）

派遣期間	令和元年10月13日～10月18日（6日間）					
出動先	宮城県伊具郡丸森町（10月13日～）					
活動概要	丸森町	指揮隊・消火隊は行方不明者の検索救助活動にあたる。救急隊は救急対応にあたる。				
派遣規模 (1次隊及び2次隊)	県指揮隊	消火隊	救助隊	救急隊	後方支援隊	合計
	1隊8名	1隊10名	—	1隊6名	1隊6名	4隊30名

※9月6日～9月10日まで1次隊が派遣となり、9月9日～9月11日まで2次隊が派遣となる。

## 緊急消防援助隊合同訓練への参加状況

緊急消防援助隊が発足した平成7年以降、5年ごとに全国合同訓練が実施されており、また、全国6ブロックごとに毎年地域ブロック合同訓練が実施されている。

訓練への参加状況は以下のとおりである。

訓練区分	開催年月日	開催地		参加部隊、参加状況等
第1回全国合同	H 7.11.28-29	東京都	江東区豊洲	視察
平成8年度北海道・東北ブロック	H 8.12.19-20	宮城県	仙台市	救助小隊
平成9年度北海道・東北ブロック	H 9. 7.28-29	北海道	札幌市	救助小隊
平成10年度北海道・東北ブロック	H10. 7.28-29	青森県	青森市	救助小隊
平成11年度北海道・東北ブロック	H11.11. 4- 5	岩手県	矢巾町 (消防学校)	救助小隊
平成12年度北海道・東北ブロック	H12. 8. 1- 2	秋田県	秋田市	県内応援隊として救助小隊参加
第2回全国合同	H12.10.23-24	東京都	江東区有明	救助小隊
平成13年度北海道・東北ブロック	H13.11. 6- 7	山形県	山形市	救助小隊
平成14年度北海道・東北ブロック	H14.10.30-31	福島県	福島市	救助小隊
平成15年度北海道・東北ブロック	H15.11. 6- 7	新潟県	新潟市	救助小隊
平成16年度北海道・東北ブロック	H16.10.28-29	宮城県	仙台市	新潟中越地震のため訓練中止
平成17年度北海道・東北ブロック	H17. 9. 6- 7	北海道	函館市	台風14号の影響により 参集訓練のみ実施
第3回全国合同	H17. 6.10-11	静岡県	静岡市	不参加
平成18年度北海道・東北ブロック	H18.10.19-20	青森県	八戸市	救助小隊
平成19年度北海道・東北ブロック	H19.10.18-19	岩手県	一関市	救助小隊、後方支援小隊
平成20年度北海道・東北ブロック	H20.10.15-16	秋田県	大仙市	地元開催
平成21年度北海道・東北ブロック	H21.10.13-14	山形県	鶴岡市	救助小隊、後方支援小隊
第4回全国合同	H22. 6. 4- 5	愛知県	知多市	不参加
平成22年度北海道・東北ブロック	H22.11. 8- 9	福島県	郡山市	秋田県防災訓練大仙市開催のため不参加
平成23年度北海道・東北ブロック	—	—	—	東日本大震災のため中止
平成24年度北海道・東北ブロック	H24.10. 7- 8	宮城県	利府市ほか	視察(図上訓練のみ)
平成25年度北海道・東北ブロック	H25.10.11-12	北海道	苫小牧市	都道府県指揮隊、後方支援小隊
平成26年度北海道・東北ブロック	H26.10.22-23	青森県	弘前市	都道府県指揮隊、後方支援小隊
平成27年度北海道・東北ブロック	H27.10.28-29	岩手県	北上市	救助小隊、後方支援小隊
第5回全国合同	H27.11.13-14	千葉県	千葉市	不参加
平成28年度北海道・東北ブロック	H28.10.12-13	秋田県	能代市	指揮隊、救助小隊、後方支援小隊
平成29年度北海道・東北ブロック	H29.10. 6- 7	山形県	米沢市	指揮隊、救助小隊、後方支援小隊
平成30年度北海道・東北ブロック	H30.11.17-18	福島県	いわき市	救助小隊、後方支援小隊
平成31年度北海道・東北ブロック	—	—	—	令和元年東日本台風のため中止
令和2年度北海道・東北ブロック	R 2.10. 3	宮城県	大崎市ほか	視察(図上訓練のみ)
令和3年度北海道・東北ブロック	R 3.10.27	北海道	釧路市	情報伝達訓練
第6回全国合同	R 3.11.27-28	—	—	コロナウイルス感染症拡大のため延期
令和4年度北海道・東北ブロック	R 4.10. 7- 8	青森県	青森市	救助小隊、後方支援小隊
第6回全国合同	R 5.11.12-13	静岡県	牧之原市	消火小隊、後方支援小隊
令和5年度北海道・東北ブロック	R 5.11.18-19	岩手県	宮古市	指揮隊、救急小隊、後方支援小隊

# 消防相互応援協定等の締結状況

消防組織法第39条に基づくもの

(令和5年4月1日現在)

協定の名称	締結年月日	対象災害	協定等締結市町村
横手平鹿・大曲仙北広域消防相互応援協定	S48.4.1	全ての災害	横手市
仙岩トンネル及び十和田八幡平国立公園八幡平地域における消防相互応援協定	S51.10.28 (H24.4.24全部改正)	トンネル災害 及び全ての災害	盛岡地区 消防組合
仙岩トンネル及び十和田八幡平国立公園八幡平地域における消防相互応援協定に基づく覚書	S51.10.28 (H24.4.24全部改正)	トンネル災害 及び全ての災害	盛岡地区広域消 防組合消防本部
秋田自動車道消防相互応援協定	H3.7.15	高速道路災害	秋田市 横手市
秋田県広域消防相互応援協定	H6.12.1 (H29.3.27再締結)	全ての災害	秋田県内 12市町・組合
秋田県広域消防相互応援協定に基づく覚書	H6.12.1 (H29.3.27再締結)	全ての災害	秋田県内12市町・ 組合消防本部
秋田県消防防災ヘリコプター応援協定	H11.4.1	全ての災害	秋田県内 12市町・組合
日本海東北自動車道消防相互応援協定	H13.6.22	高速道路災害	秋田市
榎森トンネル消防相互応援協定	H15.8.20	トンネル災害等	北秋田市
榎森トンネル消防相互応援協定に基づく覚書	H15.8.20	トンネル災害等	北秋田市
十和田八幡平国立公園八幡平地域における消防相互応援協定	H26.3.27	秋田県広域消防 相互応援協定に 定める大規模災 害以外の災害	鹿角広域 行政組合
十和田八幡平国立公園八幡平地域における消防相互応援協定に基づく覚書	H26.3.27	秋田県広域消防 相互応援協定に 定める大規模災 害以外の災害	鹿角広域行政 組合消防本部
八幡平山頂レストハウス付近で発生した災害に対する対応体制について(3消防本部申し合わせ)	H26.4.16	八幡平山頂付近 で発生した災害	盛岡地区広域消 防組合消防本部 鹿角広域行政 組合消防本部

## その他

協定の名称	締結年月日	対象災害	協定等締結機関
鉄道災害発生時における消防活動に関する協定	H20.9.17	鉄道災害	JR秋田支社 JR盛岡支社
鉄道災害発生時における消防活動に関する協定	H20.12.25	鉄道災害	北秋田市 秋田内陸縦貫 鉄道株式会社
災害時における消防用水の確保に関する協定	H30.11.28	火災・風水害等	秋田県南地区 生コンクリート協同組合

# 事故種別救助出動件数・救助人員数

(令和5年1月1日～12月31日)

発生場所	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	爆発事故	その他 の事故	合計
	建物	建物以外									
大曲			13 (12)	2 (3)		1				7 (5)	23 (20)
神岡			1								1 (0)
西仙北			2							1 (1)	3 (1)
中仙			6 (2)							1	7 (2)
協和			5 (1)							2 (1)	7 (2)
南外			2 (1)								2 (1)
仙北			6 (4)							1 (1)	7 (5)
太田			3 (2)	1 (1)						1 (1)	5 (4)
角館			1							2 (2)	3 (2)
田沢湖			5 (3)	4						7 (6)	16 (9)
西木										2	2
千畑			2								2
六郷			3								3
仙南			4 (2)	1							5 (2)
圏外			2 (2)								2 (2)
合計			55 (29)	8 (4)		1				24 (17)	88 (50)
令和4年	2 (1)		56 (27)	4 (2)		5 (2)	1	1		31 (14)	100 (46)
前年比	-2 (-1)		-1 (-2)	+4 (+2)		-4 (-2)	-1	-1		-7 (-3)	-12 (-4)

注：( ) 内は救助人員数

令和5年中における救助事案は、出動件数が88件（約4.1日に1件の割合）、救助人員が50名で、前年と比較すると出動件数が12件減少し、救助人員は4名の増加となっている。

交通事故は例年出動件数が多く、令和5年は55件発生しており救助件数全体の63%を占め、救助人員が29名となっている。前年と比較すると出動件数は1件の減少であるが、救助人員は2名の増加となっている。

発生場所別に救助件数を見てみると、大仙市大曲地域で13件と最も多く、次いで大仙市仙北、中仙地域で各6件、大仙市協和、仙北市田沢湖地域で各5件となっている。大仙市大曲地域をはじめ、各地域ではいずれも交通事故が多数を占めているが、仙北市田沢湖地域では出動件数16件のうち、その他の事故が7件で、特に山岳救助件数とそのほとんどを占めている。

# 全国消防救助技術大会 出場者一覧

年	回	開催地	種 目	隊 員 氏 名				
昭和52年	第6回	千葉市	ロープ登はん	鈴木幸一	—	—	—	—
昭和63年	第17回	横浜市	ロープブリッジ救	杉澤 衛	小笠原伸一	斉藤幸勇	湯川雅浩	—
平成元年	第18回	名古屋市	ロープ応用登はん	高橋幹夫	池田 透	—	—	—
			はしご登はん	進藤政喜	—	—	—	—
平成2年	第19回	広島市	ロープブリッジ救	杉澤 衛	小笠原伸一	斉藤幸勇	三浦 肇	—
平成3年	第20回	大阪市	ロープ応用登はん	後藤康文	池田 透	—	—	—
平成4年	第21回	千葉市	はしご登はん	嶋津寛興	—	—	—	—
			ロープ応用登はん	伊藤 清	高橋 倫	—	—	—
平成6年	第23回	京都市	ほふく救出	八木克司	進藤政喜	齋藤雅樹	—	—
平成10年	第27回	大阪市	ロープブリッジ救	佐藤玲緒奈	齋藤広幸	齋藤典之	湯川雅浩	—
平成11年	第28回	横浜市	ほふく救出	戸島浩樹	稲葉和也	佐々木伸吾	—	—
平成13年	第30回	東京都	ほふく救出	戸島浩樹	小山田芳成	高橋秀明	—	—
平成15年	第32回	仙台市	ロープブリッジ救	三浦祐樹	田口博康	齋藤典之	後藤正浩	—
平成16年	第33回	兵庫県三木市	ロープブリッジ救	三浦祐樹	田口博康	齋藤典之	後藤正浩	—
			ロープブリッジ救	佐藤玲緒奈	富樫 寛	伊藤 岳	加藤俊美	—
			ロープ応用登はん	鈴木一伊	伊藤貴之	—	—	—
平成18年	第35回	札幌市	はしご登はん	三浦寛幸	—	—	—	—
			ロープ応用登はん	鈴木一伊	伊藤貴之	—	—	—
			ほふく救出	高橋 篤	小山田芳成	高橋秀明	—	—
平成19年	第36回	東京都	はしご登はん	中嶋美彰	—	—	—	—
平成20年	第37回	北九州市	ロープ応用登はん	坂本 哲	木元智昭	—	—	—
平成22年	第39回	京都市	ロープ応用登はん	熊谷健太郎	木元智昭	—	—	—
			基本泳法	佐藤玲緒奈	—	—	—	—

年	回	開催地	種 目	隊 員 氏 名				
平成24年	第41回	東京都	はしご登はん	伊藤和馬	—	—	—	—
			溺者救助	佐藤玲緒奈	木元智昭	武田洋	—	—
平成25年	第42回	広島市	ロープ応用登はん	右谷慎悟	熊谷健太郎	—	—	—
			はしご登はん	倉橋大地	—	—	—	—
平成26年	第43回	千葉市	引揚救助	菊地剛仁	三浦祐樹	坂本哲	伊藤貴之	佐々木 絢
平成27年	第44回	神戸市	はしご登はん	高橋大貴	—	—	—	—
			ロープブリッジ救出	高橋俊幸	右谷慎悟	中谷壮志	高橋明士	—
				佐藤巧也	伊藤弘己	岡本一毅	富樫亮太	—
平成28年	第45回	松山市	はしご登はん	滝沢清栄	—	—	—	—
			ほふく救出	小松田知至	高橋明士	進藤佳祐	—	—
			ロープ応用登はん	愛甲祥之	伊藤和馬	—	—	—
平成29年	第46回	利府町	はしご登はん	高橋 広	—	—	—	—
平成30年	第47回	京都市	ロープ応用登はん	大石知滉	倉橋重吾	—	—	—
平成31年 ・ 令和元年	第48回	岡山市	はしご登はん	佐々木竜之助	—	—	—	—
			ロープ応用登はん	武藤修平	倉橋重吾	—	—	—
			ロープブリッジ救出	浅利貴司	高橋明士	小松田知至	高橋公也	—
			ほふく救出	鶴谷岳志	豊嶋圭人	進藤佳祐	—	—
令和4年	第50回	東京都	はしご登はん	齊藤佳祐	—	—	—	—
			ほふく救出	武藤 壮	齋藤健太	小山田海都	—	—
令和5年	第51回	札幌市	はしご登はん	太田和寿	—	—	—	—
			ほふく救出	安藤啓斗	高木柊輔	高貝柊斗	—	—

※平成23年は東日本大震災のため、全国消防救助技術大会をはじめ、東北地区支部指導会、秋田県大会も中止となった。

※平成26年は8月20日に広島市で発生した土石流災害により甚大な被害が生じ、中国ブロックを中心とする緊急消防援助隊が派遣され、全国消防救助技術大会は中止となった。

※平成30年は非常に強い勢力の台風20号が日本列島に接近したことに伴い、全国消防救助技術大会は中止となった。

※令和2年は新型コロナウイルス感染症対策のため、全国消防救助技術大会をはじめ、東北地区支部指導会、秋田県大会も中止となった。

※令和3年は新型コロナウイルス感染症対策のため、全国消防救助技術大会及び東北地区支部指導会が中止となった。

# 予 防 関 係



園児たちと住宅用火災警報器設置促進及び住宅防火PR





# 市町別中高層建築物

(令和6年4月1日現在)

市町別 階数別	大 仙 市	仙 北 市	美 郷 町	計
3 階	228	63	24	315
4 階	54	12	4	70
5 階	26	7		33
6 階	2	2		4
7 階	2	1		3
8 階	2			2
9 階				
10 階	1			1
11 階	1			1
12 階	1			1
計	317	85	28	430

# 防火対象物一覧並びに立入検査状況

(令和6年4月1日現在)

用途	区分		大仙市		仙北市		美郷町		合計	
	対象物数	立入検査延べ回数	対象物数	立入検査延べ回数	対象物数	立入検査延べ回数	対象物数	立入検査延べ回数	対象物数	立入検査延べ回数
1 項	イ	劇場、映画館等	13	7	4	3	6	2	23	12
	ロ	集会場等	91	36	22	4	19	1	132	41
2 項	イ	キャバレー等								
	ロ	遊技場等	12	3			1	1	13	4
3 項	ハ	その他風俗店等	1							
	ニ	カラオケボックスその他								
4 項	イ	料理店等	5		8		1	1	14	1
	ロ	飲食店等	121	45	35	19	8	5	164	69
5 項	イ	百貨店等、マーケット、店舗等	205	81	52	16	20	15	277	112
	ロ	旅館、ホテル等	46	30	129	118	4	1	179	149
6 項	イ	寄宿舎、共同住宅等	719	9	134	3	38		891	12
	ロ	特定病院	3	2					3	2
7 項	イ	特定診療所			2				2	
	ロ	非特定医療機関(有床)	7	6	2	1			9	7
8 項	イ	非特定医療機関(無床)	59	45	16	4	7	2	82	51
	ロ	高齢者施設関係	85	72	32	23	33	23	150	118
9 項	イ	救護施設								
	ロ	乳児院								
10 項	イ	障害者入所施設	3	1					2	2
	ロ	障害者支援施設	27	15	7	2	1		35	17
11 項	イ	老人デイサービスセンター等								
	ロ	更生施設								
12 項	イ	保育所・幼保連携型認定こども園	30	23	10	10	3		43	33
	ロ	児童発達支援センター等	5	3	1		1	1	7	4
13 項	イ	障害者支援施設等	20	9	9	4	10	2	39	15
	ロ	幼稚園又は特別支援学校	2		1				3	
14 項	イ	各種学校等	106	24	29	21	18	9	153	54
	ロ	図書館、美術館等	15	10	12	1	1	1	28	12
15 項	イ	蒸気、熱気浴場等								
	ロ	イ以外の公衆浴場	3	1	6	4	2	2	11	7
16 項	イ	車両の停車場等	2	1	4	2	1		7	3
	ロ	神社、寺院等	89	24	34	8	42	4	165	36
17 項	イ	工場、作業場	543	86	177	29	133	17	853	132
	ロ	映画スタジオ等								
18 項	イ	自動車庫、駐車場	88	12	36	7	28	2	152	21
	ロ	飛行機格納庫								
19 項	イ	倉庫	521	47	88	16	112	5	721	68
	ロ	前各号に該当しない事業所	759	79	176	55	105	7	1,040	141
20 項	イ	特定複合用途防火対象物	344	66	158	59	82	4	584	129
	ロ	上記以外の複合用途対象物	184	16	46	13	55	2	285	31
21 項	イ	地下街								
	ロ	雑地下街								
22 項	イ	重要文化財、重要民俗資料等	8	4	15	1	3		26	5
	ロ	延長50メートル以上のアーケード								
合計			4,116	757	1,245	423	736	108	6,097	1,288

# 防火対象物階数別一覽表

(令和6年4月1日現在)

用途	区分	広域										計	昨年 同期					
		1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階			11階	12階	13階	14階	地階 のみ
1 項	劇場、映画館等	7	13	2	1												23	23
	集会場等	86	41	4	1												132	134
2 項	キャハレー等	4	9														13	13
	遊技場等																	
3 項	カラオケボックスその他		1														1	1
	料理店等	1	12	1													14	14
4 項	飲食店等	71	83	10													164	166
	百貨店等、マーケット、店舗等	204	67	6													277	282
5 項	旅館、ホテル等	41	99	21	6	6	3	1	1								179	180
	寄宿舎、共同住宅等	22	737	83	27	21		1									891	800
6 項	(1) 特定病院	1	1														3	3
	(2) 特定診療所		1	1													2	2
	(3) 非特定医療機関(有床)	2	4	1	2												9	10
	(4) 非特定医療機関(無床)	28	47	7													82	84
7 項	(1) 高齢者施設関係	110	29	7	4												150	155
	(2) 救護施設																	
8 項	(3) 乳児院																	
	(4) 障害者入所施設																	
9 項	(5) 障害者支援施設	5															5	6
	(1) 老人デイサービスセンター等	26	9														35	36
10 項	(2) 更生施設																	
	(3) 保育所・幼保連携型認定こども園	39	4														43	43
11 項	(4) 児童発達支援センター等	4	3														7	6
	(5) 障害者支援施設等	15	24														39	39
12 項	幼稚園又は特別支援学校	1	2														3	3
	各種学校等	58	65	25	5												153	155
13 項	図書館、美術館等	16	11	1													28	28
	蒸気、熱気浴場等																	
14 項	イ以外の公衆浴場	10	1														11	11
	車両の停車場等	4	3														7	7
15 項	神社、寺院等	60	104	1													165	163
	工場、作業場	477	364	11	1												853	861
16 項	映画スタジオ等																	
	自動車車庫、駐車場	113	35	1	3												152	152
17 項	飛行機格納庫																	
	倉庫	477	238	6													721	724
18 項	前各に該当しない事業所	533	435	62	6	3	1										1040	1043
	特定複合用途防火対象物	59	461	48	14	2											584	577
19 項	上記以外の複合用途対象物	28	236	17		1		1	1								285	279
	地下街																	
20 項	準地下街																	
	重要文化財、重要民俗資料等	14	12														26	26
21 項	延長50メートル以上のアーケード																	
	合 計	2,516	3,151	315	70	33	4	3	2	1	1	1	1				6,097	6,026

# 用途別建築同意件数

(令和5年度)

用途			区分	総数	新築	増築	改築	その他
1項	イ	劇場、映画館等						
	ロ	集会場等		1	1			
2項	イ	キャバレー等						
	ロ	遊技場等						
	ハ	その他風俗店等						
	ニ	カラオケボックスその他						
3項	イ	料理店等						
	ロ	飲食店等						
4項		百貨店等、マーケット、店舗等		8	6	1	1	
5項	イ	旅館、ホテル等		4	3	1		
	ロ	寄宿舍、共同住宅等		9	8			1
6項	イ	(1) 特定病院						
		(2) 特定診療所						
		(3) 非特定医療機関（有床）						
		(4) 非特定医療機関（無床）						
	ロ	(1) 高齢者施設関係		1	1			
		(2) 救護施設						
		(3) 乳児院						
		(4) 障害者入所施設						
		(5) 障害者支援施設						
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等						
		(2) 更生施設						
		(3) 保育所・幼保連携型認定こども園						
		(4) 児童発達支援センター等						
		(5) 障害者支援施設等		1	1			
ニ	幼稚園又は特別支援学校							
7項		各種学校等						
8項		図書館、美術館等						
9項	イ	蒸気、熱気浴場等						
	ロ	イ以外の公衆浴場		1		1		
10項		車両の停車場等						
11項		神社、寺院等		1	1			
12項	イ	工場、作業場		8	8			
	ロ	映画スタジオ等						
13項	イ	自動車車庫、駐車場		10	9	1		
	ロ	飛行機格納庫						
14項		倉庫		15	11	3		1
15項		前各号に該当しない事業所		18	14	4		
16項	イ	特定複合用途防火対象物						
	ロ	上記以外の複合用途対象物		3	2	1		
その他				37	36	1		
総数				117	101	13	1	2

# 火災予防条例に基づく各種届出

(令和5年度)

区 分 \ 署・分署別	大曲消防署	東分署	南分署	西分署	協和分署	西仙北分署	角館消防署	田沢湖分署	中仙分署	西木分署	合計
裸火使用	5						9				14
防火対象物使用開始	48	9	15	16	8	9	19	17	18	2	161
火を使用する設備等			5		2		2	3		2	14
発電設備	2		3	1	1			3			10
変電設備	8	1	1	5	1		1	3			20
蓄電池設備	1	1		2	1			4			9
ネオン管灯設備											
水素ガス気球設備											
火災とまぎらわしい行為	28	26	17	13	6	5	13	17	17	5	147
山野火入											
煙火打上げ仕掛け	317	12	1	1	8	12	45	8	1		405
催物開催	1		6								7
水道断減水		4									4
指定洞道等											
道路工事	117	25	21	1	10	10	49	12	18	2	265
少量危険物貯蔵取扱	10	4	9	7	3	4	3	5	3	1	49
指定可燃物貯蔵取扱	1				2			1	1		5
露店等開設	84	11	13	19	8	2	8		5	1	151
合計	622	93	91	65	50	42	149	73	63	13	1,261

# 市町別危険物施設一覽

(完成検査済証交付施設)

(令和6年4月1日現在)

施設別		市町別			
		大 仙 市	仙 北 市	美 郷 町	合 計
製 造 所					
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	39	9	5	53
	屋外タンク貯蔵所	29	14	4	47
	屋内タンク貯蔵所	2	4		6
	地下タンク貯蔵所	151	73	26	250
	簡易タンク貯蔵所	1			1
	移動タンク貯蔵所	183	45	29	257
	屋 外 貯 蔵 所	2	6		8
取 扱 所	給 油 取 扱 所	71 (24)	33 (13)	15 (1)	119 (38)
	第1種販売取扱所				
	第2種販売取扱所	1			1
	移 送 取 扱 所				
	一 般 取 扱 所	69	31	17	117
合 計		548	215	96	859

( ) は自家用給油取扱所

# 数量別危険物施設

(完成検査済証交付施設)

(令和6年4月1日現在)

施設別 数量別	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所					合 計
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 1 種 販 売 取 扱 所	第 2 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
5倍以下		23	15	5	134	1	250	5	8				52	493
5倍超え		17	20	1	70			3	14				44	169
10倍超え		11	11		40		2		23		1		19	107
50倍超え		2			5		5		23				2	37
100倍超え			1						16					17
150倍超え									13					13
200倍超え					1				22					23
1,000倍超え														0
5,000倍超え														0
10,000倍超え														0
合 計		53	47	6	250	1	257	8	119		1		117	859

## 容量別屋外タンク貯蔵所

(令和6年4月1日現在)

容量別	種 類	合 計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類
合 計		47				47		
100 kℓ 未 満		46				46		
100 kℓ 以上 500 kℓ 未満		1				1		
500 kℓ 以上1,000 kℓ 未満								

## 類 別 危 険 物 施 設

(令和6年4月1日現在)

施設別 種 類	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計	
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 1 種 販 売 取 扱 所	第 2 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所		一 般 取 扱 所
第 1 類														0
第 2 類														0
第 3 類														0
第 4 類		48	47	6	250	1	257	8	119		1		117	854
第 5 類														0
第 6 類														0
混 在		5												5
合 計		53	47	6	250	1	257	8	119		1		117	859



# 危険物許認可等調べ

(令和5年度)

施設別 処理状況	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所					合 計
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 1 種 販 売 取 扱 所	第 2 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
設 置 許 可		1	1				11	1	1				1	16
変 更 許 可					2		3		12					17
水 張 検 査														0
水 圧 検 査					1				13					14
設 置 完 成 検 査		1	1				12	1	1					16
変 更 完 成 検 査					2		3		12					17
廃 止 届		1			6		12		4				1	24
仮 使 用 承 認									5					5
仮 貯 蔵 承 認													0	
仮 取 扱 承 認													1	

# 火災予防組合結成調べ

(令和6年4月1日現在)

区分 市町名	少 年 消 防 ク ラ ブ	婦 人 防 火 ク ラ ブ	火 災 予 防 組 合	自 主 防 災 組 織	計
大 仙 市				394	394
仙 北 市				37	37
美 郷 町				103	103
合 計				534	534

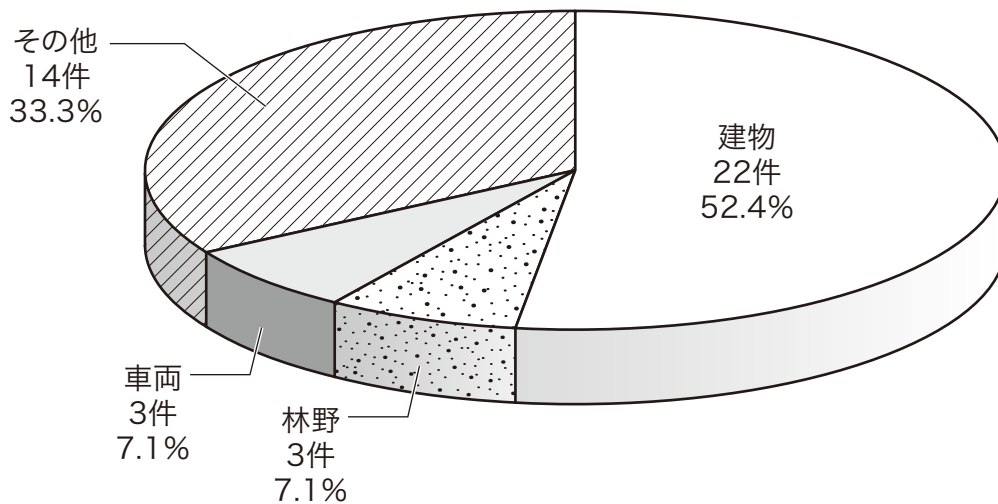
# 火災統計

## 1. 令和5年の火災概要

令和5年の火災件数は42件で、前年の54件と比べて12件減少し、広域発足（昭和47年）以来最少となった。種別ごとの件数を前年と比較すると、建物火災は11件減少、林野火災は3件増加、車両火災は1件減少、その他火災は3件減少した。

種別ごとに占める割合は、建物火災が全体の52.4%、その他火災が33.3%、林野火災、車両火災が7.1%となっている。

### 火災種別の内訳



## 2. 損害及びり災状況

火災による損害額は1億154万4千円で、前年（2億369万7千円）より1億215万3千円減少した。

1日当たりに換算すると約27万8千円、火災1件当たりでは約241万8千円の損害を被ったことになる。

建物の焼損棟数は36棟で、前年の68棟に比べ32棟減少している。建物火災1件当たりになると約1.6棟が焼損したことになる。

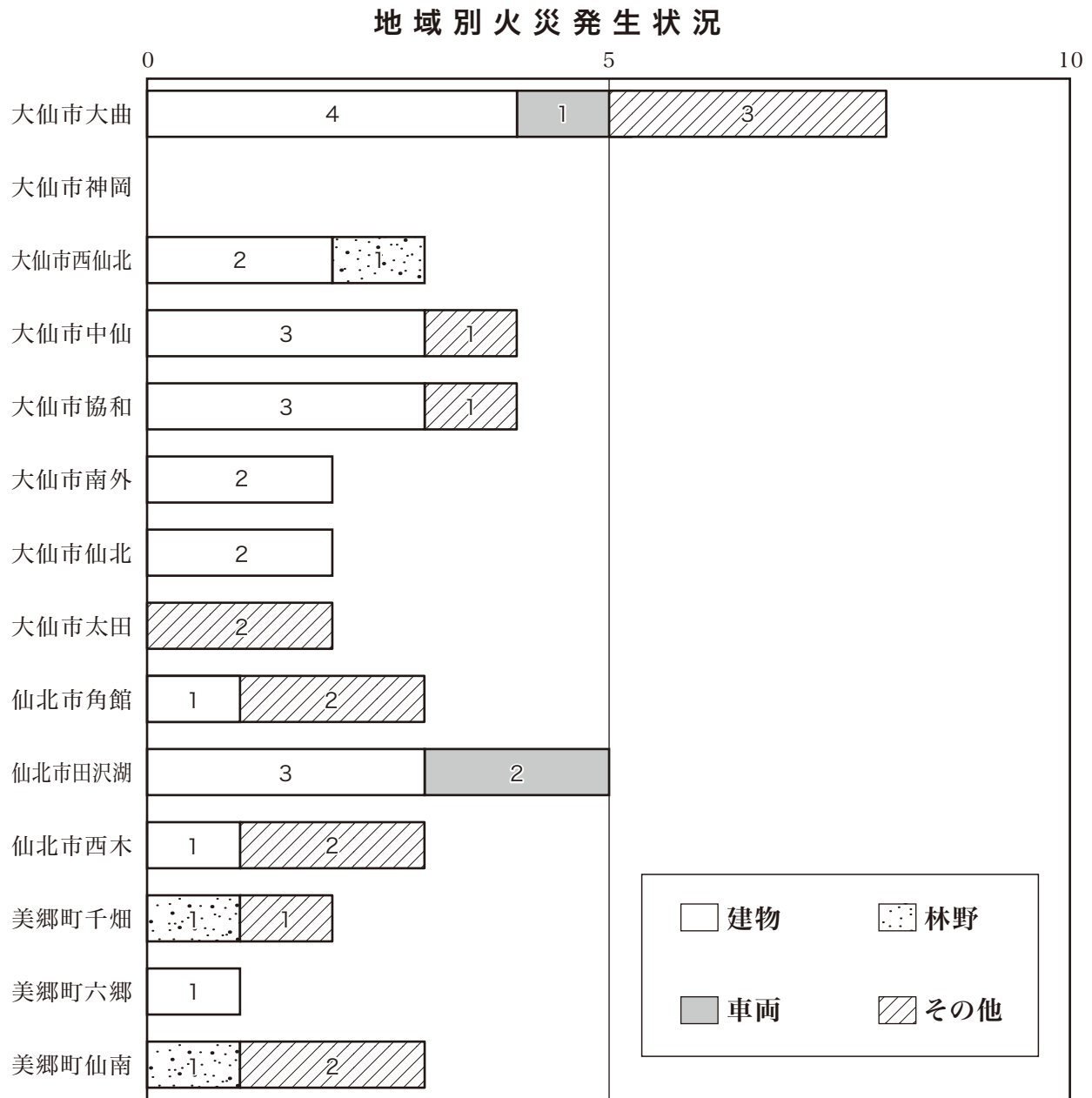
焼損面積（床面積）の合計が1,652㎡で、これは前年の7,210㎡に比べ5,558㎡減少している。

り災世帯数は前年より19世帯減の18世帯、り災人員は60人となっている。

### 3. 地域別火災発生状況

地域別で最も火災が多かったのは、大仙市大曲の8件、その次に仙北市田沢湖の5件と続いている。

また、大仙市神岡では無火災となっている。



※ 火災種別の分類  
 建物火災：建物又はその収容物が焼損した火災  
 林野火災：森林、原野又は牧野が焼損した火災  
 車両火災：自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災  
 その他火災：上記以外（空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、電柱類など）の火災

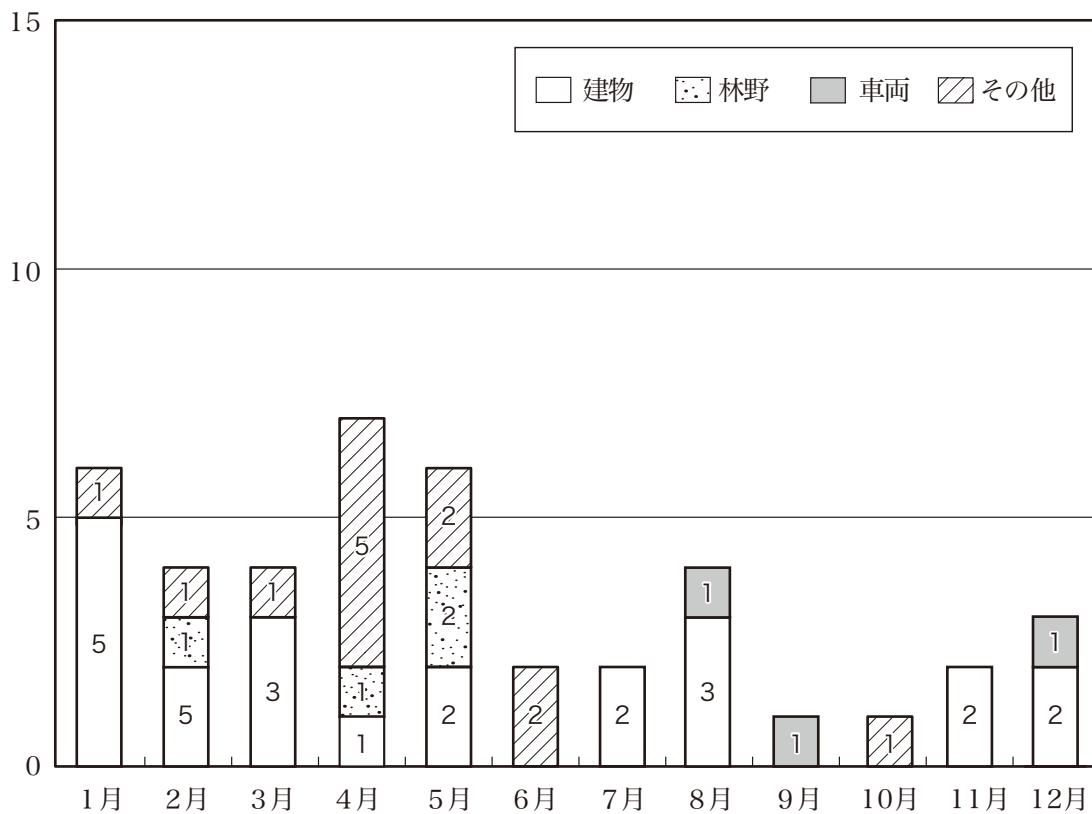
#### 4. 月別・曜日別・時間別火災発生状況

月別では、4月が7件と最も多く、続いて1、5月が6件、2、3、8月が4件となっている。4月はその他火災の件数が多く、1月は建物火災の件数が多くなっている。

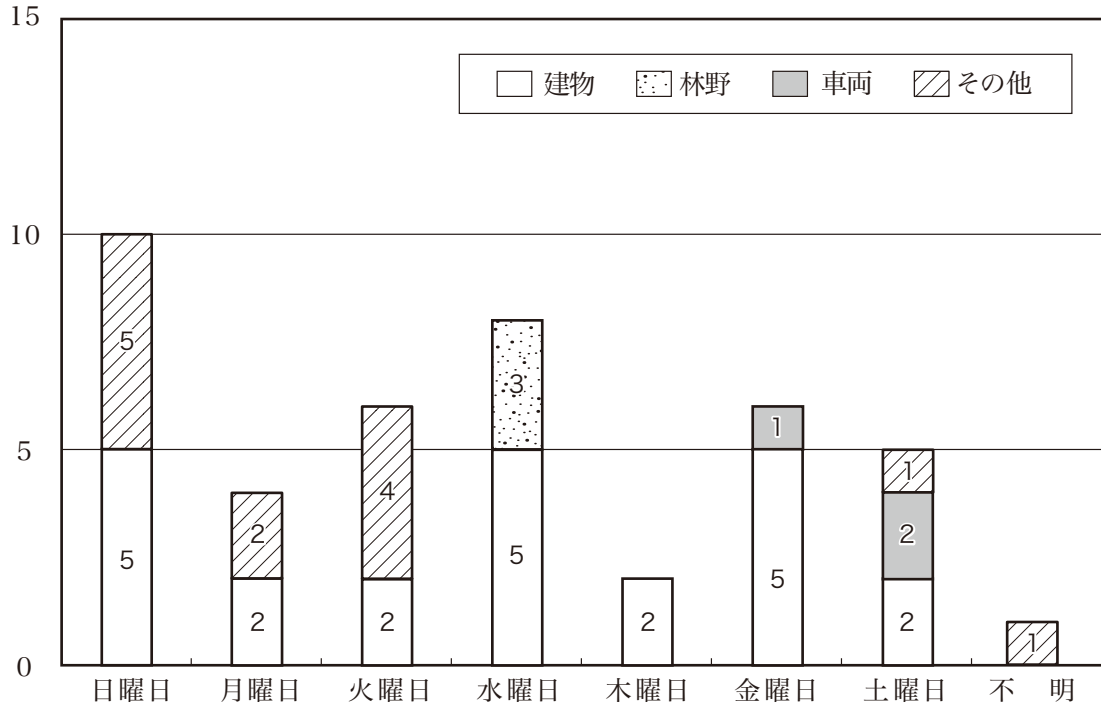
曜日別では、日曜日が10件と最も多く、最も少ないのは木曜日で2件となっている。

時間別に見ると、日中（7時台～18時台）が33件、夜間（19時台～6時台）が9件となっている。7、13、16、17時台が4件と最も多く、次いで10、15、18時台の3件となっており、日中における火災の発生が多くなっている。

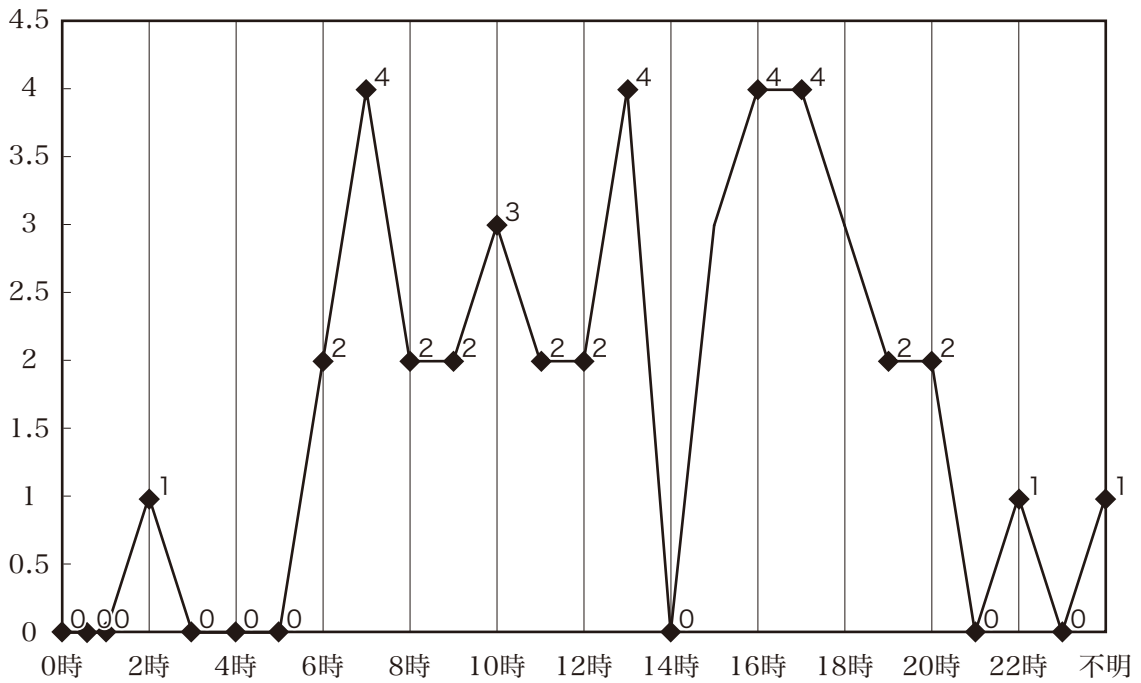
月別火災発生状況



### 曜日別火災発生状況



### 時間別火災発生状況



## 5. 死傷者の状況

火災による死者は前年より4名減り2名（男性1名、女性1名）となっている。火災による負傷者は前年の1名から5名増え6名となっている。

火災による死者の推移

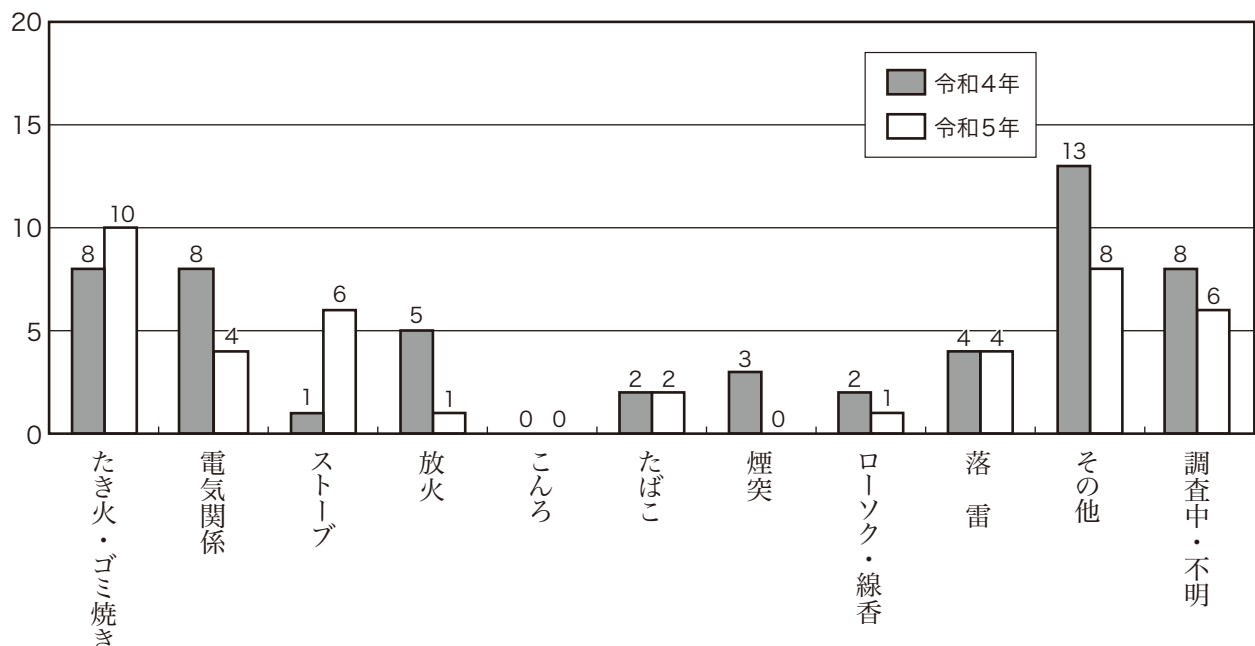
性別\年	平成31年・令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
男	1	1	4	5	1
女	1	0	5	1	1
計	2	1	9	6	2

## 6. 原因別火災発生状況

原因別の火災発生状況では「たき火・ゴミ焼き」が最多の10件となっている。続いて「ストーブ」が6件、「電気関係」、「落雷」が4件となっている。

また、「ストーブ」は前年に比べて5件増加し6件、「放火」は4件減少し1件となっている。

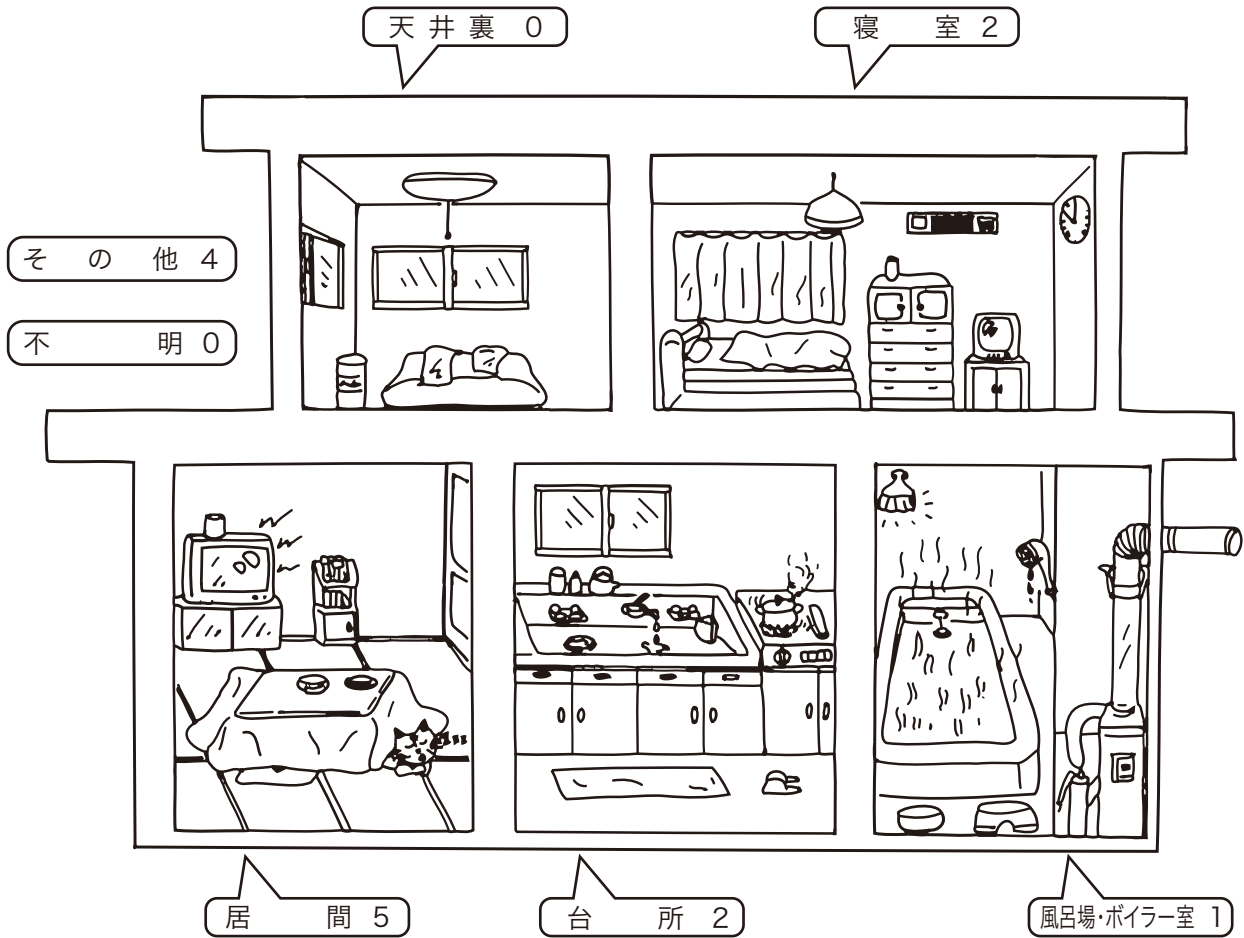
原因別火災発生状況



# 住宅火災の出火箇所と主な原因

(令和5年1月～令和5年12月)

14件中



## 住宅火災14件を分析

出火箇所	件数	原因別 (推定含む)
居室	5	落雷2件、電気関係、ストーブ、ローソク各1件
寝室	2	ストーブ、たばこ各1件
台所	2	電気関係、その他各1件
風呂場・ボイラー室等	1	その他1件
天井裏	0	
その他	4	その他2件、ストーブ、不明各1件
不明	0	

# 地 域 別 火 災

地 域 別	火 災 件 数	種 別						放水した ポンプ台数		出動人員		焼 損 棟 数								
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	署	団	住 家				非 住 家						
										全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や			
大 仙 市	大 曲	8	4		1			3	6		159	1				3				1
	神 岡																			
	西仙北	3	2	1					7		84	35	1		2	1			1	
	中 仙	4	3					1	7	1	67	42		1		1	1			
	協 和	4	3					1	2		28	11				2				1
	南 外	2	2						2	1	44	26				1	1			
	仙 北	2	2						5	6	53	65		1		1	3			2
	太 田	2						2	2		21	4								
小 計	25	16	1	1			7	31	8	456	184	1	2	2	9	5		1	4	
仙 北 市	角 館	3	1					2	8	2	74	42	1						1	
	田沢湖	5	3		2				18	13	105	110	1	1	1		1			
	西 木	3	1					2	2		43	28				1				
小 計	11	5		2			4	28	15	222	180	2	1	1		2		1		
美 郷 町	千 畑	2		1				1	2		32	40								
	六 郷	1	1						3		20	22			1		3		1	
	仙 南	3		1				2	3		42	20								
小 計	6	1	2				3	8		94	82			1		3		1		
合 計	42	22	3	3			14	67	23	772	446	3	3	4	9	10		3	4	



# 発 生 状 況

(令和5年1月～12月)

焼 損 面 積 等				り 災 世 帯	り 災 人 員	死 者	負 傷 者	損 害 見 積 額 (千円)							
床 面 積 ( $m^2$ )	表 面 積 ( $m^2$ )	林 野 等 (a)	車 両 等 (台)					建 物	内 容 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	合 計
			1	3	4			198	5		70			2	275
152	102	14		4	13		1	2,455	597	127				2	3,181
203				2	8		2	15,721	1,014					2	16,737
				2	4			1							1
17				1	3			1,162	897						2,059
728	69		2	2	13		1	9,802	8,111		214			171	18,298
							1								
1,100	171	14	3	14	45	1	4	29,339	10,624	127	284			177	40,551
47				1	3		1	1,168	219						1,387
417			2	2	10		1	56,008	2,868		104				58,980
25						1		151	52					14	217
489			2	3	13	1	2	57,327	3,139		104			14	60,584
		1													
63	39			1	2			296							296
		1								24				89	113
63	39	2		1	2			296		24				89	409
1,652	210	16	5	18	60	2	6	86,962	13,763	151	388			280	101,544

# 月 別 火 災

月 別	火 災 件 数	種 別						放水した ポンプ台数		出動人員		焼 損 棟 数							
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他					住 家				非 住 家			
								署 団	署 員	団 員	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	
1月	6	5					1	6	1	99	55	1		2	3	1			
2月	4	2		1			1	8	5	79	32		1	1					1
3月	4	3					1	7	6	75	72	1		1	1	3		1	
4月	7	1	1				5	11	1	150	56				1			1	
5月	6	2	2				2	8		94	73		1			1			
6月	2						2	3		24	26								
7月	2	2						2	2	25	28		1						1
8月	4	3					1	8	5	106	54				2	4			2
9月	1			1				1		12									
10月	1						1			7									
11月	2	2						6	1	44	20	1			1			1	
12月	3	2		1				7	2	57	30				1	1			
合計	42	22	3	3			14	67	23	772	446	3	3	4	9	10		3	4

令和 4年	54	33	0	4			17	118	66	1,109	885	18	1	12	6	9	1	17	4
前年比	-12	-11	3	-1			-3	-51	-43	-337	-439	-15	2	-8	3	1	-1	-14	

# 発 生 状 況

(令和5年1月～12月)

焼 損 面 積 等				り 災 世 帯	り 災 人 員	死 者	負 傷 者	損 害 見 積 額 (千円)							
床 面 積 ( $m^2$ )	表 面 積 ( $m^2$ )	林 野 等 (a)	車 両 等 (台)					建 物	内 容 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	合 計
169	70			6	17		1	3,605	1,492					91	5,188
73			1	1	6		2	1,226	212		70			2	1,510
305	39			3	9	1		54,847	2,516					5	57,368
	32	14		1	1			13	1	127				2	143
66		2		1	5		1	14,406	1,015	24					15,445
														9	9
51	2			1	3			698	75						773
839	67		2	2	12		1	10,757	8,070		214			171	19,212
			1								9				9
						1									
47				2	6		1	1,168	239						1,407
102			1	1	1			242	143		95				480
1,652	210	16	5	18	60	2	6	86,962	13,763	151	388			280	101,544
7,210	415		10	37	97	6	1	160,579	29,698		10,325			3,095	203,697
-5,558	-205	16	-5	-19	-37	-4	5	-73,617	-15,935	151	-9,937			-2,815	-102,153

## 最近5年間の

地域別	火災件数	種別						放水したポンプ台数		出動人員		焼損棟数							
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	署	団	住家				非住家					
										全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	ぼや		
令和5年	42	22	3	3			14	67	23	772	446	3	3	4	9	10		3	4
令和4年	54	33		4			17	118	66	1,109	885	18	1	12	6	9	1	17	4
令和3年	59	39	1	5			14	134	53	1,288	903	20	1	17	8	20	5	13	7
令和2年	43	22	1	7			13	75	29	839	602	6	2	4	2	10		7	4
平成31年 ・ 令和元年	63	39	2	7			15	158	87	1,376	1,254	23	2	13	4	35	5	10	

# 火災発生状況

焼損面積等				り 災 世 帯	り 災 人 員	死 者	負 傷 者	損 害 見 積 額 (千円)							
床 面 積 ( $m^2$ )	表 面 積 ( $m^2$ )	林 野 等 ( $a$ )	車 両 等 (台)					建 物	内 容 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	合 計
1,652	210	16	5	18	60	2	6	86,962	13,763	151	388			280	101,544
7,210	415		10	37	97	6	1	160,579	29,698		10,325			3,095	203,697
5,978	394	6	17	42	107	9	10	170,302	31,663	583	8,505			499	211,552
2,352	111	5	24	14	38	1	6	61,374	27,559	962	3,882			19,310	113,087
8,953	678	52	14	42	123	2	7	287,826	170,372	248	4,783			1,257	464,486



# 救急関係



多数傷病者対応訓練



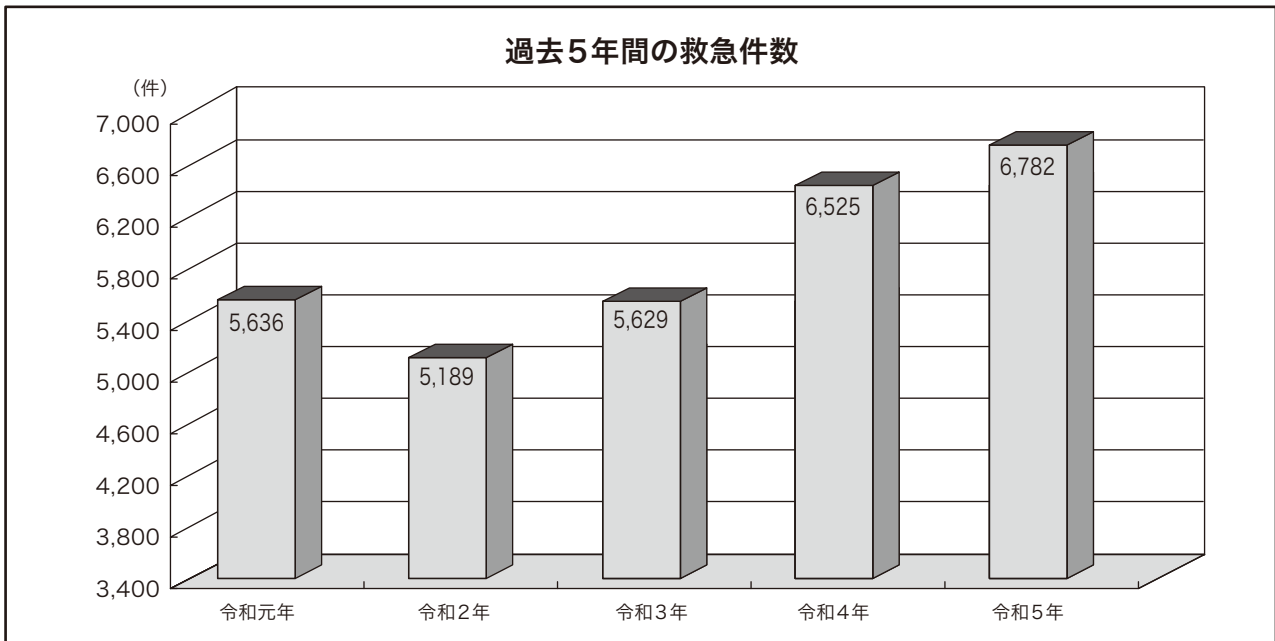


# 救 急 統 計

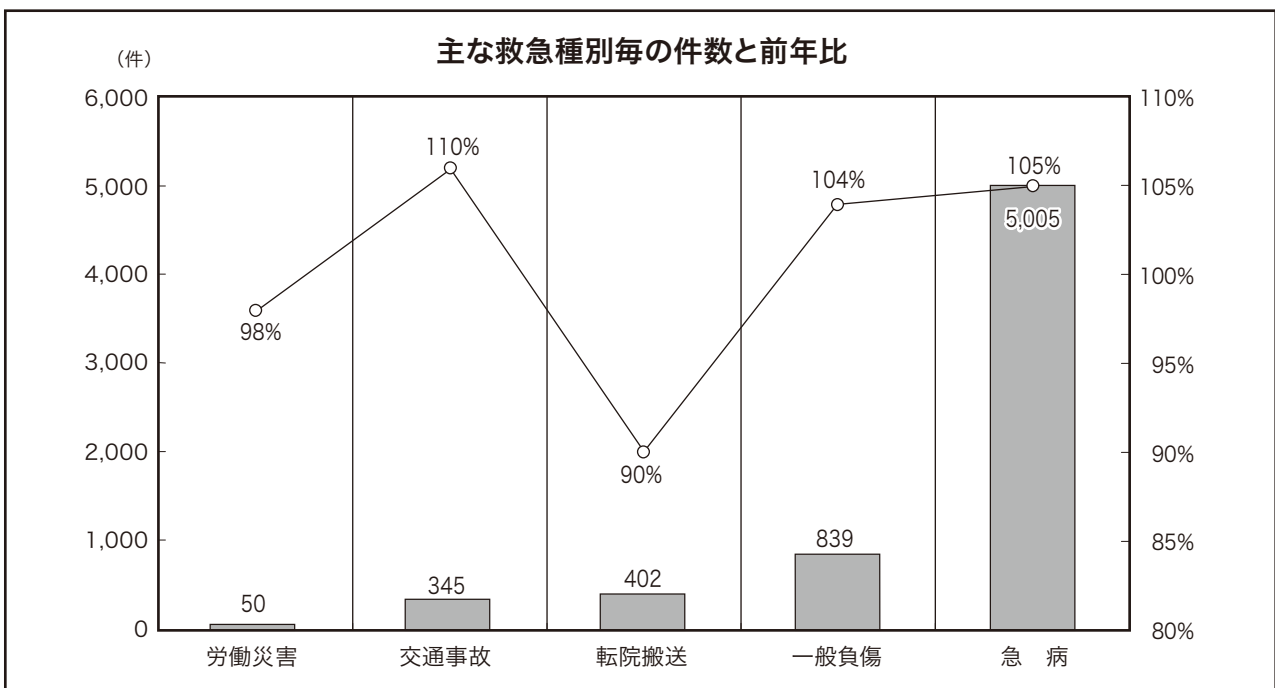
## 1. 救急出動件数とその内容

令和5年中の救急出動件数は6,782件で前年と比べると257件の増加となり、一日あたりの出動件数は18.6件で、77分に1回の割合で出動したことになり、2年連続で過去最多を上回った。

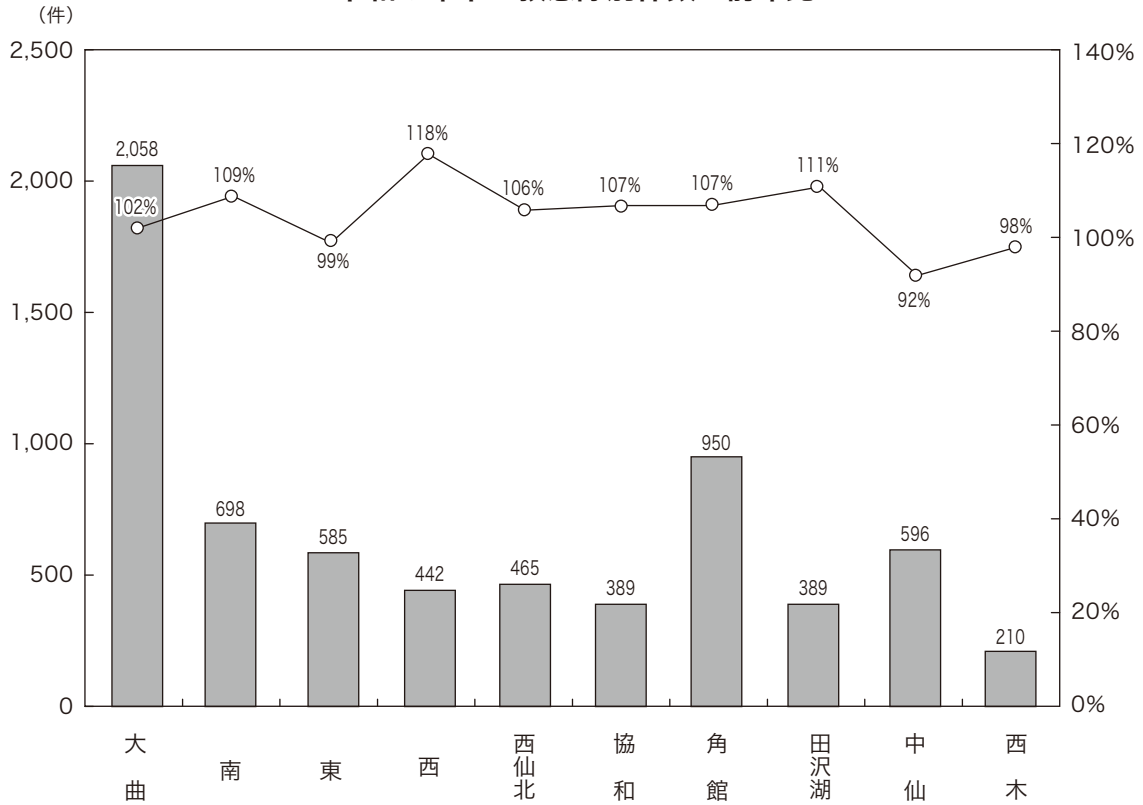
これは、同年5月に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに伴う社会活動の活性化が背景にあると考えられ、加えて夏季の猛暑による熱中症傷病者の搬送が大きく影響した。



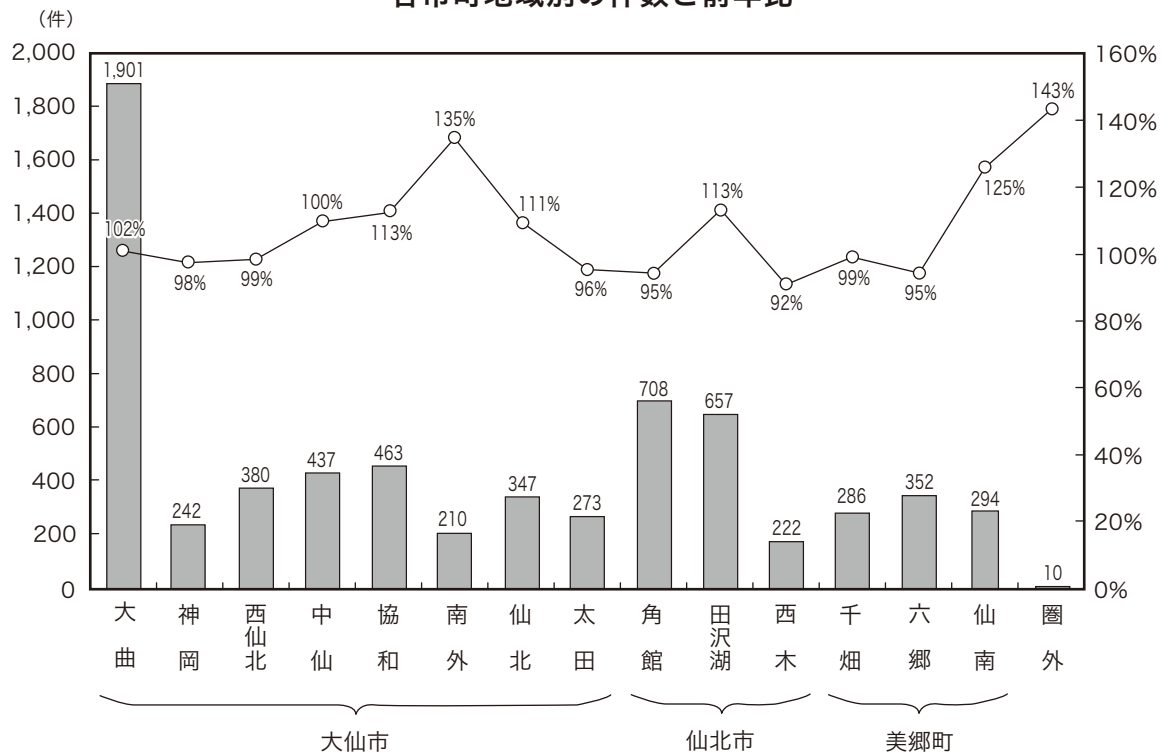
救急出動件数のうちもっとも多かった事故種別は、急病5,005件（74%）、次いで一般負傷839件（12%）である。前年と比べると、転院搬送が減少しているが、事故種別ごとの割合は毎年ほぼ同じであり、大きな変化はみられない。



令和5年中の救急隊別件数と前年比

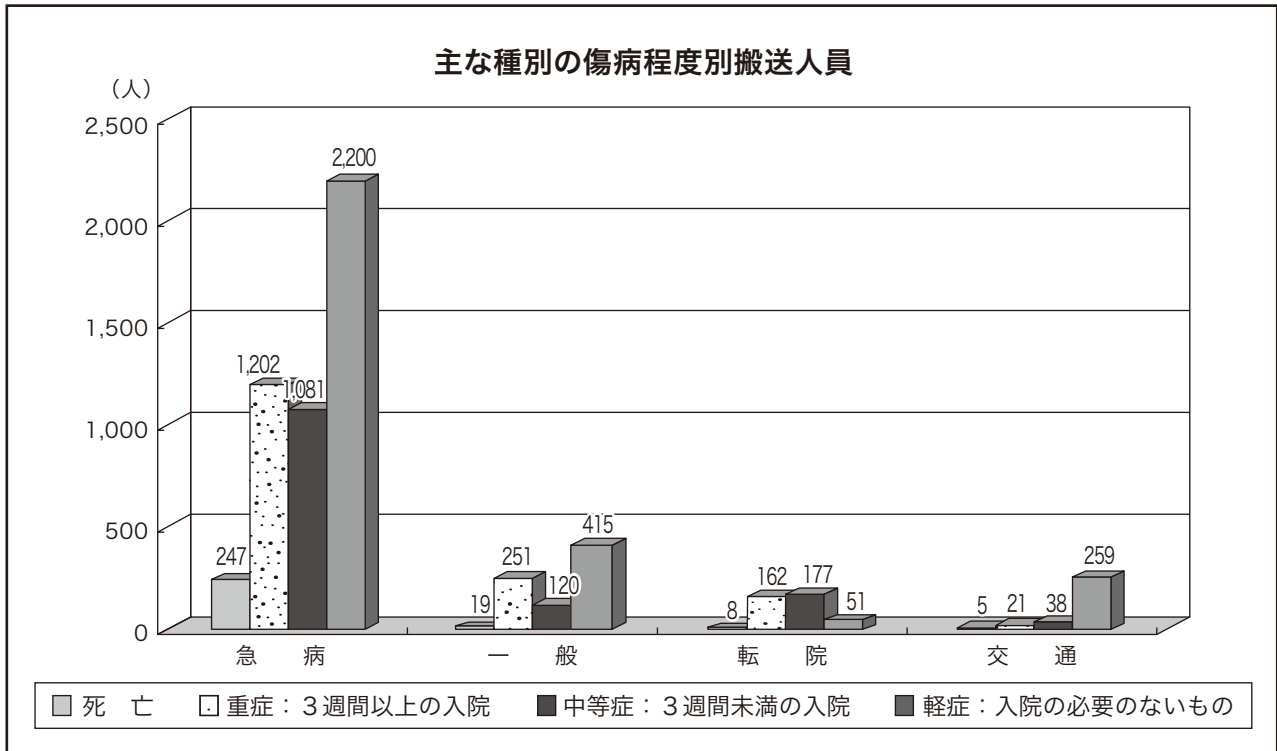


各市町地域別の件数と前年比

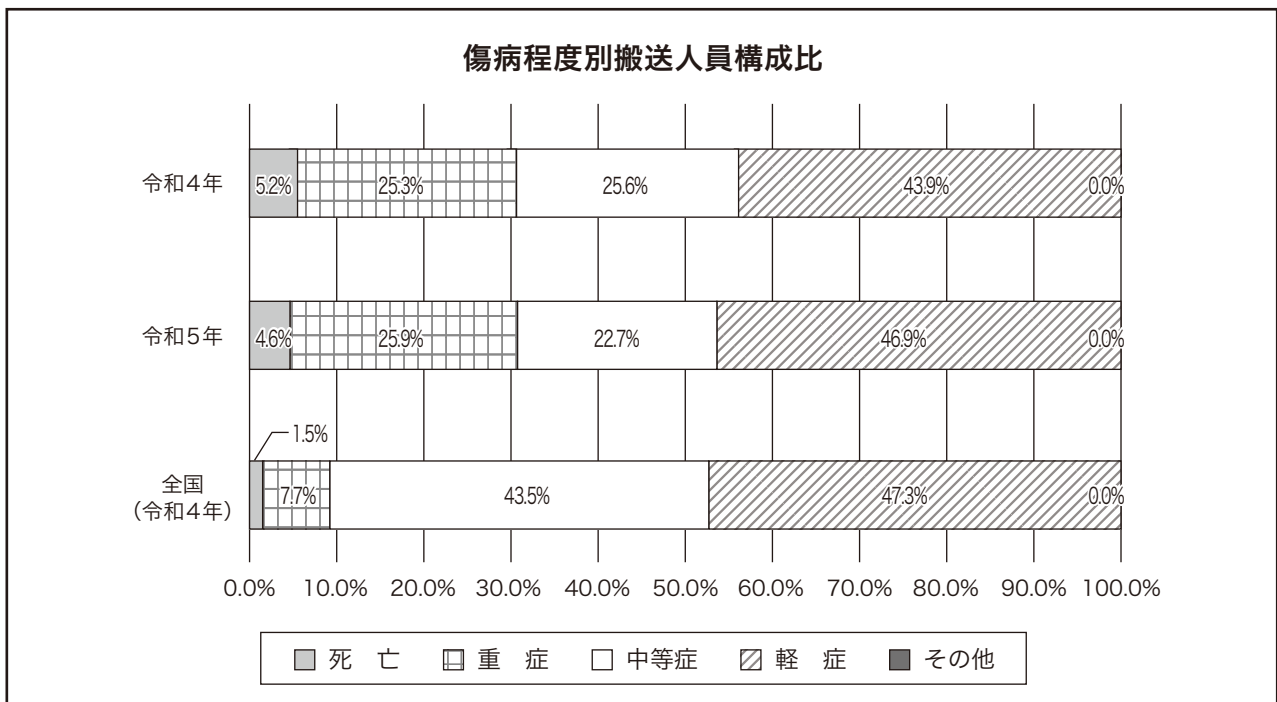


## 2. 救急搬送人員とその内容

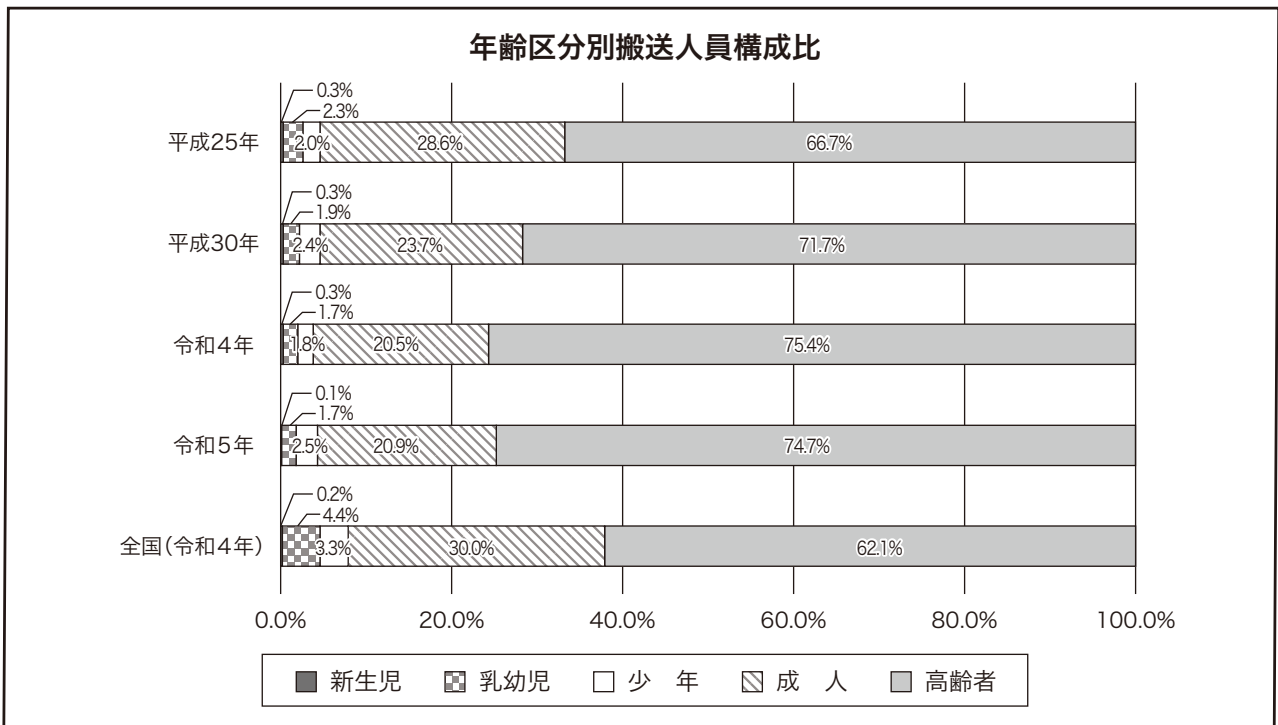
搬送人員は6,398人で、管内人口の約18人に1人、世帯割では約8世帯に1人が搬送されたことになる。種別では、急病4,730人（74%）が多数を占めており、主な種別を傷病程度別にみても重症以上は、急病1,449人（31%）、一般負傷270人（34%）、転院搬送170人（43%）となっている。



傷病程度別構成比をみると、全国と比べ重症以上の割合が高く、比較的救急車の適正な利用がうかがえるが、近年は精神疾患による軽症者の頻回利用が増えており、関係機関と連携した適正利用の啓発が必要である。

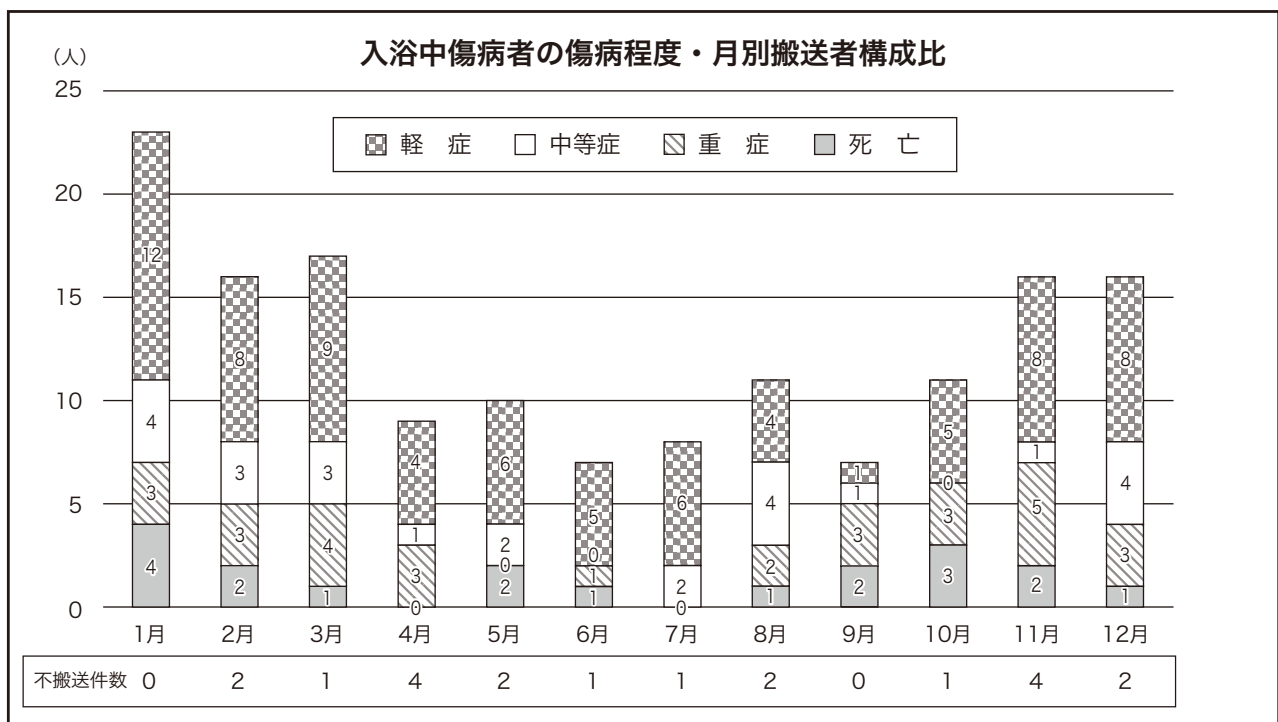


年齢別搬送人員をみると、高齢者の割合が全国と比較しても高く、当地域の高齢化への人口構造の変化がここからもみて取れる。



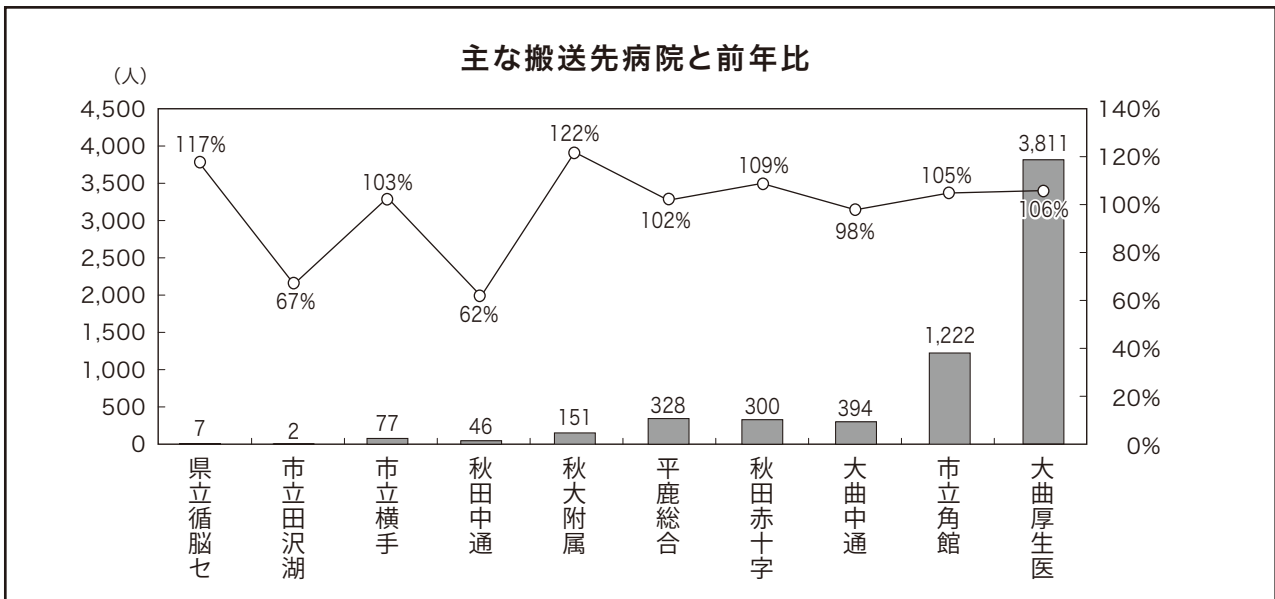
入浴に関する事故は、年間177件発生している。搬送者数は150人であり、うち120人（80％）は65歳以上である。不搬送であった27人については、搬送拒否の3人と救急搬送辞退の7人を除く17人が発見時すでに社会死状態で搬送に至らなかったものである。不搬送を含めた月別人員数は1月（28人）、11月（21人）、3月・12月（20人）が多くなっている。また、搬送者の傷病程度をみてみると、軽

症が76人（50.7％）でもっとも多く、死亡は19人（12.7％）となっている。不搬送の社会死を含めると36人が入浴中に亡くなっており、交通事故の死亡者である5人の約7倍となっている。今後も関係機関と連携し、あらゆる機会を捉え入浴事故防止を啓発していく必要がある。

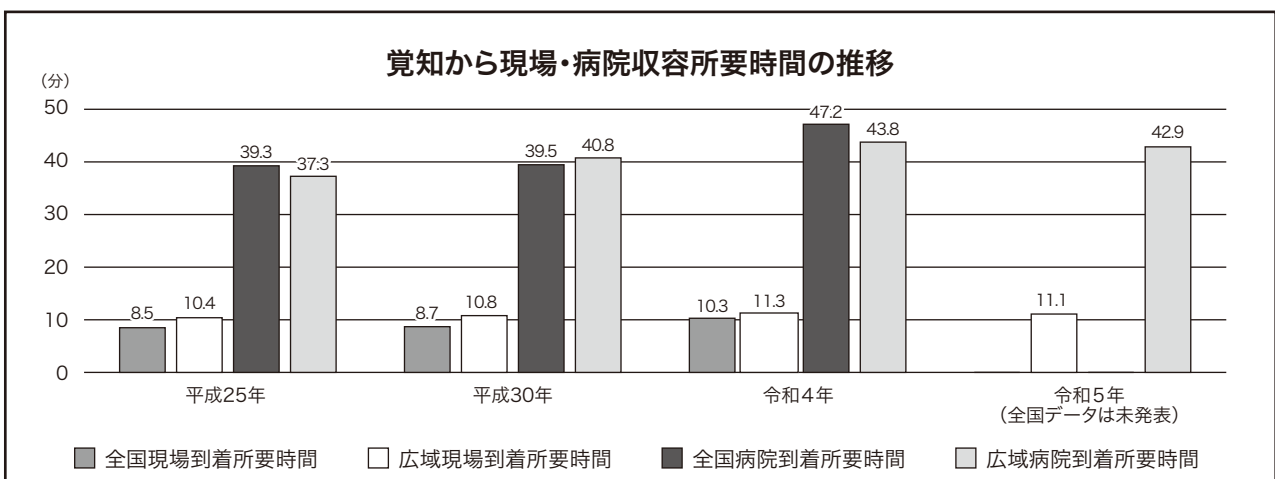
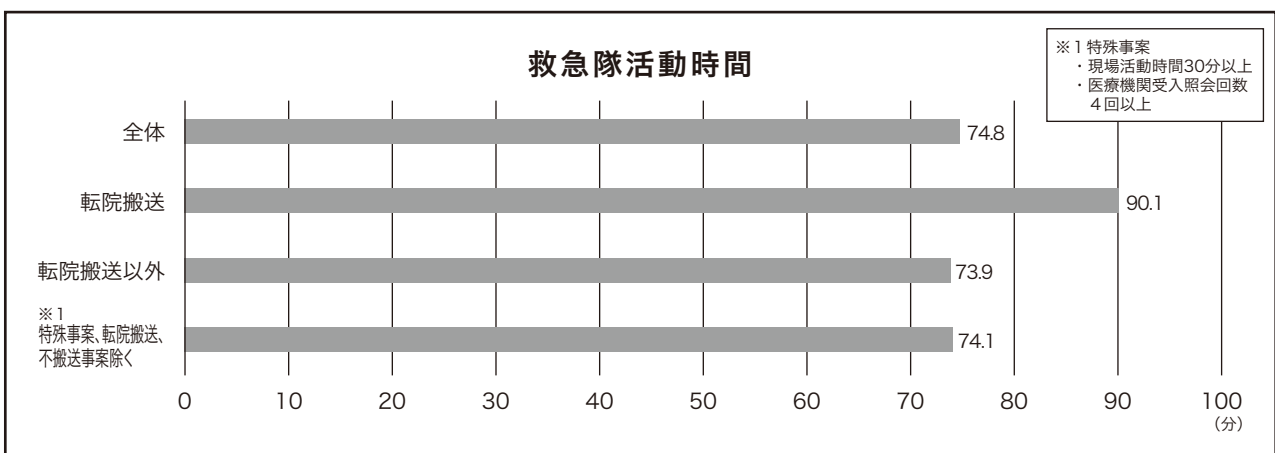


### 3. 搬送先病院と現場到着・病院到着所要時間

搬送先病院は、中核二次病院である大曲厚生医療センター（60%）と市立角館病院（19%）が多数を占めている。

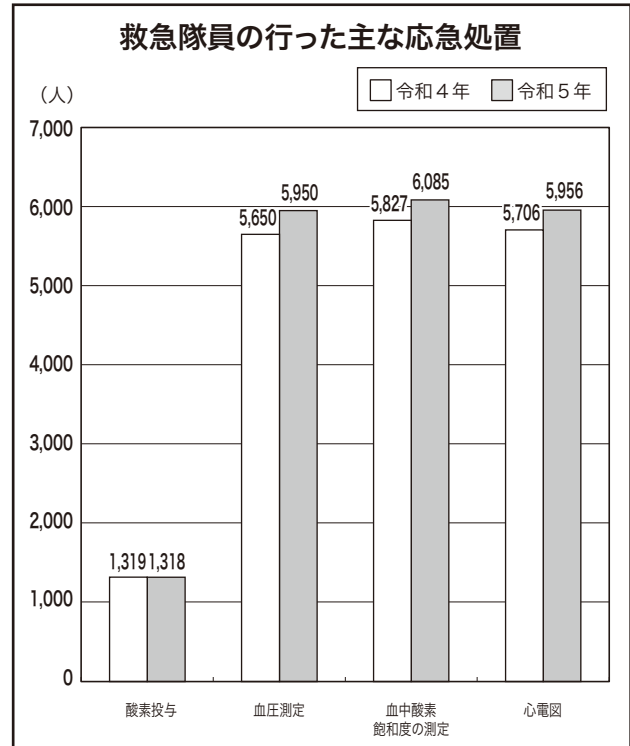
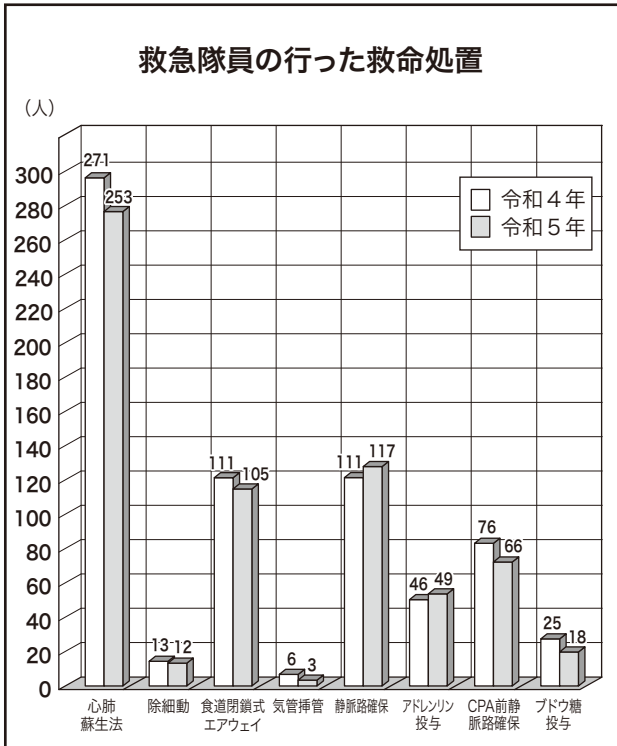


救急隊の平均活動時間をみると、全体では約77.2分であり、転院搬送では、約94.5分である。転院搬送のうち167人（37%）が管外病院への搬送であり、空白地域発生による、現場到着時間の延伸が危惧される。



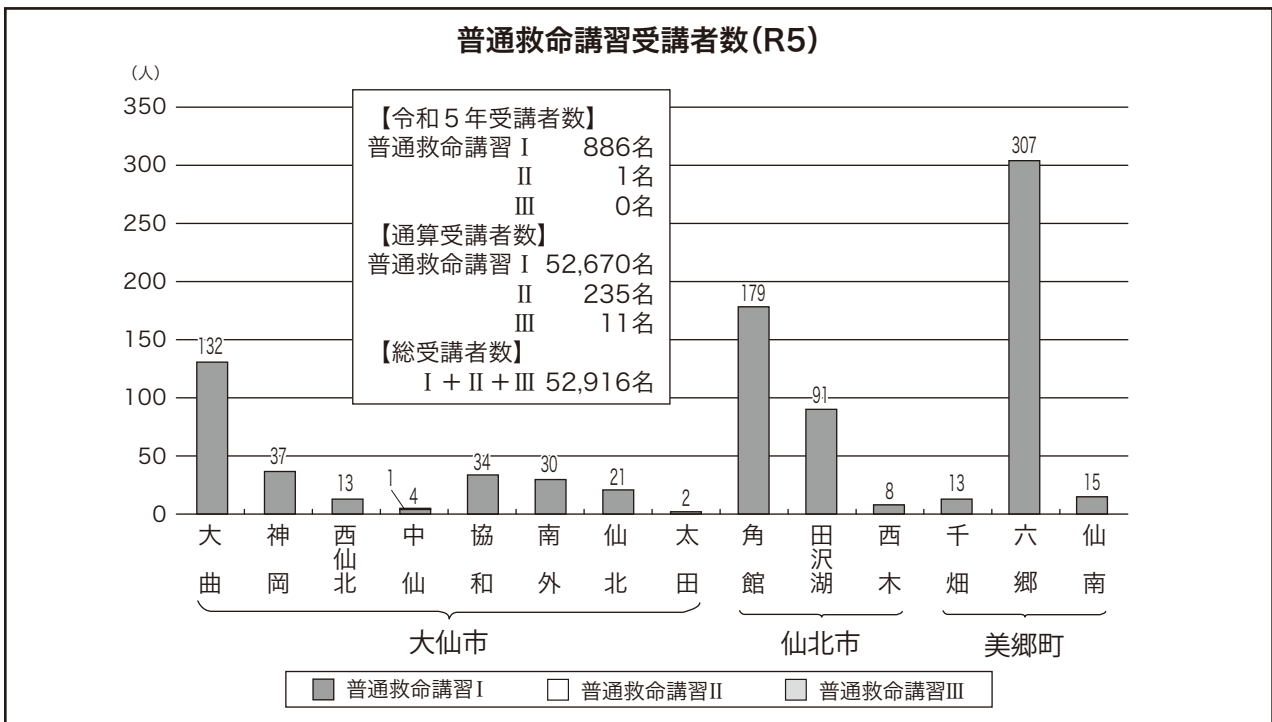
## 4. 高度救命処置

平成26年4月1日から処置拡大として可能となったCPA前静脈路確保は66人に、低血糖に対するブドウ糖投与は18人に実施している。



## 5. 救命講習

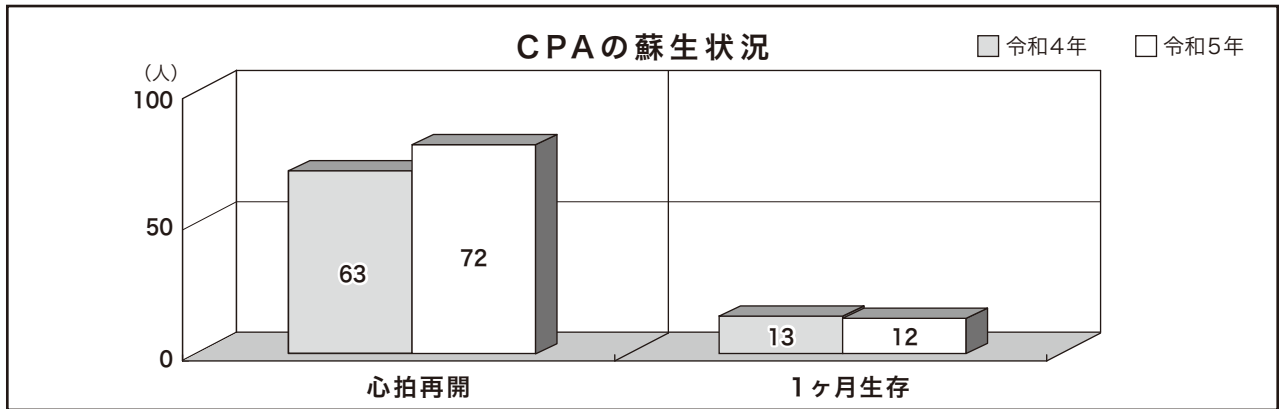
普通救命講習（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）受講者は52,916人を数えるまでとなった。近年、新型コロナウイルス感染症の流行により、講習会の開催がかなわず受講者数が減少している。リモートによる救命講習会や子供と一緒に参加できる救命講習会など、あらゆる需要に応じた開催を広報啓発していきたい。



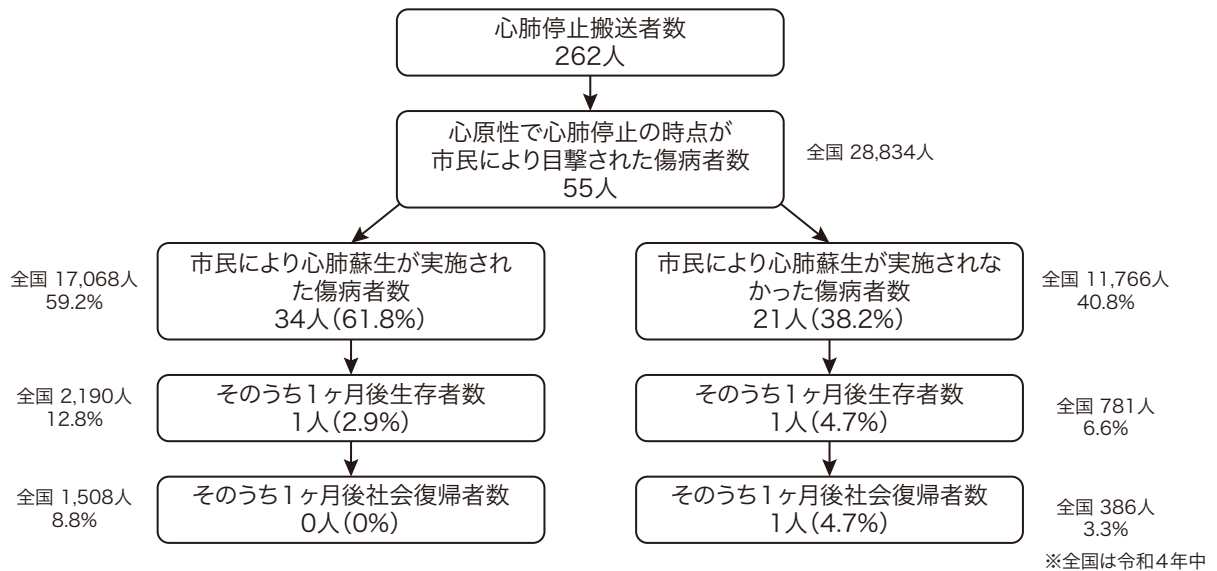
## 6. CPA蘇生状況

搬送されたCPA（心肺機能停止）傷病者は262人（4.1%）であり、そのうち心拍再開者は72人（27.5%）、一ヶ月生存者は12人（4.6%）となっている。

今後とも圏民とともに救命率の向上を目指していきたい。



### 市民により目撃された心原性心肺停止傷病者のうち、市民による心肺蘇生等実施の有無別の生存率・社会復帰率



心原性（心臓等が原因）で心肺停止の時点が目撃された傷病者55人についてみると、市民により心肺蘇生が実施された傷病者は34人（61.8%）で全国の割合（59.2%）を上回っているが、救急隊到着前に市民により心肺蘇生が開始された場合の医療機関搬送1ヵ月後の生存者は1人（2.9%）、うち社会復帰された方が0人（0%）といずれも全国の割合（12.8%、8.8%）を下回っている。全国値をみてみると、市民による心肺蘇生の実施が予後に大きく影響していることは明らかであり、引き続き「救命の連鎖」の啓発と合わせて、既に救命講習を受講された方の技能の維持と、我々救急隊のレベルアップに務める必要がある。

### 救命の連鎖



# 地域別救急出動状況

令和5年1月～12月

地域別	区分	合計	前年比	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			令和4年	令和3年	令和2年	令和元年
														転院	医師	資器材				
大曲地域	出動件数	1,901	36			2	93	13	9	213	1	20	1,355	179	16	1,638	1,374	1,589		
	搬送人員	1,780	17				87	12	9	204	1	16	1,272	179		1,553	1,299	1,495		
	搬送人員	242	-5				11	3	3	19		2	187	4	1	181	151	180		
	搬送人員	230	-2				12	3	3	19		2	187	4		175	141	177		
西仙北地域	出動件数	380	-5	1			17	2	1	56	3	1	295	4		385	372	314		
	搬送人員	360	-9	1			14	2	1	56	1		281	4		369	358	302		
中仙地域	出動件数	437	38	2			28	5		54	3	1	328	16		399	398	324		
	搬送人員	417	52	2			21	5		53	3	1	316	16		365	377	303		
協和地域	出動件数	463	55				29	4	2	51		4	310	63		408	414	417		
	搬送人員	446	58				32	4	2	47		3	297	61		388	401	402		
南外地域	出動件数	210	54				3	2		31		2	172			156	171	160		
	搬送人員	201	50				2	2		31		2	164			151	164	148		
仙北地域	出動件数	347	35	1			39	1	2	40		3	253	7		312	280	259		
	搬送人員	334	31	1			40	1	2	39		3	241	7		303	266	248		
太田地域	出動件数	273	-11	1			20	1		32	1	2	212	4		284	207	232		
	搬送人員	253	-14				17	1		28		1	202	4		267	192	218		
小計	出動件数	4,253	197	5		2	240	31	17	496	8	35	3,124	277	18	4,056	3,661	3,244		
	搬送人員	4,021	183	4			225	30	17	477	5	28	2,960	275		3,838	3,486	3,072		
仙北市	出動件数	708	-36	1			18	6	3	92	3	7	493	84	1	744	564	570		
	搬送人員	668	-28	1			18	6	3	89	3	3	463	82		696	537	553		
	出動件数	657	76	1		1	24	3	3	107	1	7	492	17	1	581	484	515		
	搬送人員	615	90	1			17	3	3	99	1	6	468	17		525	454	495		
西木地域	出動件数	222	-20	1		1	7	1		31		1	178	2		242	192	172		
	搬送人員	196	-21				7	1		31			155	2		217	183	159		
小計	出動件数	1,587	20	3		2	49	10	6	230	4	15	1,163	103	2	1,567	1,240	1,257		
	搬送人員	1,479	41	2			42	10	6	219	4	9	1,086	101		1,438	1,174	1,207		
美郷町	出動件数	286	-4				17	2	1	44		4	216	2		290	235	207		
	搬送人員	273	3				18	2	1	43		1	206	2		270	229	195		
	出動件数	352	-18				18	5	8	35		2	274	10		370	249	255		
	搬送人員	343	-6				22	5	8	34		2	262	10		349	243	239		
仙南地域	出動件数	294	59				14	2	5	34		2	226	10	1	235	236	225		
	搬送人員	277	53				13	2	5	32		1	214	10		224	221	211		
小計	出動件数	932	37				49	9	14	113		8	716	22	1	895	720	687		
	搬送人員	893	50			1	53	9	14	109		4	682	22		843	693	645		
圏外	出動件数	10	3				7						2			7	8	1		
	搬送人員	5	1				3						2			4	7	1		
合計	出動件数	6,782	257	8		5	345	50	37	839	12	58	5,005	402	21	6,525	5,629	5,189		
	搬送人員	6,398	275	6			323	49	37	805	9	41	4,730	398		6,123	5,360	4,925		



# 月別救急出動状況

令和5年1月～12月

月別	区分	合計	救急事故種別										その他					
			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院	医師	資機材	その他		
1月	出動件数	524	1			15	3	1	65	1						38		
	搬送人員	493	1			13	3	1	64	1						37		
2月	出動件数	494	2			25	1	1	55							29		
	搬送人員	464	2			25	1	1	50							29		
3月	出動件数	494	1		1	20	4		65	2						28		
	搬送人員	458				18	4		61	2						28		
4月	出動件数	462				25	1	1	65	4						35	4	
	搬送人員	434				24	1	1	64	1						35		
5月	出動件数	536	1		1	20	2	5	71							43	2	
	搬送人員	507	1			20	2	5	69							43		
6月	出動件数	540				31	7	7	56							28	5	
	搬送人員	515				27	7	7	53							28		
7月	出動件数	583			1	37	8	4	75	1						41		
	搬送人員	555				34	8	4	73	1						40		
8月	出動件数	874	1		1	52	5	3	100							30	2	
	搬送人員	834	1			53	5	3	97							30		
9月	出動件数	619				32	7	6	71	2						42	2	
	搬送人員	595				34	7	6	69	2						41		
10月	出動件数	534	1		1	25	5	3	76	2						27	1	
	搬送人員	509				23	5	3	72	2						27		
11月	出動件数	545	1			31	3	3	73							29	2	
	搬送人員	503	1			29	2	3	68							29		
12月	出動件数	577				32	4	3	67							32	3	
	搬送人員	531				23	4	3	65							31		
合計	出動件数	6,782	8		5	345	50	37	839	12						402	21	
	前年比	257	4	-1	2	20	-1	13	31	-3						-45	20	-8
	搬送人員	6,398	6			323	49	37	805	9						398		
	前年比	275	5		-2	31		14	34	-2						-51		
令和4年	出動件数	6,525	4	1	3	325	51	24	808	15						447	1	
	搬送人員	6,123	1		2	292	49	23	771	11						449		

# 曜日別救急出動状況

令和5年1月～12月

	事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院	医師	資機材	その他
計	出動件数	6,782	8		5	345	50	37	839	12	58	5,005	402	21		
	搬送人員	6,398	6			323	49	37	805	9	41	4,730	398			
日	出動件数	935	1			44	1	9	115	4	5	719	37			
	搬送人員	874	1			36	1	9	114	4	4	669	36			
月	出動件数	1,001	2		1	50	8	1	124		9	731	72	3		
	搬送人員	948	1			47	8	1	119		7	693	72			
火	出動件数	916	1		1	36	10	2	113	1	8	659	77	8		
	搬送人員	863				39	10	2	109	1	6	621	75			
水	出動件数	973	2		2	58	11	3	118	3	11	711	50	4		
	搬送人員	908	2			50	11	3	112	1	8	672	49			
木	出動件数	961			1	58	6	1	116		6	714	55	4		
	搬送人員	918				59	5	1	113		4	681	55			
金	出動件数	983	1			50	9	1	119	2	13	724	62	2		
	搬送人員	919	1			42	9	1	113	1	9	681	62			
土	出動件数	1,013	1			49	5	20	134	2	6	747	49			
	搬送人員	968	1			50	5	20	125	2	3	713	49			

# 救急隊員の行った応急処置

令和5年1月～12月

応急処置 対象人員 事故種別	止血	固定	人工呼吸	心臓マッサージ		心肺蘇生		酸素吸入	気道確保				保温	被覆	
				うち自動	うち自動	うち自動	うち自動		*1	*2	*3	*4			
急病	15	8	41	10	4	213	63	1,122	283	2	16	91	1	338	8
交通	7	37	1			5	2	13	6		2	2		20	13
一般負傷	90	33	4	2	2	17	7	54	21	7	6	2	2	55	38
その他	10	34	6	3		18	3	129	21	1		6		49	10
計	122	112	52	15	6	253	75	1,318	331	3	25	105	3	462	69

\*1には、経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数を内数として記載。  
\*2には、喉頭鏡・鉗子等を使用して異物除去を行った件数を内数として記載。  
\*3には、救急救命士がラリングマスク等を使用して気道確保を行った件数を内数として記載。  
\*4には、救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った件数を内数として記載。

応急処置 対象人員 事故種別	在宅療法継続			除細動	静脈路確保	アドレナリン投与	ブドウ糖投与	聴診器による心音、呼吸音等の聴取	血中酸素飽和度の測定	血糖測定	エピペン投与	心電図	その他の応急処置	合計
	*A	*B	*C											
急病	16	1	3	11	160	39	18	819	4,488	291		4504	4,595	26,102
交通					3	1		30	309	2		246	301	1,618
一般負傷					14	6		55	770	5		722	779	4,229
その他	1		1	1	6	3		59	518	5		484	513	2,906
計	17	1	3	12	183	49	18	963	6,085	303		5,956	6,188	34,855

\*Aには、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対して応急処置を行った件数を内数として記載。  
\*Bには、気管切開又は、気管挿・人工肛門等の外傷が施されている傷病者に対して応急処置を行った件数を内数として記載。  
\*Cには、\*A・\*B以外の在宅療法継続中の施されている傷病者に対して応急処置を行った件数を内数として記載。



# 通信指令関係



高機能消防指令センター



# 消防無線局設置状況

(令和6年4月1日現在)

常置場所	名 称	呼出名称	デジタル送信周波数						備考	
			活動波				主運用波	統制波 1~3		
			1	2	3	4				
消防本部	曲消本部	きょくしょうほんぶ	○	○	○	○	○	○	基地局	
	本部予防1	ほんぶよぼう1	○	○	○	○	○	○	車載型	
	本部警防1	ほんぶけいぼう1	○	○	○	○	○	○	車載型	
	本部指揮1	ほんぶしき1	○	○	○	○	○	○	車載型	
	本部携帯1	ほんぶけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型	
	本部携帯2	ほんぶけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型	
	本部携帯3	ほんぶけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型	
	本部可搬1	ほんぶかはん1	○	○	○	○	○	○	可搬型	
	本部署活11	ほんぶしょかつ11	アナログ送信						携帯型	
	本部署活12	ほんぶしょかつ12	アナログ送信						携帯型	
	本部署活13	ほんぶしょかつ13	アナログ送信						携帯型	
	本部署活14	ほんぶしょかつ14	アナログ送信						携帯型	
	本部署活15	ほんぶしょかつ15	アナログ送信						携帯型	
	本部署活16	ほんぶしょかつ16	アナログ送信						携帯型	
	大曲消防署	大曲署1	おおまがりしょ1	○	○	○	○	○	○	卓上型
		大曲ポンプ1	おおまがりぼんぷ1	○	○	○	○	○	○	車載型
大曲ポンプ2		おおまがりぼんぷ2	○	○	○	○	○	○	車載型	
大曲タンク1		おおまがりたんく1	○	○	○	○	○	○	車載型	
大曲救助1		おおまがりきゅうじょ1	○	○	○	○	○	○	車載型	
大曲救助2		おおまがりきゅうじょ2	○	○	○	○	○	○	車載型	
大曲資材1		おおまがりしざい1	○	○	○	○	○	○	車載型	
大曲梯子1		おおまがりはしご1	○	○	○	○	○	○	車載型	
大曲化学1		おおまがりかがく1	○	○	○	○	○	○	車載型	
大曲指揮1		おおまがりしき1	○	○	○	○	○	○	車載型	
大曲補給1		おおまがりほきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型	
大曲救急1		おおまがりきゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型	
大曲救急2		おおまがりきゅうきゅう2	○	○	○	○	○	○	車載型	
大曲救急3		おおまがりきゅうきゅう3	○	○	○	○	○	○	車載型	
大曲携帯1		おおまがりけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型	
大曲携帯2		おおまがりけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型	
大曲携帯3		おおまがりけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型	
大曲携帯4		おおまがりけいたい4	○	○	○	○	○	○	携帯型	
大曲携帯5		おおまがりけいたい5	○	○	○	○	○	○	携帯型	
大曲携帯6		おおまがりけいたい6	○	○	○	○	○	○	携帯型	
大曲携帯7		おおまがりけいたい7	○	○	○	○	○	○	携帯型	
大曲携帯8		おおまがりけいたい8	○	○	○	○	○	○	携帯型	
大曲携帯9		おおまがりけいたい9	○	○	○	○	○	○	携帯型	
大曲携帯10		おおまがりけいたい10	○	○	○	○	○	○	携帯型	
大曲携帯11		おおまがりけいたい11	○	○	○	○	○	○	携帯型	
大曲携帯12		おおまがりけいたい12	○	○	○	○	○	○	携帯型	
大曲携帯13		おおまがりけいたい13	○	○	○	○	○	○	携帯型	
大曲署活11		おおまがりしょかつ11	アナログ送信						携帯型	
大曲署活12		おおまがりしょかつ12	アナログ送信						携帯型	
大曲署活13		おおまがりしょかつ13	アナログ送信						携帯型	
大曲署活14		おおまがりしょかつ14	アナログ送信						携帯型	
大曲署活15		おおまがりしょかつ15	アナログ送信						携帯型	
大曲署活16		おおまがりしょかつ16	アナログ送信						携帯型	
大曲署活17		おおまがりしょかつ17	アナログ送信						携帯型	

常置場所	名 称	呼出名称	デジタル送信周波数						備考
			活動波				主運用波	統制波 1～3	
			1	2	3	4			
大曲消防署	大曲署活18	おおまがりしょかつ18	アナログ送信						携帯型
	大曲署活19	おおまがりしょかつ19	アナログ送信						携帯型
	大曲署活20	おおまがりしょかつ20	アナログ送信						携帯型
	大曲署活21	おおまがりしょかつ21	アナログ送信						携帯型
	大曲署活22	おおまがりしょかつ22	アナログ送信						携帯型
	大曲署活23	おおまがりしょかつ23	アナログ送信						携帯型
	大曲署活24	おおまがりしょかつ24	アナログ送信						携帯型
	大曲署活25	おおまがりしょかつ25	アナログ送信						携帯型
	大曲署活26	おおまがりしょかつ26	アナログ送信						携帯型
	大曲署活27	おおまがりしょかつ27	アナログ送信						携帯型
	大曲署活28	おおまがりしょかつ28	アナログ送信						携帯型
南分署	南分署1	みなみぶんしょ1	○	○	○	○	○	○	卓上型
	南ポンプ1	みなみぼんぷ1	○	○	○	○	○	○	車載型
	南ポンプ2	みなみぼんぷ2	○	○	○	○	○	○	車載型
	南広報1	みなみこうほう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	南救急1	みなみきゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	南携帯1	みなみけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型
	南携帯2	みなみけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型
	南携帯3	みなみけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型
	南携帯4	みなみけいたい4	○	○	○	○	○	○	携帯型
	南携帯5	みなみけいたい5	○	○	○	○	○	○	携帯型
	南携帯6	みなみけいたい6	○	○	○	○	○	○	携帯型
	南署活11	みなみしょかつ11	アナログ送信						携帯型
	南署活12	みなみしょかつ12	アナログ送信						携帯型
	南署活13	みなみしょかつ13	アナログ送信						携帯型
	南署活14	みなみしょかつ14	アナログ送信						携帯型
	南署活15	みなみしょかつ15	アナログ送信						携帯型
	南署活16	みなみしょかつ16	アナログ送信						携帯型
	南署活17	みなみしょかつ17	アナログ送信						携帯型
	南署活18	みなみしょかつ18	アナログ送信						携帯型
南署活19	みなみしょかつ19	アナログ送信						携帯型	
東分署	東分署1	ひがしぶんしょ1	○	○	○	○	○	○	卓上型
	東ポンプ1	ひがしぼんぷ1	○	○	○	○	○	○	車載型
	東ポンプ2	ひがしぼんぷ2	○	○	○	○	○	○	車載型
	東広報1	ひがしこうほう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	東救急1	ひがしきゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	東携帯1	ひがしけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型
	東携帯2	ひがしけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型
	東携帯3	ひがしけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型
	東携帯4	ひがしけいたい4	○	○	○	○	○	○	携帯型
	東携帯5	ひがしけいたい5	○	○	○	○	○	○	携帯型
	東携帯6	ひがしけいたい6	○	○	○	○	○	○	携帯型
	東署活11	ひがししょかつ11	アナログ送信						携帯型
	東署活12	ひがししょかつ12	アナログ送信						携帯型
	東署活13	ひがししょかつ13	アナログ送信						携帯型
	東署活14	ひがししょかつ14	アナログ送信						携帯型
	東署活15	ひがししょかつ15	アナログ送信						携帯型
	東署活16	ひがししょかつ16	アナログ送信						携帯型
東署活17	ひがししょかつ17	アナログ送信						携帯型	



常置場所	名 称	呼出名称	デジタル送信周波数						備考
			活動波				主運用波	統制波 1～3	
			1	2	3	4			
西分署	曲消西	ぎょくしょうにし	○		○	○	○		基地局
	西分署1	にしぶんしょ1	○	○	○	○	○	○	卓上型
	西ポンプ1	にしぼんぷ1	○	○	○	○	○	○	車載型
	西ポンプ2	にしぼんぷ2	○	○	○	○	○	○	車載型
	西広報1	にしこうほう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	西救急1	にしきゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	西携帯1	にしけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西携帯2	にしけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西携帯3	にしけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西携帯4	にしけいたい4	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西携帯5	にしけいたい5	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西携帯6	にしけいたい6	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西署活11	にししょかつ11	アナログ送信						携帯型
	西署活12	にししょかつ12	アナログ送信						携帯型
	西署活13	にししょかつ13	アナログ送信						携帯型
	西署活14	にししょかつ14	アナログ送信						携帯型
	西署活15	にししょかつ15	アナログ送信						携帯型
西署活16	にししょかつ16	アナログ送信						携帯型	
西署活17	にししょかつ17	アナログ送信						携帯型	
西仙北分署	曲消西仙	ぎょくしょうにしせん	○		○	○	○		基地局
	西仙北分署1	にしせんぼくぶんしょ1	○	○	○	○	○	○	卓上型
	西仙ポンプ1	にしせんぼんぷ1	○	○	○	○	○	○	車載型
	西仙広報1	にしせんこうほう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	西仙救急1	にしせんきゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	西仙携帯1	にしせんけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西仙携帯2	にしせんけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西仙携帯3	にしせんけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西仙携帯4	にしせんけいたい4	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西仙携帯5	にしせんけいたい5	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西仙署活11	にしせんしょかつ11	アナログ送信						携帯型
	西仙署活12	にしせんしょかつ12	アナログ送信						携帯型
	西仙署活13	にしせんしょかつ13	アナログ送信						携帯型
	西仙署活14	にしせんしょかつ14	アナログ送信						携帯型
	西仙署活15	にしせんしょかつ15	アナログ送信						携帯型
	西仙署活16	にしせんしょかつ16	アナログ送信						携帯型
	西仙署活17	にしせんしょかつ17	アナログ送信						携帯型
協和分署	曲消協和	ぎょくしょうぎょうわ	○		○	○	○		基地局
	協和分署1	ぎょうわぶんしょ1	○	○	○	○	○	○	卓上型
	協和ポンプ1	ぎょうわぼんぷ1	○	○	○	○	○	○	車載型
	協和広報1	ぎょうわこうほう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	協和救急1	ぎょうわきゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	協和携帯1	ぎょうわけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型
	協和携帯2	ぎょうわけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型
	協和携帯3	ぎょうわけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型
	協和携帯4	ぎょうわけいたい4	○	○	○	○	○	○	携帯型
	協和携帯5	ぎょうわけいたい5	○	○	○	○	○	○	携帯型
	協和署活11	ぎょうわしょかつ11	アナログ送信						携帯型
	協和署活12	ぎょうわしょかつ12	アナログ送信						携帯型
	協和署活13	ぎょうわしょかつ13	アナログ送信						携帯型
	協和署活14	ぎょうわしょかつ14	アナログ送信						携帯型
	協和署活15	ぎょうわしょかつ15	アナログ送信						携帯型
	協和署活16	ぎょうわしょかつ16	アナログ送信						携帯型
	協和署活17	ぎょうわしょかつ17	アナログ送信						携帯型

常置場所	名 称	呼出名称	デジタル送信周波数						備考
			活動波				主運用波	統制波 1～3	
			1	2	3	4			
角館消防署	曲消角館	きよくしょうかくのだて		○	○	○	○	○	基地局
	角館署1	かくのだてしょ1	○	○	○	○	○	○	卓上型
	角館ポンプ1	かくのだてぼんぷ1	○	○	○	○	○	○	車載型
	角館タンク1	かくのだてたんく1	○	○	○	○	○	○	車載型
	角館救助1	かくのだてきゅうじょ1	○	○	○	○	○	○	車載型
	角館資材1	かくのだてしざい1	○	○	○	○	○	○	車載型
	角館指揮1	かくのだてしき1	○	○	○	○	○	○	車載型
	角館救急1	かくのだてきゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	角館携帯1	かくのだてけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型
	角館携帯2	かくのだてけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型
	角館携帯3	かくのだてけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型
	角館携帯4	かくのだてけいたい4	○	○	○	○	○	○	携帯型
	角館携帯5	かくのだてけいたい5	○	○	○	○	○	○	携帯型
	角館携帯6	かくのだてけいたい6	○	○	○	○	○	○	携帯型
	角館携帯7	かくのだてけいたい7	○	○	○	○	○	○	携帯型
	角館署活11	かくのだてしょかつ11	アナログ送信						携帯型
	角館署活12	かくのだてしょかつ12	アナログ送信						携帯型
	角館署活13	かくのだてしょかつ13	アナログ送信						携帯型
	角館署活14	かくのだてしょかつ14	アナログ送信						携帯型
	角館署活15	かくのだてしょかつ15	アナログ送信						携帯型
	角館署活16	かくのだてしょかつ16	アナログ送信						携帯型
	角館署活17	かくのだてしょかつ17	アナログ送信						携帯型
角館署活18	かくのだてしょかつ18	アナログ送信						携帯型	
角館署活19	かくのだてしょかつ19	アナログ送信						携帯型	
角館署活20	かくのだてしょかつ20	アナログ送信						携帯型	
角館署活21	かくのだてしょかつ21	アナログ送信						携帯型	
角館署活22	かくのだてしょかつ22	アナログ送信						携帯型	
中仙分署	中仙分署1	なかせんぶんしょ1	○	○	○	○	○	○	卓上型
	中仙ポンプ1	なかせんぼんぷ1	○	○	○	○	○	○	車載型
	中仙広報1	なかせんこうほう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	中仙救急1	なかせんきゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	中仙携帯1	なかせんけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型
	中仙携帯2	なかせんけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型
	中仙携帯3	なかせんけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型
	中仙携帯4	なかせんけいたい4	○	○	○	○	○	○	携帯型
	中仙携帯5	なかせんけいたい5	○	○	○	○	○	○	携帯型
	中仙署活11	なかせんしょかつ11	アナログ送信						携帯型
	中仙署活12	なかせんしょかつ12	アナログ送信						携帯型
	中仙署活13	なかせんしょかつ13	アナログ送信						携帯型
	中仙署活14	なかせんしょかつ14	アナログ送信						携帯型
	中仙署活15	なかせんしょかつ15	アナログ送信						携帯型
中仙署活16	なかせんしょかつ16	アナログ送信						携帯型	
中仙署活17	なかせんしょかつ17	アナログ送信						携帯型	
田沢湖分署	曲消田沢	きよくしょうたざわ		○	○	○	○	○	基地局
	田沢湖分署1	たざわこぶんしょ1	○	○	○	○	○	○	卓上型
	田沢ポンプ1	たざわぼんぷ1	○	○	○	○	○	○	車載型
	田沢梯子1	たざわはしご1	○	○	○	○	○	○	車載型
	田沢広報1	たざわこうほう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	田沢救急1	たざわきゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	田沢携帯1	たざわけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型
	田沢携帯2	たざわけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型
	田沢携帯3	たざわけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型
田沢携帯4	たざわけいたい4	○	○	○	○	○	○	携帯型	

常置場所	名 称	呼出名称	デジタル送信周波数						備考
			活動波				主運用波	統制波 1～3	
			1	2	3	4			
田沢湖分署	田沢携帯5	たざわけいたい5	○	○	○	○	○	○	携帯型
	田沢携帯6	たざわけいたい6	○	○	○	○	○	○	携帯型
	田沢署活11	たざわしよかつ11	アナログ送信						携帯型
	田沢署活12	たざわしよかつ12	アナログ送信						携帯型
	田沢署活13	たざわしよかつ13	アナログ送信						携帯型
	田沢署活14	たざわしよかつ14	アナログ送信						携帯型
	田沢署活15	たざわしよかつ15	アナログ送信						携帯型
	田沢署活16	たざわしよかつ16	アナログ送信						携帯型
	田沢署活17	たざわしよかつ17	アナログ送信						携帯型
西木分署	曲消西木	きょくしょうにしき		○	○	○	○		基地局
	西木分署1	にしきぶんしょ1	○	○	○	○	○	○	卓上型
	西木ポンプ1	にしきぼんぷ1	○	○	○	○	○	○	車載型
	西木広報1	にしきこうほう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	西木救急1	にしききゅうきゅう1	○	○	○	○	○	○	車載型
	西木携帯1	にしきけいたい1	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西木携帯2	にしきけいたい2	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西木携帯3	にしきけいたい3	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西木携帯4	にしきけいたい4	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西木携帯5	にしきけいたい5	○	○	○	○	○	○	携帯型
	西木署活11	にしきしよかつ11	アナログ送信						携帯型
	西木署活12	にしきしよかつ12	アナログ送信						携帯型
	西木署活13	にしきしよかつ13	アナログ送信						携帯型
	西木署活14	にしきしよかつ14	アナログ送信						携帯型
	西木署活15	にしきしよかつ15	アナログ送信						携帯型
	西木署活16	にしきしよかつ16	アナログ送信						携帯型

合計	無線局種別	基地局	卓上移動局	車載移動局	携帯移動局 デジタル	携帯移動局 アナログ	可搬移動局
		7	10	50	67	93	1

## 一般回線からの119番受信件数

統計月日：令和5年

内 容	火 災	救 急	救 助	その他災害	間 違 い いたずら	通報訓練	病院照会	問い合わせ	試験	その他	転送・ FAX	合計
1月	1	139		2	3	16		4	35	18		218
2月	1	118		1	3	20	1	1	33	9		187
3月	1	110		1	3	43		5	56	13		232
4月		100			4	6		1	44	16		171
5月	1	124		1	6	42	2	3	28	15		222
6月		121		1	4	57		1	25	10		219
7月		119		1	1	18			22	11		172
8月	1	178	1	3	4	19	1	2	47	19		275
9月		127			4	43		1	41	16		232
10月		124		1	4	75		4	36	22		266
11月	1	116			4	58			36	19		234
12月		139		2	3	28		1	35	12		220
合 計	6	1,515	1	13	43	425	4	23	438	180	0	2,648

## 携帯電話からの119番受信件数

統計月日：令和5年

内 容	火 災	救 急	救 助	その他災害	間 違 い いたずら	通報訓練	病院照会	問い合わせ	試験	その他	転送・ FAX	合計
1月	4	146			26	1		5	4	33		219
2月	2	163		2	16	3		8		33		227
3月	3	175		2	28	4			3	35		250
4月	4	152			29	3		1	1	51		241
5月	3	184		4	37	4	1	3	4	49		289
6月	2	190	1	1	31	6	1	6		28		266
7月	3	214	1	5	29	14		5	7	63		341
8月	4	333	2	2	35	7		8		77		468
9月		218		1	25	8		2	2	27		283
10月		177		2	27	7		3	1	48		265
11月	2	189		1	12	16			5	35		260
12月	3	192	1	5	11	4		2	22	48		288
合 計	30	2,333	5	25	306	77	2	43	49	527	0	3,397

## I P電話からの119番受信件数

統計月日：令和5年

内 容	火 災	救 急	救 助	その他災害	間 違 い いたずら	通報訓練	病院照会	問い合わせ	試験	その他	転送・ FAX	合計
1月	1	212		1	4	10				10	1	239
2月	1	185		2	1	17		1		5		212
3月		174				28		3		4		209
4月		174		2	3	21	1		1	13	2	217
5月	3	191			2	25		1	1	10		233
6月		184			1	28		1	1	7		222
7月		213		1	3	23			1	9		250
8月	4	262			2	15		4		21		308
9月	1	242			4	21		2	1	7		278
10月		204	1		3	48	1	4	4	9		274
11月		193			3	56		1	2	19		274
12月	1	196			2	38		1	9	12	2	261
合 計	11	2,430	1	6	28	330	2	18	20	126	5	2,977

## 119番受信件数（総合計）

統計月日：令和5年

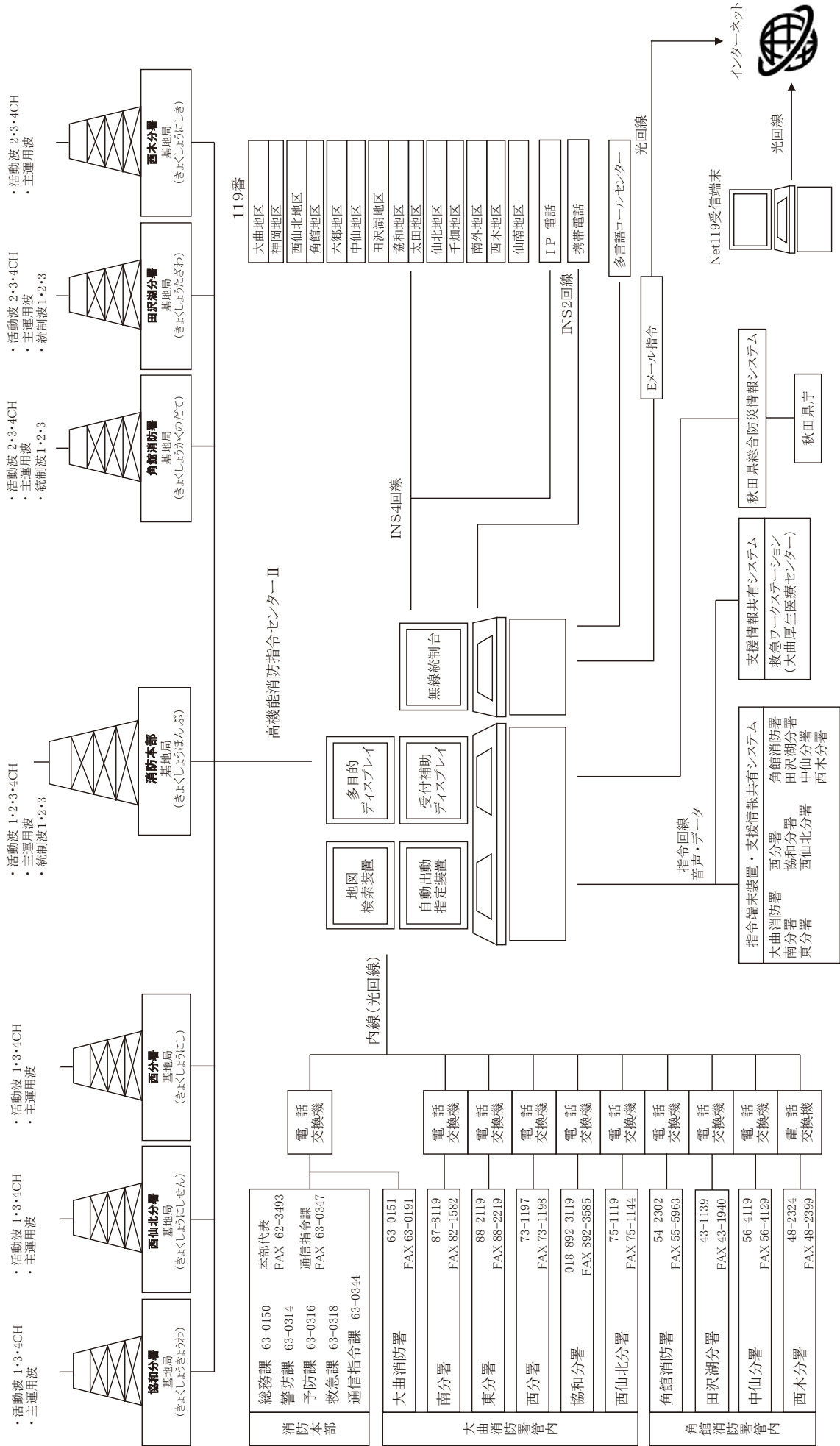
内 容	火 災	救 急	救 助	その他災害	間 違 い いたずら	通報訓練	病院照会	問い合わせ	試験	その他	転送・ FAX	合計
1月	6	497		3	33	27		9	39	61	1	676
2月	4	466		5	20	40	1	10	33	47		626
3月	4	459		3	31	75		8	59	52		691
4月	4	426		2	36	30	1	2	46	80	2	629
5月	7	499		5	45	71	3	7	33	74		744
6月	2	495	1	2	36	91	1	8	26	45		707
7月	3	546	1	7	33	55		5	30	83		763
8月	9	773	3	5	41	41	1	14	47	117		1,051
9月	1	587		1	33	72		5	44	50		793
10月		505	1	3	34	130	1	11	41	79		805
11月	3	498		1	19	130		1	43	73		768
12月	4	527	1	7	16	70		4	66	72	2	769
合 計	47	6,278	7	44	377	832	8	84	507	833	5	9,022

## 高機能消防指令センター（Ⅱ型）機器構成

装 置 名	数 量	備 考
1 指令装置		
(1) 指令台	3 台	1 席 4 画面構成（自動出動、地図装置） 通常時：指令台 1 席 4 画面× 3 輻輳時：指令台 1 席 2 画面× 6 ・指令台機構（音声系制御部内蔵） ・マルチパネル 6 台、ハードキー 6 台
(2) 自動出動指定装置		
① 制御処理装置	1 式	サーバー 2 台による二重化構造
② ディスプレイ	3 台	タッチディスプレイ
③ データメンテナンス装置	1 台	
④ 多目的ディスプレイ	3 台	タッチディスプレイ
⑤ 受付補助ディスプレイ	3 台	タッチディスプレイ
(3) 地図等検索装置		
① 地図等検索装置	1 式	
② 地図用ディスプレイ	3 台	タッチディスプレイ
(4) 長時間録音装置	1 台	
(5) 非常用指令装置	1 式	指令制御装置同等機能
(6) 指令制御装置	1 式	
(7) モノクロプリンタ	14 台	
(8) カラープリンタ	1 台	
(9) スキャナ	1 台	
(10) 署所端末	10 式	車両登録機能、無線バックアップ機能付
2 表示盤		
(1) 車両運用表示盤	1 式	4 面マルチ（92インチ）
(2) 支援情報表示装置	1 式	4 面マルチ（92インチ）
(3) 多目的情報表示装置	1 式	4 面マルチ（92インチ） 映像制御装置・操作部等含む
3 無線統制台	1 式	8 c h 実装 12 型 L C D タッチ操作部
4 指令電送装置		
(1) 指令情報送信装置	1 式	
(2) 指令情報出力装置	11 式	P C、プリンタ構成
5 気象情報収集装置	1 式	

装 置 名	数 量	備 考
6 音声合成装置	1 式	音片蓄積合成方式
7 出動車両運用管理装置		
(1) 管理装置	1 式	
(2) 車両運用端末装置	47 式	A V M一体型ナビゲーション端末装置
8 システム監視装置	1 式	
9 電源設備		
(1) 無停電電源装置 (本部用)	2 式	20 K V A
(2) 無停電電源装置 (署所用)	11 式	2 K V A
(3) 直流電源装置 (DC48V系)	1 式	
10 災害状況等自動案内装置	1 式	電子式、災害情報案内と連動
11 統合型位置情報通知装置	1 式	
12 動画像電送装置		
(1) 動画電送装置	2 式	メディアレイ (大曲署、角館署)
(2) 動画受信装置	1 式	
14 Eメール指令装置	1 式	
15 N e t 1 1 9	1 式	
16 1 1 9 F A X受信装置	1 式	
17 1 1 9メール受信装置	1 式	
18 I P電話交換設備	1 式	
19 情報表示盤		
(1) 40型モニタ	1 式	出動準備室
(2) 32型モニタ	2 式	指令センター
20 消防ネットワーク装置	1 式	
21 I T支援情報端末装置		
(1) 情報端末装置 (イントラ)	2 台	21インチT F Tモニタ
(2) 情報端末装置 (インターネット)	1 台	21インチT F Tモニタ
22 高所監視カメラ装置	1 式	
23 その他装置		
(1) 高速回線避雷ユニット	10 式	

# 通 信 網 図



消防本部  
 総務課 63-0150 本部代表 FAX 62-3493  
 警防課 63-0314 通信指令課 FAX 63-0347  
 予防課 63-0316 FAX 63-0347  
 救急課 63-0318  
 通信指令課 63-0344

大曲消防署管内  
 大曲消防署 63-0151 FAX 63-0191  
 南分署 87-8119 FAX 82-1582  
 東分署 88-2119 FAX 88-2219  
 西分署 73-1197 FAX 73-1198  
 協和分署 018-892-3119 FAX 892-3585  
 西仙北分署 75-1119 FAX 75-1144

角館消防署管内  
 角館消防署 54-2302 FAX 55-5963  
 田沢湖分署 43-1139 FAX 43-1940  
 中仙分署 56-4119 FAX 56-4129  
 西木分署 48-2324 FAX 48-2399



# 消 防 団 関 係



令和5年度秋田県消防操法大会小型ポンプ操法の部  
優勝美郷町消防団第2分団



# 消防団員数・機械等配置状況

令和6年4月1日現在

区 分	人 員													機 械			ホ ー ス	ポ ン プ 置 場 数	ホ ー ス 乾 燥 塔		
	総 数		団 長	副 団 長	支 団 長	副 支 団 長	分 団 長 ( 監 )	副 分 団 長 ( 監 )	主 席 部 長	部 長 ( 代 理 )	副 部 長	班 長 ( 第 一 班 長 )	副 班 長 ( 第 二 班 長 )	団 員	ポ ン プ 車	積 載 車				小 型 動 力 ポ ン プ	
	定 員	実 員																			
総 合 計	2,365	1,736	3	8	8	16	55	101	8	108	0	279	22	1,128	0	144	111	3,261	183	116	
大 仙 市	大仙市合計	1,375	1,009	1	3	8	16	36	71	8	61	0	129	22	654	0	83	47	1,861	112	72
	本 部	106	97	1	3	0	0	2	2	0	0	0	3	0	86	0	0	0	0	0	0
	大曲支団	327	219	0	0	1	2	8	16	0	20	0	25	10	137	0	18	7	453	21	8
	神岡支団	81	58	0	0	1	2	2	4	0	5	0	9	0	35	0	5	5	191	5	5
	西仙北支団	138	105	0	0	1	2	4	9	8	2	0	19	0	60	0	10	6	287	14	7
	中仙支団	179	117	0	0	1	2	5	10	0	8	0	15	2	74	0	16	1	233	16	5
	協和支団	232	159	0	0	1	2	4	8	0	8	0	32	0	104	0	8	22	377	28	24
	南外支団	94	68	0	0	1	2	3	6	0	6	0	6	2	42	0	6	3	101	8	11
	仙北支団	115	103	0	0	1	2	4	8	0	8	0	8	8	64	0	8	3	124	8	8
太田支団	103	83	0	0	1	2	4	8	0	4	0	12	0	52	0	12	0	95	12	4	
仙 北 市	630	438	1	3			10	21		35		94		274		33	32	1,020	45	35	
美 郷 町	360	289	1	2	0	0	9	9	0	12	0	56	0	200	0	28	32	380	26	9	

# 正副団長・支団長名簿

令和6年4月1日現在

所 属	階 級	氏 名	採用年月日	現階級任命年月日
大仙市本部	団 長	田 村 健 郎	S55. 7. 15	R 5. 4. 1
	副 団 長	進 藤 文 隆	S48. 4. 1	R 3. 4. 1
	副 団 長	高 橋 和 美	S50. 4. 10	R 5. 4. 1
	副 団 長	高 橋 昇	S55. 7. 21	R 6. 4. 1
大曲支団	支 団 長	小 原 勝	S58. 4. 1	R 6. 4. 1
	副支団長	高 橋 錠	H 1. 4. 1	R 6. 4. 1
	副支団長	小 松 誠	S52. 4. 1	R 6. 4. 1
神岡支団	支 団 長	鈴 木 久 男	H 1. 7. 10	R 6. 4. 1
	副支団長	伊 藤 昇 司	H 3. 9. 17	R 4. 4. 1
	副支団長	斉 藤 一 見	H 9. 9. 27	R 6. 4. 1
西仙北支団	支 団 長	佐々木 博 幸	H 3.12. 1	R 3. 4. 1
	副支団長	藤 原 栄 一	S52. 5. 1	R 1. 6. 1
	副支団長	佐 藤 秀 世	S51. 4. 1	R 3. 4. 1
中仙支団	支 団 長	鈴 木 和 夫	S51. 8. 1	R 5. 4. 1
	副支団長	菅 原 信 一	S56. 4. 1	R 5. 4. 1
	副支団長	伊 藤 壽 博	S60.10. 1	R 5. 4. 1
協和支団	支 団 長	武 藤 和 彦	S60.11. 25	R 6. 4. 1
	副支団長	新 山 芳 美	S60. 8. 1	R 5. 4. 1
	副支団長	豊 嶋 一 郎	H 2.11. 20	R 6. 4. 1
南外支団	支 団 長	佐々木 久	H 5. 5. 17	R 5. 4. 1
	副支団長	高 橋 武 美	H 5. 5. 17	R 4. 4. 1
	副支団長	佐々木 貞 春	H 3. 1. 1	R 5. 4. 1
仙北支団	支 団 長	小 松 伸 一	S53. 7. 1	R 5. 4. 1
	副支団長	茂 木 豊 康	S60. 4. 1	R 5. 4. 1
	副支団長	川 原 敏	S60. 4. 1	R 5. 4. 1
太田支団	支 団 長	田 口 浩 秀	S56. 7. 13	R 6. 4. 1
	副支団長	高 貝 真 吾	S61. 8. 1	R 3. 4. 1
	副支団長	藤 谷 賢 司	S60. 5. 6	R 6. 4. 1
仙 北 市	団 長	下 田 忠 浩	S63. 4. 1	R 6. 4. 1
	副 団 長	武 藤 重 和	S62. 8. 1	R 3. 6. 1
	副 団 長	戸 村 純 厚	S62. 8. 1	R 5. 4. 1
	副 団 長	本 田 清 治	S63.11. 19	R 6. 4. 1
美 郷 町	団 長	高 橋 正 尚	S51. 4. 1	H24. 4. 1
	副 団 長	照 井 正 明	S48. 4. 1	R 3. 4. 1
	副 団 長	佐々木 吉 則	S58.11. 12	R 6. 4. 1

# 消防団員等報酬調べ

令和6年4月1日現在（単位：円）

	大 仙 市	仙 北 市	美 郷 町
団 長	86,000	85,000	83,500
副 団 長	73,000	69,000	66,500
支 団 長	73,000		
副 支 団 長	69,000		
分 団 長	50,500 (音楽隊長及び監督 40,000)	53,500	51,000
副 分 団 長	45,500 (音楽隊副隊長 30,000)	47,000	43,500
主 席 部 長			
部 長	38,000	39,500	38,000
副 部 長			
班 長	37,000	38,000	37,000
副 班 長	37,000		
団 員	36,500 (音楽隊員 20,000)	36,500	基本消防団員 36,500 機能別消防団員 10,000
費用弁償等	火災出動（1回） 最大 8,000円 水防出動（日額） 最大 8,000円 搜索活動（日額） 最大 8,000円 研修手当（日額） 最大 3,500円 地域活動手当（日額） 最大 2,000円 音楽隊出演 1回 3,500円 音楽隊練習 1回 1,000円	災害出動（1回につき） 5,000円 4時間超えると 8,000円 出動（警戒・訓練・巡回 広報手当）（1回につき） 3,000円 会議等の出務手当 （1回につき） 2,200円 機能別団員報酬 10,000円	災害出場 4時間未満 4,000円 4時間以上 8,000円 搜索出場 4時間未満 4,000円 4時間以上 8,000円 警戒訓練出場 2,900円 会議等出席 2,900円
定 年 制	全団員 70歳 (OB団員は定年無し)	全団員 70歳	副分団長以上及び 機能別消防団員 70歳 団員～部長 65歳

## 過去消防操法大会成績一覽表

年 度	優 勝 消 防 団	県大会順位
昭和 46 年度	六郷町消防団第 3 分団 (小型ポンプ)	
昭和 47 年度	太田町消防団第 3 分団 (小型ポンプ)	
昭和 48 年度	南外村消防団第 4 分団 (小型ポンプ)	
昭和 49 年度	南外村消防団第 4 分団 (小型ポンプ)	
昭和 50 年度	西木村消防団第 3 分団 (小型ポンプ)	第 6 位
	田沢湖町消防団第 5 分団 (ポンプ車)	第 5 位
昭和 51 年度	西木村消防団第 3 分団 (小型ポンプ)	第 8 位
	田沢湖町消防団第 5 分団 (ポンプ車)	第 2 位
昭和 52 年度	田沢湖町消防団第 6 分団 (小型ポンプ)	第 4 位
	田沢湖町消防団第 5 分団 (ポンプ車)	第 1 位
昭和 53 年度	太田町消防団第 5 分団 (小型ポンプ)	第 1 位
	西仙北町消防団第 2 分団 (ポンプ車)	第 9 位
昭和 54 年度	千畑町消防団第 1 分団 (小型ポンプ)	第 2 位
	西仙北町消防団第 2 分団 (ポンプ車)	第 9 位
昭和 55 年度	太田町消防団第 1 分団 (小型ポンプ)	第 2 位
	神岡町消防団第 1 分団 (ポンプ車)	第 9 位
昭和 56 年度	西仙北町消防団第 4 分団 (小型ポンプ)	第 4 位
	田沢湖町消防団第 5 分団 (ポンプ車)	第 2 位
昭和 57 年度	西仙北町消防団第 4 分団 (小型ポンプ)	第 7 位
	田沢湖町消防団第 5 分団 (ポンプ車)	第 2 位
昭和 58 年度	田沢湖町消防団第 6 分団 (小型ポンプ)	第 2 位
	神岡町消防団第 1 分団 (ポンプ車)	第 6 位
昭和 59 年度	西仙北町消防団第 4 分団 (小型ポンプ)	第 1 位
	神岡町消防団第 1 分団 (ポンプ車)	第 4 位
昭和 60 年度	田沢湖町消防団第 6 分団 (小型ポンプ)	第 3 位
	神岡町消防団第 1 分団 (ポンプ車)	第 3 位
昭和 61 年度	田沢湖町消防団第 6 分団 (小型ポンプ)	第 4 位
	西仙北町消防団第 6 分団 (ポンプ車)	第 7 位
	角館町堂の口婦人消防隊 (軽可搬ポンプ車)	最優秀賞
昭和 62 年度	太田町消防団第 5 分団 (小型ポンプ)	第 6 位
	南外村消防団本部分団 (ポンプ車)	第 7 位
	西仙北町八木山婦人消防隊 (軽可搬ポンプ車)	優秀賞
昭和 63 年度	田沢湖町消防団第 6 分団 (小型ポンプ)	第 8 位
	角館町雲然婦人消防隊 (軽可搬ポンプ車)	最優秀賞

年 度	優 勝 消 防 団	県大会順位
平成元年度	田沢湖町消防団第6分団 (小型ポンプ) 西仙北町大場台婦人消防隊 (軽可搬ポンプ)	第 4 位 最 優 秀 賞
平成2年度	田沢湖町消防団第6分団 (小型ポンプ) 角館町下川原婦人消防隊 (軽可搬ポンプ)	第 4 位 最 優 秀 賞
平成3年度	仙南村消防団第3分団 (小型ポンプ) 中仙町清水婦人消防隊 (軽可搬ポンプ)	第 4 位 優 秀 賞
平成4年度	仙南村消防団第3分団 (小型ポンプ) 中仙町清水婦人消防隊 (軽可搬ポンプ)	第 2 位 最 優 秀 賞
平成5年度	角館町消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 5 位
平成6年度	仙南村消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 2 位
平成7年度	仙南村消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 8 位
平成8年度	仙南村消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 1 位
平成9年度	千畑町消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 4 位
平成10年度	田沢湖町消防団第6分団 (小型ポンプ)	第 4 位
平成11年度	仙南村消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 1 位
平成12年度	仙南村消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 2 位
平成13年度	田沢湖町消防団第6分団 (小型ポンプ)	第 3 位
平成14年度	千畑町消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 7 位
平成15年度	田沢湖町消防団第6分団 (小型ポンプ)	第 2 位
平成16年度	千畑町消防団第3分団 (小型ポンプ)	第 3 位
平成17年度	美郷町消防団第10分団 (小型ポンプ)	第 7 位
平成18年度	仙北市田沢湖消防団第6分団 (小型ポンプ)	第 4 位
平成19年度	仙北市田沢湖消防団第6分団 (小型ポンプ)	第 1 位
平成20年度	仙北市消防団第4分団 (小型ポンプ)	第 2 位
平成21年度	大仙市消防団大曲支団2分団 (小型ポンプ)	第 4 位
平成22年度	仙北市消防団第4分団 (小型ポンプ)	第 7 位
平成23年度	大仙市消防団大曲支団第2分団 (小型ポンプ)	第 4 位
平成24年度	大仙市消防団大曲支団第2分団 (小型ポンプ)	第 2 位
平成25年度	美郷町消防団第2分団 (小型ポンプ)	第 3 位
平成26年度	美郷町消防団第2分団 (小型ポンプ)	第 1 位
平成27年度	美郷町消防団第2分団 (小型ポンプ)	第 1 位
平成28年度	美郷町消防団第2分団 (小型ポンプ) 大仙市女性消防団 (軽可搬ポンプ)	第 2 位 第 1 位
平成29年度	美郷町消防団第2分団 (小型ポンプ) 大仙市女性消防団 (軽可搬ポンプ)	第 1 位 第 2 位
平成30年度	美郷町消防団第2分団 (小型ポンプ) 大仙市女性消防団 (軽可搬ポンプ)	第 1 位 第 4 位

年 度	優 勝 消 防 団	県大会順位
令和元年度	美郷町消防団第2分団 (小型ポンプ)	第 1 位
令和2年度	中止 (新型コロナウイルス感染症のため)	—
令和3年度	中止 (新型コロナウイルス感染症のため)	—
令和4年度	美郷町消防団第2分団 (小型ポンプ)	第 2 位
令和5年度	美郷町消防団第2分団 (小型ポンプ)	第 1 位
	大仙市女性消防団 (軽可搬ポンプ)	第 1 位

※ ■■■ 網かけ部分は全国消防操法大会出場分団

※仙南村消防団は、平成8年10月16日、横浜市で開催された全国消防操法大会、小型ポンプ操法の部でみごと優勝に輝く。



災 害 記 録



西暦	年 号	種 別	記 録
807	大同2年	噴 火	生保内駒ヶ岳
1618	元和4年	洪 水	西明寺洪水にて河流変る
1619	元和5年	火 災	6月 角館洪水13人溺死する
1682	天和2年	火 災	3月12日 刈和野大火
1687	貞享4年	飢 饉	正月角館飢饉、長野村飢饉数百人死亡
		洪 水	角館洪水4度あり
1704	宝永元年	火 災	3月13日 生保内村大火
1709	宝永6年	火 災	9月 刈和野大火
1720	享保5年	大 雪	10月 仙北大雪により稲、雪の下となる
1724	享保9年	洪 水	5月 仙北地方大洪水
1732	享保17年	火 災	4月22日 生保内村大火
1736	元文元年	火 災	5月22日 長野村46棟焼失
1738	元文3年	火 災	5月20日 生保内村大火49棟焼失
1744	延享元年	火 災	5月15日 生保内村大火
1745	延享2年	洪 水	玉川洪水
1767	明和4年	火 災	5月14日 生保内大火
1779	安永8年	火 災	9月19日 六郷大火110棟焼失
1785	天明5年	洪 水	玉川洪水
1786	天明6年	火 災	4月9日 角館大火350棟焼失
		〃	5月26日 長野大火39棟焼失
1788	天明8年	飢 饉	飢饉のため六郷の住民騒ぐ
1798	寛政10年	火 災	5月2日 角館150棟焼失
1810	文化7年	火 災	5月1日 六郷139棟焼失
		〃	7月6日 角館105棟焼失
1828	文政11年	洪 水	7月8日 大曲地方洪水
1840	天保12年	火 災	7月22日 六郷大火全町焼失
1854	安政元年	洪 水	6月17日 角館大洪水
1874	明治7年	火 災	3月27日 刈和野150棟焼失
1880	明治13年	大 雪	1月より仙北地方で2丈4尺の積雪
1882	明治15年	火 災	8月6日 角館260棟焼失
1885	明治18年	火 災	6月13日 角館110棟焼失
1886	明治19年	火 災	3月14日 六郷町120棟焼失
1896	明治29年	地 震	8月31日 17時6分六郷を震源とする地震〔陸羽地震〕マグニチュード7.2、死者209人、負傷者779人、住家全壊6,079棟 (仙北郡のみ死者184人、傷者603人、住家全壊3,295棟)
1900	明治33年	火 災	5月21日 角館町262棟焼失、死者2名
1902	明治35年	火 災	5月5日 刈和野246棟焼失
1904	明治37年	大 雨	土川村明光沢の大堰決壊、水田40町歩、畑10町歩流失
1907	明治41年	雷	六郷町で落雷のため死者1名
1909	明治42年	洪 水	4月8日 雄物川洪水、刈和野一峰吉川にて連結貨物乗員とともに峰吉川水中に転落する。

西暦	年 号	種 別	記 録
1914	大正3年	地 震	3月15日 4時58分、仙北郡強首・大沢郷村を中心に震度7の激震（秋田は震度6）〔秋田仙北地震（強首地震）〕 マグニチュード7.1。震域は南は新潟から北は青森まで東北一円に及んだ。被害は北の2都を除く1市7郡におよび、死者94名、傷者31名、住家全壊640棟、非住家全壊285棟
1921	大正10年	洪 水	4月4日 角館川床上浸水53棟、床下35棟
1922	大正11年	雷 雨	8月8日 桧木内村に大雷雨おこり堤防決壊橋梁流失等数ヶ所あり、刈和野町にて水田50町歩、畑30町歩浸水
		強 風	12月15日～16日 大曲一角館間電灯線200本傾倒
1923	大正12年	洪 水	6月30日 花館水位5.8メートル
1924	大正13年	火 災	5月24日 六郷町120棟焼失
1927	昭和2年	水 害	7月14日 長野町200棟、角館床上10棟、床下70棟、山津波のため鉄道路線の被害大
1932	昭和7年	噴 火	7月下旬駒ヶ岳活動を始め泥流火山灰有毒ガス噴出するも被害なし
1935	昭和10年	火 災	5月17日 生保内村宿大火、役場・郵便局・農業組合・駐在所など110棟全焼
1946	昭和21年	〃	5月17日 北檜岡村火災167棟焼失
1947	昭和22年	水 害	7月24日 雄物川水系60年来の洪水T.P26.06m、刈和野町流失家屋112棟
1948	昭和23年	〃	9月16日～17日 アイオン台風により雄物川が増水し、大曲で水位5.3m
1951	昭和26年	火 災	5月4日 12時40分西明寺火災、全焼54棟、山林20町歩焼失
1952	昭和27年	降 雹	6月20日 角館、千屋方面雀卵大の降雹
		火 災	10月2日 仙北医療組合病院火災、635坪全焼
		〃	5月19日 刈和野町火災128棟焼失
1954	昭和29年	火 災	2月8日 午前2時高梨小学校火災1,362坪全焼、宿直の助教諭死亡
		〃	5月29日 午前3時30分角館町駅通り34棟焼失
		〃	9月16日 9時20分刈和野中学校火災1,367坪全焼
1955	昭和30年	落 雷	6月10日 7時頃南外村雄物川つり舟に落雷、1名行方不明
		火 災	7月15日 生保内町駅前大火23棟全焼
1956	昭和31年	大雨洪水	6月20日～21日 田沢湖周辺で140mmの豪雨あり、床下浸水54棟、水田冠水5町歩、道路損壊3、堤防決壊8
		火 災	10月9日 田沢湖町生保内駅前大火、住家22棟全焼
		〃	10月23日 角館町白岩中学校から出火6教室及び雨天体操場焼失
1957	昭和32年	雪 崩	1月30日 角館町山谷国有林地内作業小屋つぶれ1名死亡、2名重傷
		火 災	5月10日 神岡町北檜岡で大火317棟全焼
		〃	12月18日 大曲駅前仙北協同農業倉庫7棟、事務所及び政府保管米45,000俵焼失、損害2億500万円

西暦	年 号	種 別	記 録
1959	昭和34年	火 災	2月12日 大曲市内デパートから出火、6棟全半焼、1,232㎡焼失
1960	昭和35年	火 災	5月9日 0時頃仙南村飯詰上深井から出火、住家など35棟20世帯を全焼し1時50分鎮火した。
		大 雨	8月3日 田沢湖町生保内字沼田地内で生保内川が氾濫し、死者11名、行方不明4名、流出、埋没、耕地140haなど総被害額4億5千万円
		火 災	8月7日 午後3時40分頃協和村火災、住家5棟、非住家6棟全焼
1961	昭和36年	火 災	2月12日 大曲市内デパートから出火、7棟全半焼2,433㎡焼失
		雪 崩	3月3日 午後1時西仙北町大沢郷雪崩、1名死亡
		水 害	4月4日～5日 田沢湖周辺に大雨が降り死者1名、家屋浸水65棟、田畑冠水230ha、道路決壊12ヶ所、橋梁損壊8ヶ所、堤防決壊6ヶ所、山崩れ2ヶ所発生
1963	昭和38年	火 災	7月24日 午前1時2分頃大曲市大曲字土屋館歯科医院より出火。全焼3棟、半焼1棟、部分焼1棟、死者2名、傷者2名
		大 雨	7月16日から17日の朝まで60mmの大雨となり、大曲仙北地区で死者2名のほか、住家の床上浸水15棟、床下浸水245棟、非住家88棟、水田147.7ha、畑950ha、農業用施設14ヶ所、道路決壊21ヶ所、橋梁損壊8ヶ所、堤防決壊110ヶ所、砂防1ヶ所など5億5,836万円余りの被害がでた。
		火 災	1月3日 午前11時頃仙南村日通飯詰駅前倉庫より出火。米一万俵以上、肥料等1億円以上が消失
1964	昭和39年	地 震	6月16日 13時2分新潟沖を震源とする地震〔新潟地震〕、仙北地方震度3
		水 害	7月14日 桧木内125mm、田沢湖113mm、鎧畑106mmの降雨があり、被害総額全県6億6,200万円に達した。
		火 災	1月9日 大曲市高関上郷から出火、死者1名、住家、非住家1棟をそれぞれ焼失した。
1965	昭和40年	豪 雪	3月16日～18日 豪雪のため交通マヒ状態になっている大曲市は、陸上自衛隊秋田駐屯地に対し、除雪作業を要請し16日から3日間100人の隊員が除雪に当たった。
		火 災	3月31日 午後2時10分頃神岡町本郷から出火、死者1名、住家1棟全焼、非住家1棟半焼した。
		火 災	4月13日 午後11時10分頃西仙北町刈和野から出火、死者1名、住家7棟、非住家1棟を全焼した。
		融 雪	4月14日 大曲市内小友中山地内の貯水池の排水道付近が融雪による水の増加により、住家2棟、非住家2棟が床下浸水し、水田埋没0.75ha、道路50m（県道大曲～大森線）が冠水した。また、中山地区、堂の沢溜池西側堤防（巾40m、高さ8m）が急激に増水した雪解け水で破れ、溜池の下流地区の水田1.2haが土砂で埋没した。

西暦	年 号	種 別	記 録
1965	昭和40年	融 雪	4月20日 大曲市中山地内で、かんがい用溜池が雪解け水のため決壊した。
		水 害	7月14日から15日にかけて県南部に降った雨により、丸子川が氾濫し大曲市・仙北村に災害救助法が発動された。
		ク	7月28日 田沢湖駒ヶ岳、乳頭山など山岳地帯に集中豪雨があり、県道西山～生保内線、国道46号線、仙岩峠等で道路決壊、土砂崩れがあった。
1966	昭和41年	強 風	1月6日 大曲飯田縫製工場が強風のため倒壊した。損害額130万円
		火 災	1月12日 午後1時15分頃、角館町中学校体育館から出火、同体育館が全焼した。損害額1,000万円、原因はたばこの不始末
		水 害	7月12日 午後7時10分頃、中仙町長野齊内川堤防が巾25mにわたり決壊し、近くの聖浄寺の本堂の地下がえぐられ、木造の本堂が半壊した。
		火 災	8月21日 12時10分協和村荒川字水沢から出火、住家など40棟17世帯を全焼、17時鎮火した。原因は子どもの火遊び
1967	昭和42年	竜 卷	10月31日 角館町岩瀬に竜巻発生、住宅の屋根1棟吹き飛ばされた。
1968	昭和43年	地 震	5月16日 9時49分青森県東方沖を震源地とする地震〔十勝沖地震〕マグニチュード7.9、秋田震度4、鎧畑震度2を記録した。
		火 災	8月2日 大曲市内店舗から出火、3棟全半焼767㎡焼失
1970	昭和45年	集中豪雨	8月1日 田沢湖周辺に162mmの豪雨があり、仙岩峠六枚沢で土砂崩れ
		噴 火	9月18日 田沢湖駒ヶ岳が、昭和7年以来38年ぶりに噴火活動
		地 震	10月16日 14時26分秋田県内陸南部（東成瀬村）を震源地とする地震、マグニチュード6.2
1971	昭和46年	集中豪雨	7月3日～4日 集中豪雨、大曲市内で200mmの降雨があり、被害は全郡に及んだ。
1972	昭和47年	水 害	7月7日～9日にわたり秋田県全域に大雨をもたらす雄物川、玉川水系の河川が氾濫し、大曲市・角館町・西仙北町・中仙町で被害を受ける。
1974	昭和49年	豪 雪	昨年12月上旬から近年にない大雪となり、積雪は連日の降雪で増加の一途をたどり、特に1月下旬から2月半ばにかけては大規模な寒波が襲来し、明治以来の豪雪になった。里雪型の豪雪であったため、除排雪が難渋し人身事故が数多く発生、住家の倒壊・浸水等のほか農林業、公共施設などに甚大な被害を与えた。〔48豪雪〕
		火 災	6月7日 大曲市内印刷工場から出火2棟1,305㎡焼失
1975	昭和50年	火 災	2月14日 千畑村土崎で火災、死者4名、傷者1名
1976	昭和51年	火 災	12月1日 南外村医院より出火、138㎡焼失、死者4名、傷者2名
1977	昭和52年	火 災	12月29日 田沢湖町先達沢旅館放火される。1棟719㎡全焼
1979	昭和54年	火 災	7月25日 協和町船沢で旅館が放火される。517㎡全焼

西暦	年 号	種 別	記 録
1979	昭和54年	火 災	9月5日 田沢湖町神代樺細工工場火災1,234㎡全焼
1980	昭和55年	火 災	4月26日 西仙北町刈和野で火災、6棟1,279㎡全焼
1981	昭和56年	火 災	10月25日 中仙町豊川火災、住家及び非住家2棟全半焼、死者2名
		〃	11月13日 太田町長信田火災、住家及び非住家2棟全半焼、死者2名
1982	昭和57年	火 災	4月14日 角館町西長野火災、住家1棟全焼、死者4名
		〃	11月14日 大曲市須和町火災、住家3棟729㎡全半焼、死者1名、傷者1名
		〃	12月10日 太田町小神成火災、住家及び非住家4棟全半焼、焼失面積1,166㎡
1983	昭和58年	火 災	2月20日 大曲市あけぼの町料理店火災、1,050㎡全焼
		〃	4月15日 仙北町板見内で空き家放火される。住家及び非住家4棟全焼、焼失面積488㎡
		地 震	5月26日 11時59分秋田県沖を震源とする地震〔日本海中部地震〕マグニチュード7.7 県内被害：死者83名、負傷者265名、住家全壊1,132棟、住家半壊2,632棟
1985	昭和60年	火 災	4月23日 角館町岩瀬で倉庫が放火される。倉庫1棟1,412㎡全焼
		〃	11月16日 太田町県立大曲農業高等学校太田分校火災1,990㎡全焼
1986	昭和61年	火 災	12月18日 大曲市中通町火災、住家1棟全焼、死者1名、傷者2名
1987	昭和62年	火 災	1月21日 田沢湖駒ヶ岳高原田沢荘火災1,178㎡全焼
		水 害	8月17日～18日にわたり秋田県全域に大雨をもたらし、雄物川玉川水系の河川が氾濫し圏内12市町村が被害を受け、浸水面積4,686ha、床上浸水319棟、床下浸水468棟、被災人口3,260名に及んだ。
		火 災	10月20日 大曲市丸の内町火災、住家1棟全焼、死者2名
1989	平成元年	火 災	2月25日 角館町白岩火災、住家及び非住家3棟全半焼、死者3名
		〃	3月3日 大曲市丸の内町、飲食ビル火災、住家及び非住家3棟全半焼
		〃	5月19日 大曲市丸の内町、料理店火災、住家5棟全半焼、焼失面積1,195㎡、死者1名
		〃	6月8日 角館町藪田火災、住家1棟全焼、死者2名
		〃	6月29日 田沢湖町卒田火災、住家1棟全焼、死者1名
1990	平成2年	火 災	1月7日 千畑町金沢東根火災、住家1棟全焼、死者1名
		〃	2月27日 角館町山根町火災、住家1棟全焼、死者1名、傷者1名

西暦	年 号	種 別	記 録
1990	平成 2 年	水 害	7月18日～19日の大雨により、田沢湖町、西木村に被害を受け、床上浸水3棟、床下浸水7棟、道路損壊9ヶ所、河川損壊7ヶ所におよんだ。
1991	平成 3 年	火 災	11月30日 角館町白岩火災、車両1台全焼、死者1名
		火 災	12月21日 中仙町火災、住家1棟全焼、住家1棟部分焼、死者1名
1992	平成 4 年	強 風	9月28日 台風19号により、建物の全半壊が506棟、農林産を含め損害額約48億円におよんだ。最大瞬間風速51.4m/sを観測
		火 災	1月19日 角館町火災、住家1棟全焼、死者1名、負傷者1名
1993	平成 5 年	〃	11月3日 千畑町火災、非住家1棟全焼、死者1名
		火 災 作業事故	3月23日 仙北町火災、住家1棟全焼、死者1名 7月7日 田沢湖町玉川地区にて建設中に橋梁が崩落し9名が転落、死者4名
1994	平成 6 年	火 災	8月19日 南外村火災、住家1棟全焼、死者1名
		〃	9月23日 田沢湖町火災、住家1棟全焼、死者1名
		〃	10月14日 六郷町火災、住家1棟全焼、死者1名
		〃	10月27日 角館町火災、住家1棟全焼、死者1名
		〃	12月17日 南外村火災、住家1棟全焼、死者1名
1995	平成 7 年	火 災	1月14日 協和町火災、ホテル1棟592㎡全焼
		〃	4月9日 大曲市火災、軽自動車1台焼損、死者1名
		〃	12月5日 中仙町火災、住家1棟全焼、死者1名
1997	平成 9 年	火 災	3月13日 中仙町火災、住家1棟全焼、死者2名
		〃	3月18日 神岡町火災、住家1棟全焼、死者1名
		〃	6月27日 仙北町火災、工場等3棟全焼1,057㎡、死者1名
		〃	7月4日 田沢湖町火災、住家1棟全焼、死者1名
		〃	9月2日 千畑町火災、住家1棟全焼、死者1名
1998	平成10年	〃	12月10日 神岡町火災、住家1棟全焼、死者1名
		火 災	2月24日 西仙北町火災、住家1棟全焼、死者2名
		〃	3月14日 協和町火災、住家1棟全焼、死者1名
		土砂崩落	5月14日 田沢湖町先達川上流土砂崩落、孫六、妙ノ湯温泉に避難要請
		水 害	9月2日～3日 集中豪雨、中仙町、角館町、大曲市を中心に床上浸水28棟、床下浸水219棟、道路損壊10ヶ所
1999	平成11年	火 災	12月12日 太田町火災、住家1棟、非住家1棟全焼、死者1名
		火 災	2月19日 大曲市火災、住家1棟全焼、死者1名
		〃	3月9日 協和町火災、住家1棟全焼、死者1名
2000	平成12年	家屋微動	4月15日 太田町真木地区で家屋微動6世帯22人に避難勧告
		火 災	11月8日 角館町火災、住家1棟全焼、死者2名
2000	平成12年	火 災	6月3日 西木村火災、住家1棟、非住家1棟全焼、死者1名
		火 災	2月23日 西仙北町火災、住家1棟、非住家1棟全焼、死者1名 10月19日 協和町火災、住家1棟全焼、死者2名



西暦	年 号	種 別	記 録
2000	平成12年	火 災	12月21日 大曲市秋田自動車道車両火災、死者1名
2001	平成13年	火 災	1月22日 大曲市火災、住家及び店舗5棟全焼
		〃	5月7日 太田町火災、住家1棟全焼、死者1名
		〃	12月16日 西木村火災、住家1棟、非住家1棟全焼、死者1名、 負傷者1名
		〃	12月20日 中仙町火災、住家1棟全焼、死者2名
2002	平成14年	台 風	7月11日 千畑町、台風6号により増水した川に転落、死者1名
		火 災	10月3日 千畑町火災、住家1棟全焼、死者1名
		〃	11月3日 角館町火災、町営住宅1棟部分焼、死者1名、負傷者1名
2003	平成15年	火 災	1月2日 六郷町火災、住家1棟全焼、死者1名
		地 震	5月26日 18時24分宮城県沖を震源とする地震〔三陸南地震〕 マグニチュード7.1、国内最大震度6強（大仙市5強、仙北市、 美郷町4）（塀崩壊・落石等の被害、負傷者2名）
		林野火災	5月30日 田沢湖町火災、田沢字先達地内林野134a焼損
		火 災	7月23日 角館町火災、町営住宅3棟全焼、4棟部分焼、死者1名
		〃	10月29日 神岡町火災、豚舎1棟5,334㎡全焼、豚約4,800頭焼死
2004	平成16年	火 災	1月25日 大曲市火災、住家2棟全焼、1棟部分焼、死者1名、 負傷者2名
		〃	4月25日 太田町火災、住家1棟部分焼、死者1名
		〃	10月18日 角館町火災、住家1棟全焼、1棟部分焼、死者1名
		〃	11月8日 大曲市火災、住家1棟全焼、死者2名
		雪山遭難	3月29日 田沢湖町乳頭山で登山中の43名が行方不明、翌日全員無事下山
2006	平成18年	雪 崩	2月10日 仙北市田沢湖鶴の湯温泉で雪崩発生、死者1名、負傷者16名
		豪 雪	平成17年12月～平成18年3月にかけて豪雪による雪害が頻発〔平成18年豪雪〕管内雪害件数105件、死者8名、負傷者77名
		火 災	3月12日 大仙市火災、住家1棟全焼、1棟部分焼、死者1名
		〃	8月2日 仙北市火災、住家1棟全焼、死者1名
		〃	8月21日 大仙市火災、住家1棟全焼、2棟部分焼、死者1名
2007	平成19年	火 災	3月28日 大仙市火災、住家1棟全焼、死者1名
		〃	4月23日 大仙市火災、住家1棟全焼、死者2名
		〃	5月22日 大仙市火災、住家1棟全焼、死者2名
		〃	11月26日 大仙市火災、住家1棟全焼、1棟部分焼、非住家1棟全焼、1棟部分焼、死者1名
2008	平成20年	火 災	1月4日 美郷町火災、住家1棟全焼・2棟部分焼、死者1名
		林野火災	5月2日 仙北市田沢湖地区火災、田沢湖尻高沢国有林1,081a焼損（秋田防災ヘリ、岩手防災ヘリが空中消火活動実施）
		火 災	6月5日 美郷町火災、住家1棟全焼、死者1名

西暦	年 号	種 別	記 録
2008	平成20年	地 震	6月14日 8時43分 岩手県内陸南部を震源とする地震〔岩手・宮城内陸地震〕、マグニチュード7.2、国内最大震度6強（大仙市・美郷町5弱、仙北市4）死者17名、行方不明6名、全壊30棟、半壊146棟、火災4件 緊急消防援助隊として、指揮隊・救助隊・消火隊・救急隊・後方支援隊計5隊が出動、宮城県栗原市駒の湯温泉現場にて救助活動を行う
		〃	7月24日 0時26分 岩手県沿岸北部を震源とする地震、マグニチュード6.8、国内最大震度6弱（大仙市・美郷町4）死者1名、全壊1棟、火災2件 緊急消防援助隊として、指揮隊・救助隊・消火隊・後方支援隊計4隊が出動
2009	平成21年	火 山	10月27日 気象庁は、秋田駒ヶ岳に「噴火警戒レベル」を導入し、噴火時等にとるべき防災対応を踏まえた5段階レベル（5避難・4避難準備・3入山規制・2火口周辺規制・1平常）のうち、現在のレベルを「1平常」とした
		火 災	11月9日 大仙市火災、住家1棟全焼、3棟部分焼、非住家1棟全焼、1棟半焼、1棟部分焼、焼損面積919㎡
2010	平成22年	火 災	7月1日 美郷町火災、住家1棟全焼、死者2名
		〃	8月29日 大仙市火災、住家1棟全焼、1棟部分焼、非住家2棟全焼、死者1名、負傷者1名
2011	平成23年	地 震	3月11日 14時46分 三陸沖を震源とする地震〔東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）〕、マグニチュード9.0、国内最大震度7（大仙市5強、仙北市4、美郷町4）死者19,335名、行方不明2,600名、住家全壊124,690棟、住家半壊275,118棟 （H27.9.9現在、総務省消防庁調べ） 緊急消防援助隊として、指揮隊・救助隊・消火隊2隊・救急隊・後方支援隊3隊計8隊が出動
		火 災	3月11日 大仙市火災、住家1棟全焼、1棟部分焼、非住家1棟部分焼、死者1名
		地 震	4月7日 宮城県を震源とする地震（東北地方太平洋沖地震の余震）、マグニチュード7.4、国内最大震度6強（大仙市5強、仙北市5弱、美郷町4）
		水 害	6月23日から24日にかけての梅雨前線による大雨により、大仙市で住家床上浸水115棟、床下浸水282棟、非住家浸水153棟
2012	平成24年	雪 崩	2月1日 仙北市田沢湖玉川温泉岩盤浴場で雪崩発生、死者3名
		雪山遭難	2月12日 秋田県駒ヶ岳で登山中の1名が行方不明、13日発見死亡
		火 災	8月10日 大仙市大曲地区火災 住家1棟全焼、部分焼3棟、ぼや2棟、非住家4棟全焼、1棟部分焼

西暦	年 号	種 別	記 録
2012	平成24年	風 害	4月3日～4日にかけて、急速に発達した低気圧の影響により、管内各地で強風による被害が発生。(瞬間最大風速39m/s 4月4日2時03分消防本部観測) 大仙市にて非住家全壊71棟、半壊33棟、住家一部破損475棟、重傷1名、軽傷2名 仙北市にて住家一部破損多数、非住家全壊・半壊多数 美郷町にて住家・非住家被害289棟
2013	平成25年	火 災	2月21日美郷町六郷地区火災 住家1棟全焼、部分焼2棟、非住家2棟全焼、部分焼1棟、死者1名、負傷者1名
		火 山	7月25日、気象庁は秋田焼山に「噴火警戒レベル」を導入し、噴火時等にとるべき防災対応を踏まえた5段階レベル(5避難・4避難準備・3入山規制・2火口周辺規制・1平常)のうち、現在のレベルを「1平常」とした
		土 石 流	8月9日、仙北市田沢湖田沢字供養仏地内にて土石流が発生、死者6名、負傷者2名 9日から19日にかけて広域消防延べ195人、消防団延べ455人、警察260人、自衛隊474人、その他重機オペレーター等33人が捜索救助活動を実施 鎧畑観測所では、最大24時間降水量292mm、日降水量278mm、最大時間降水量88mmと観測史上最大の降水量を記録した
2014	平成26年	火 災	1月14日 美郷町六郷地区火災、住家1棟全焼、死者1名
2015	平成27年	作業事故	3月18日、仙北市田沢湖生保内字駒ヶ岳地内乳頭温泉郷カラ吹き源泉にて、源泉を調整中の作業員が倒れる 死者3名、負傷者1名
		林野火災	4月28日、大仙市協和地区火災、奥山沢国有林1.11ha、私有林12ha、計13.11ha焼損 (秋田防災ヘリ、山形防災ヘリ、自衛隊ヘリ3機、計5機が空中消火活動実施)
2016	平成28年	火 災	1月12日、美郷町六郷地区火災、住家3棟全焼、部分焼1棟、死者2名 〃 2月2日、大仙市協和地区火災、住家1棟全焼、死者1名 〃 6月4日、大仙市協和地区火災、豚舎4棟6,301㎡全焼、部分焼1棟、豚約3,730頭焼死
2017	平成29年	火 災	6月27日、大仙市仙北地区火災、住家1棟全焼、部分焼3棟、死者1名
		水 害	7月22日から23日にかけての大雨により、大仙市で住家床上浸水66棟、床下浸水175棟、仙北市で住家床上浸水24棟、床下浸水85棟、非住家半壊1棟、美郷町で床下浸水3棟の建物被害を受ける。これにより要救助者92名を救出
2018	平成30年	火 災	1月5日、大仙市大曲地区火災、住家1棟、部分焼3棟、死者1名、負傷者1名

西暦	年 号	種 別	記 録
2018	平成30年	地 震	9月6日 北海道胆振地方中東部を震源とする地震（北海道胆振東部地震）、マグニチュード6.7、国内最大震度7、死者41名、住家全壊415棟、住家半壊1,346棟 （H30.11.6現在、総務省消防庁調べ）
2019	令和元年	台 風	10月13日～18日 令和元年東日本台風（台風19号）に伴い宮城県伊具郡丸森町へ緊急消防援助隊として指揮隊、消火隊、救急隊、後方支援隊が出動（1次隊及び2次隊、延べ8隊30名）
		火 災	12月22日 大仙市大曲地域火災 住家4棟全焼、4棟部分焼、非住家1棟全焼、1棟部分焼、負傷者1名
2020	令和2年	火 災	10月26日、仙北市西木地域火災 住家1棟全焼、死者1名
2021	令和3年	火 災	2月16日、大仙市大曲地域火災 住家1棟全焼、1棟半焼、3棟部分焼、負傷者1名
		〃	4月17日、仙北市田沢湖地域火災 住家1棟全焼、非住家2棟全焼、1棟半焼、1棟ぼや、死者2名
		〃	5月11日、大仙市大曲地域火災 住家2棟全焼、3棟部分焼、1棟ぼや、非住家2棟全焼、1棟部分焼、死者1名
2022	令和4年	火 災	1月17日、大仙市仙北地域火災 住家1棟全焼、死者1名
		〃	5月23日、美郷町六郷地域火災 住家4棟全焼、1棟ぼや、非住家1棟全焼、4棟部分焼
		〃	11月28日、仙北市田沢湖地域火災 住家1棟全焼、死者1名
		〃	12月1日、大仙市太田地域火災 住家1棟全焼、1棟部分焼、非住家1棟部分焼、死者1名
		〃	12月16日、仙北市田沢湖地域火災 住家1棟全焼、1棟部分焼、非住家1棟部分焼、死者1名
2023	令和5年	水 害	7月14日～19日にかけての大雨により、大仙市で住家床上浸水16件、床下浸水35件、仙北市で住家床上浸水8件、床下浸水49件の建物被害を受ける。

※平成以降の建物火災については死者が発生したもの（自損を除く）及び特異な火災を列記。

※平成11年秋田県消防防災航空隊発足以降の林野火災については、大規模特殊災害時における広域航空消防応援に基づき応援を受けたものを記載。

表紙写真：令和5年度(第61回)秋田県総合防災訓練

裏表紙写真：大曲高校書道部と消防隊太鼓隊がコラボ

# 消 防 年 報

令和6年度

令和6年4月1日

発行 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

〒014-0061 秋田県大仙市大曲栄町 13-47

TEL (0187) 63-0150

FAX (0187) 62-3493

E-mail:hombu@os-fd119.jp

口火

録配是

# 火の用心

身近に

潜む

火事の元

火源が

かくれんば

燃える原因

見つけ火

発見から後は

時既に遅し

皆火場を去り

防火知識

大正高等校書道部

